

# 介護保険サービス未利用者調査 編



### 3 介護保険サービス未利用者調査結果

#### (1) 調査回答者の基本属性

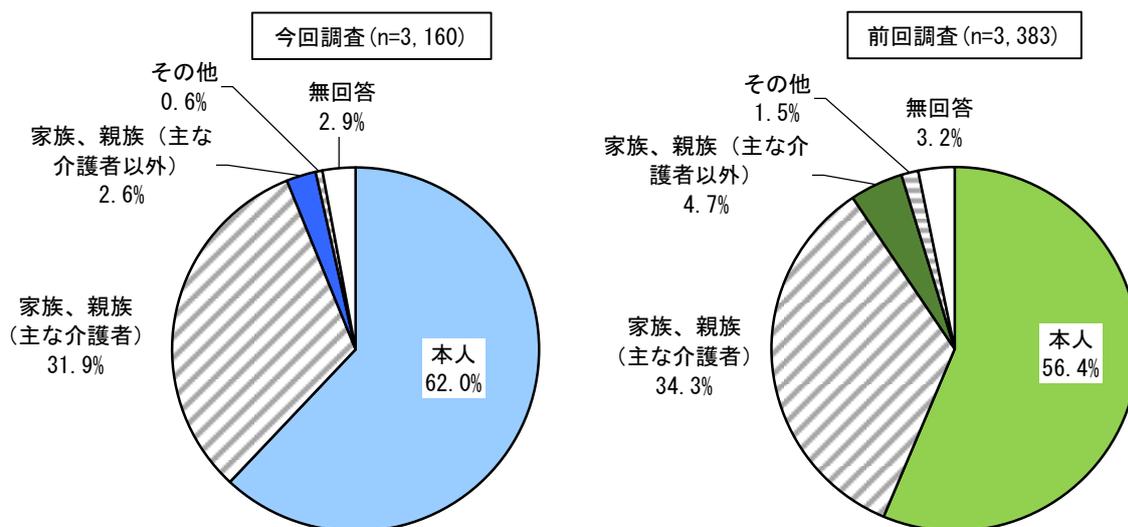
##### 問1 記入者

この調査票をご記入されるのは誰ですか。(○はひとつ)

記入者は、「本人」が62.0%で最も高く、次いで「家族、親族（主な介護者）」が31.9%、「家族、親族（主な介護者以外）」が2.6%となっている。

前回調査の結果に比べ、「本人」の割合が5.6ポイント増加している。(問1)

【問1 記入者（経年比較）】



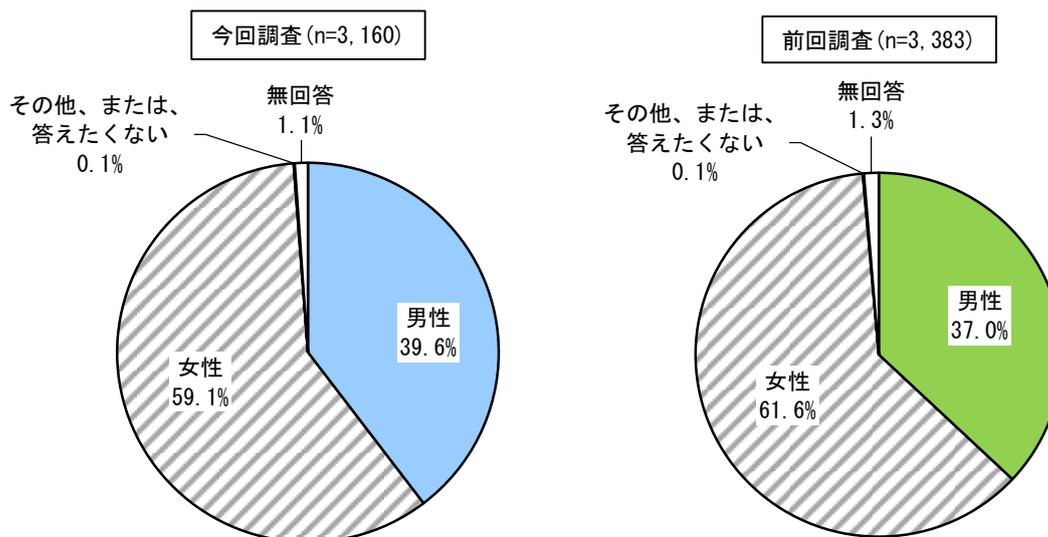
## 問2(1) 本人の性別

あなた（あて名ご本人：以降の質問も同じ）の性別、年齢、居住区についておうかがいします。（それぞれ○はひとつ）

本人の性別では、「男性」が39.6%、「女性」が59.1%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問2(1)）

【問2(1) 本人の性別（経年比較）】

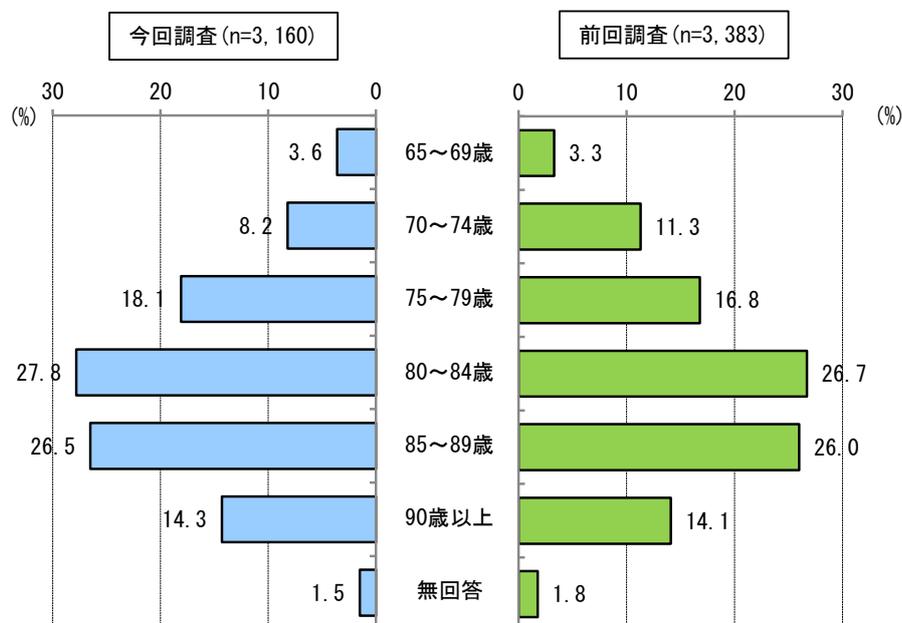


## 問2(2) 本人の年齢

本人の年齢は、「80～84歳」の割合が27.8%で最も高く、次いで「85～89歳」が26.5%、「75～79歳」が18.1%、「90歳以上」が14.3%となっている。

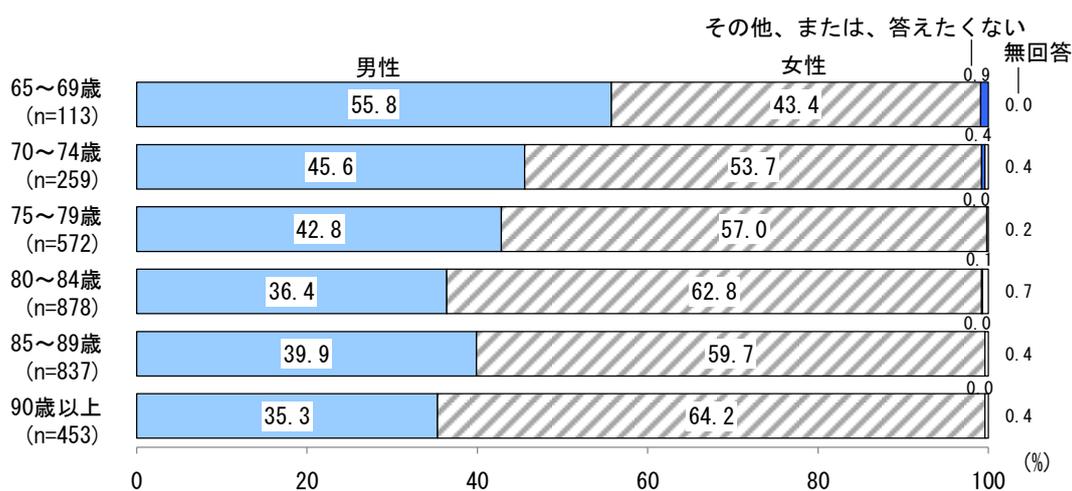
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問2(2))

【問2(2) 本人の年齢（経年比較）】

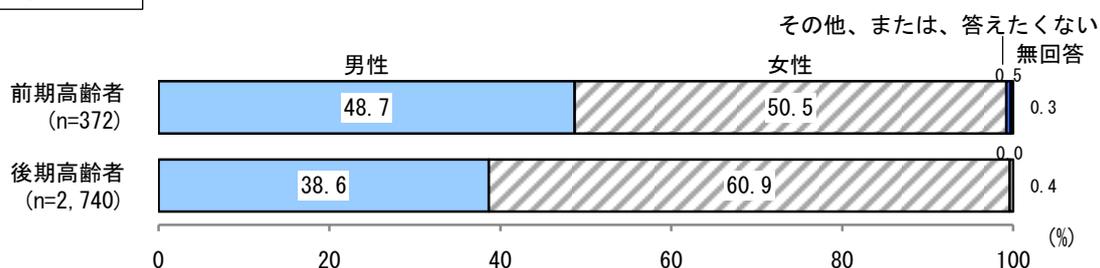


本人の性別と年齢との関係では、65～69歳の回答者は「男性」の割合の方が高く、70歳以上の各年代の回答者は「女性」の方が高くなっている。(問2(2)-a)

【問2(2)-a 本人の性別（本人の年齢別）】



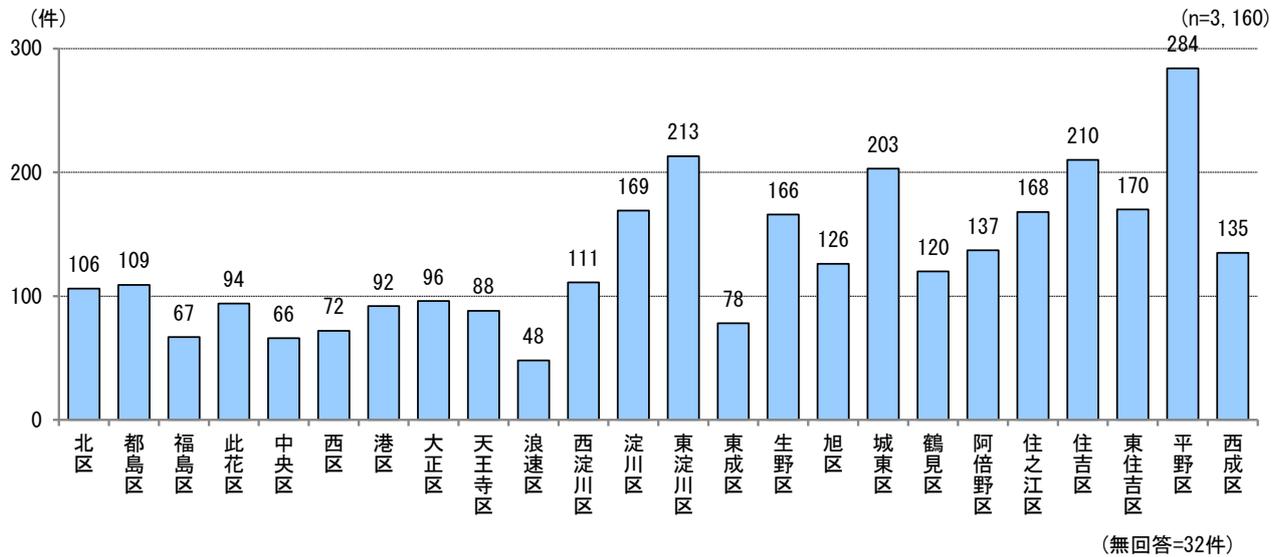
\* 前期・後期別



## 問2(3) 本人の居住区

本人の居住区では、「平野区」が284件で最も多く、次いで「東淀川区」が213件、「住吉区」が210件、「城東区」が203件となっている。(問2(3))

【問2(3) 本人の居住区】



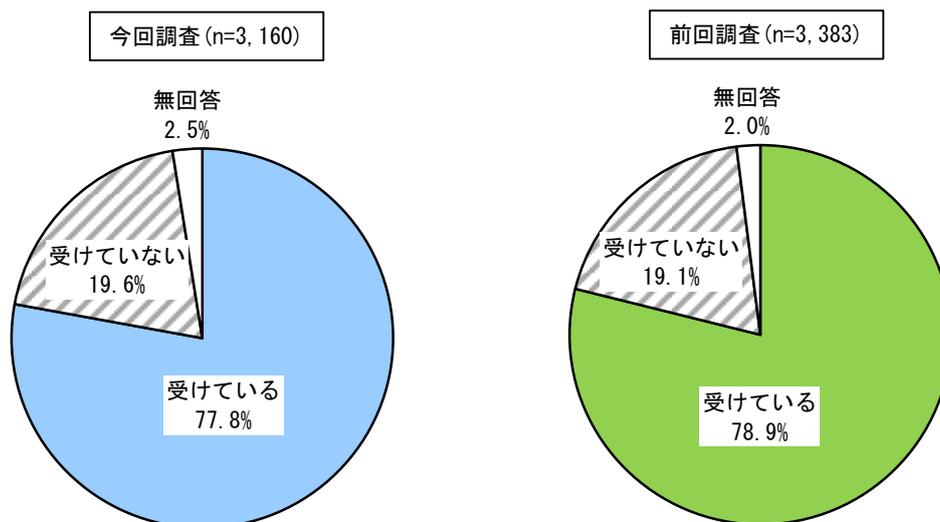
### 問3 要介護認定の有無

あなたは要介護（要支援）認定を受けていますか。（○はひとつ）

要介護認定を「受けている」割合は77.8%に対し、「受けていない」が19.6%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問3）

#### 【問3 要介護認定の有無（経年比較）】



### 問3-1 要介護度

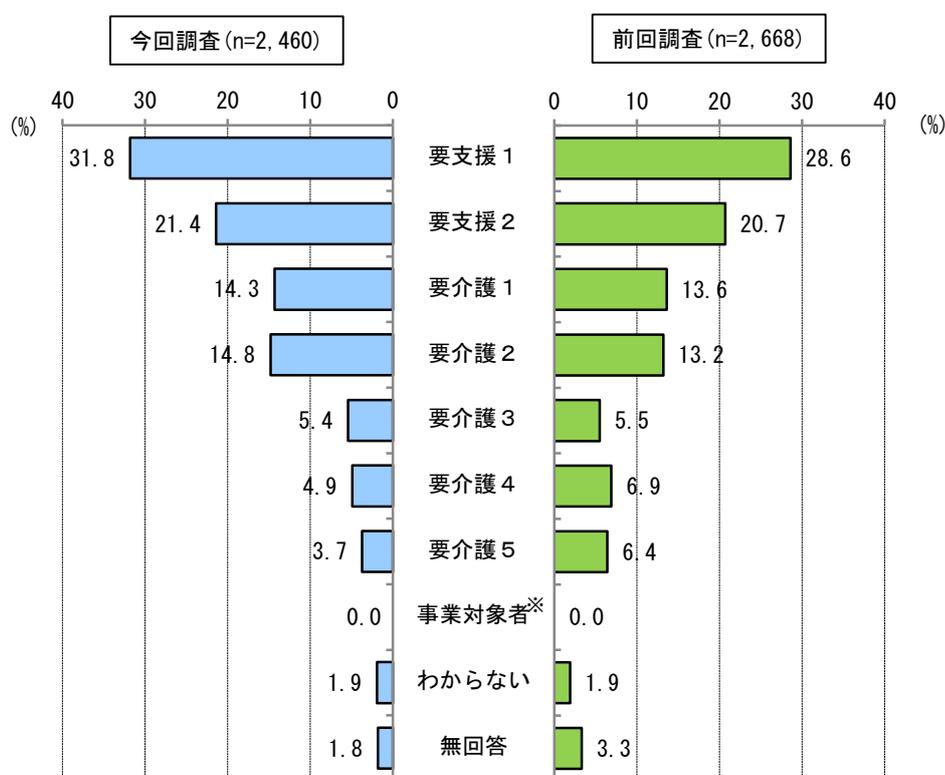
問3で「1 受けている」(要介護(要支援)認定を受けている)と回答された方におうかがいします。

要介護度に○をつけてください。(○はひとつ)

要介護認定を受けていると回答した人に、要介護度をたずねると、「要支援1」の割合が31.8%で最も高く、次いで「要支援2」が21.4%、「要介護2」が14.8%、「要介護1」が14.3%となっている。

前回調査の結果に比べ、要介護1と要介護2の順位に変化があるものの、要支援1から要介護2は微増、要介護3以上は微減となっている。(問3-1)

【問3-1 要介護度 (経年比較)】



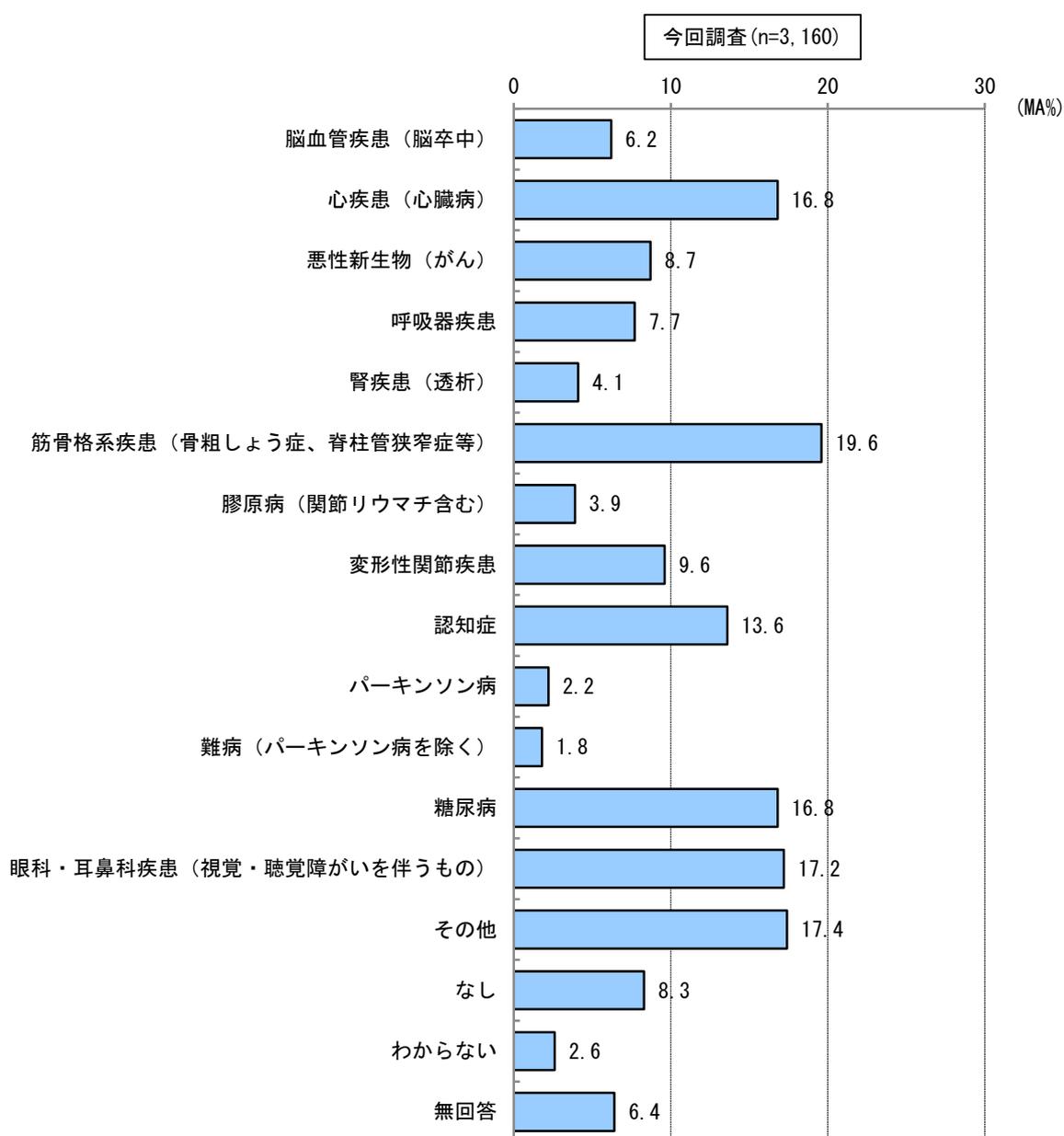
※「事業対象者」とは、地域包括支援センターまたは各区役所保健福祉課で基本チェックリストを実施し、市が実施している「介護予防・日常生活支援総合事業」の対象となった方をいう。

## 問4 傷病状況

あなたが現在抱えている傷病等（完治したものは除き、経過観察中のものを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

現在抱えている傷病等は、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が19.6%で最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」が17.2%、「心疾患（心臓病）」と「糖尿病」がそれぞれ16.8%となっている。（問4）

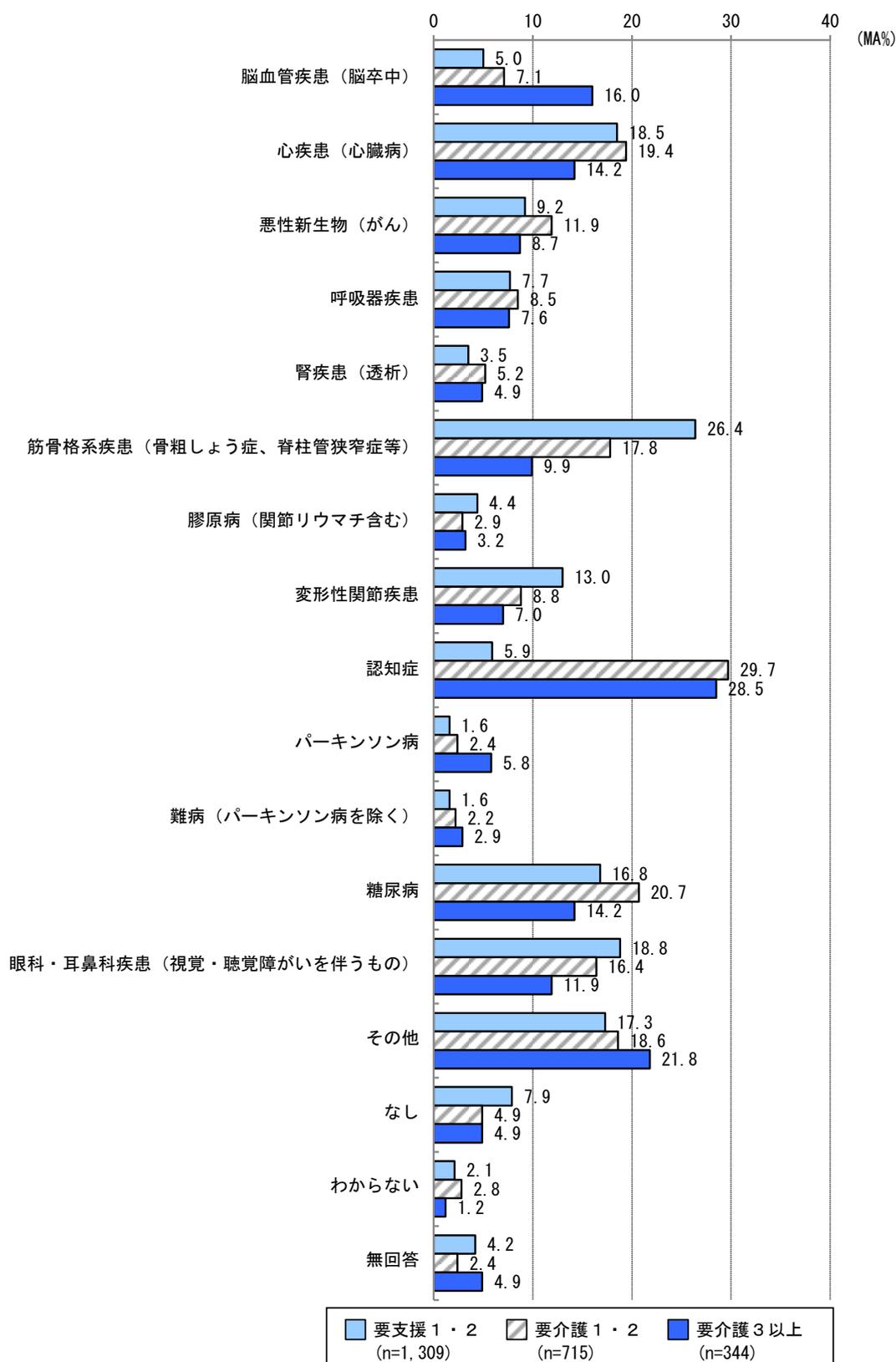
【問4 傷病状況】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2は「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が最も高く、要介護1以上は「認知症」が最も高くなっている。（問4-a）

【問4-a 傷病状況（要介護度別）】



## (2) 世帯の状況、介護の状況

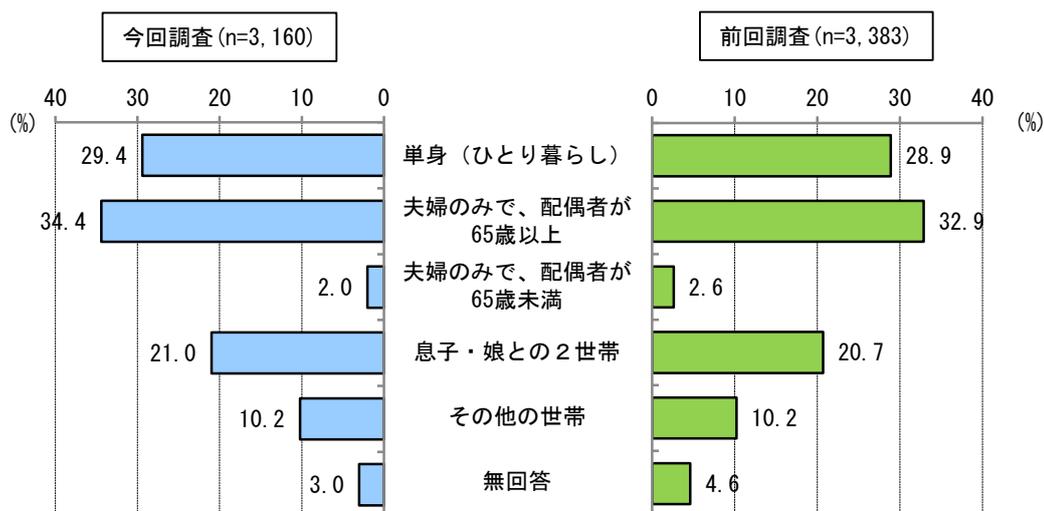
### 問5 世帯状況

あなたと同居されているご家族の状況についておうかがいします。(〇はひとつ)

世帯状況は、「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」の割合が34.4%で最も高く、次いで「単身（ひとり暮らし）」が29.4%、「息子・娘との2世帯」が21.0%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問5)

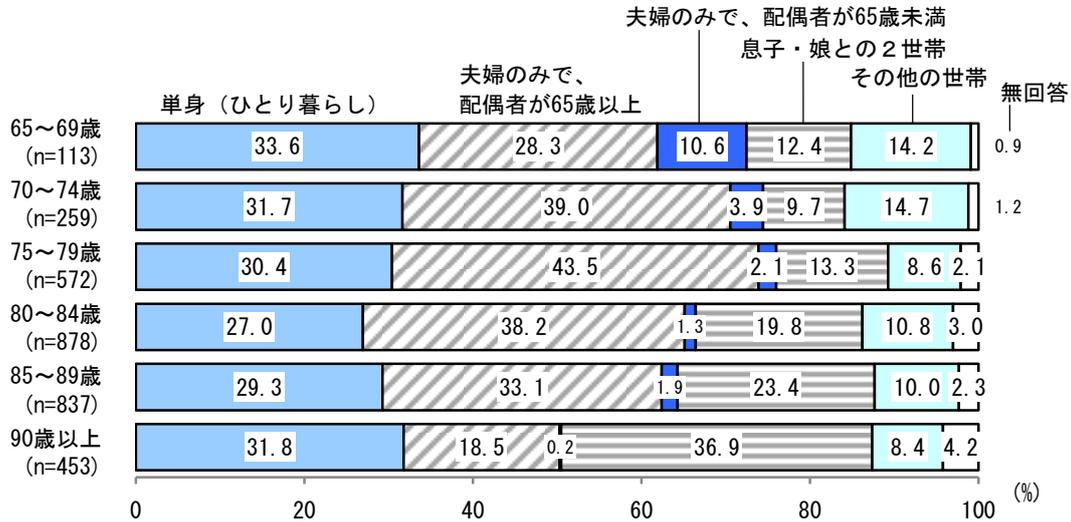
【問5 世帯状況（経年比較）】



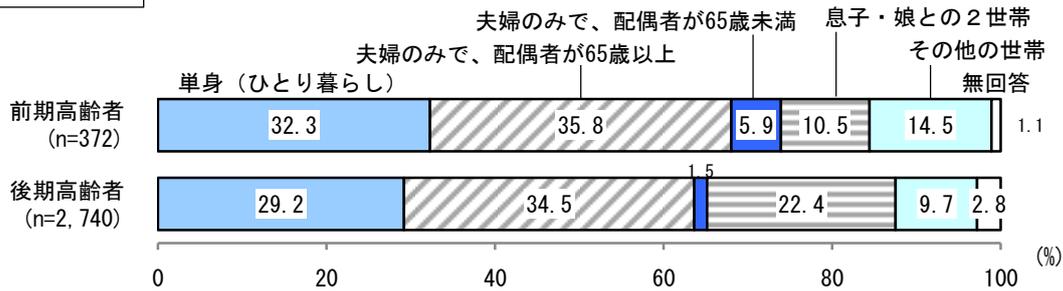
【介護保険サービス未利用者調査】

本人の年齢別では、65～69歳は「単身（ひとり暮らし）」の割合が33.6%で最も高く、70～89歳の各年代は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が最も高い。90歳以上は「息子・娘との2世帯」の割合が36.9%と他の年代に比べ高くなっている。（問5-a）

【問5-a 世帯状況（本人の年齢別）】



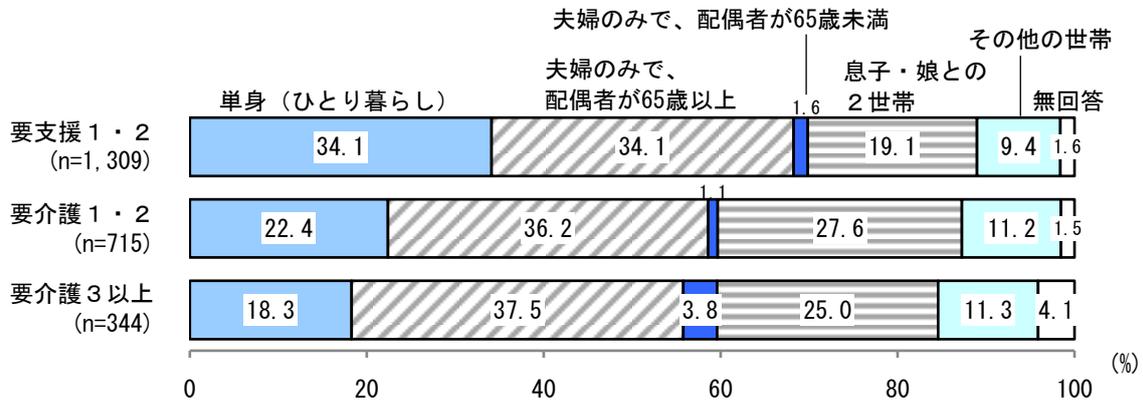
\* 前期・後期別



【介護保険サービス未利用者調査】

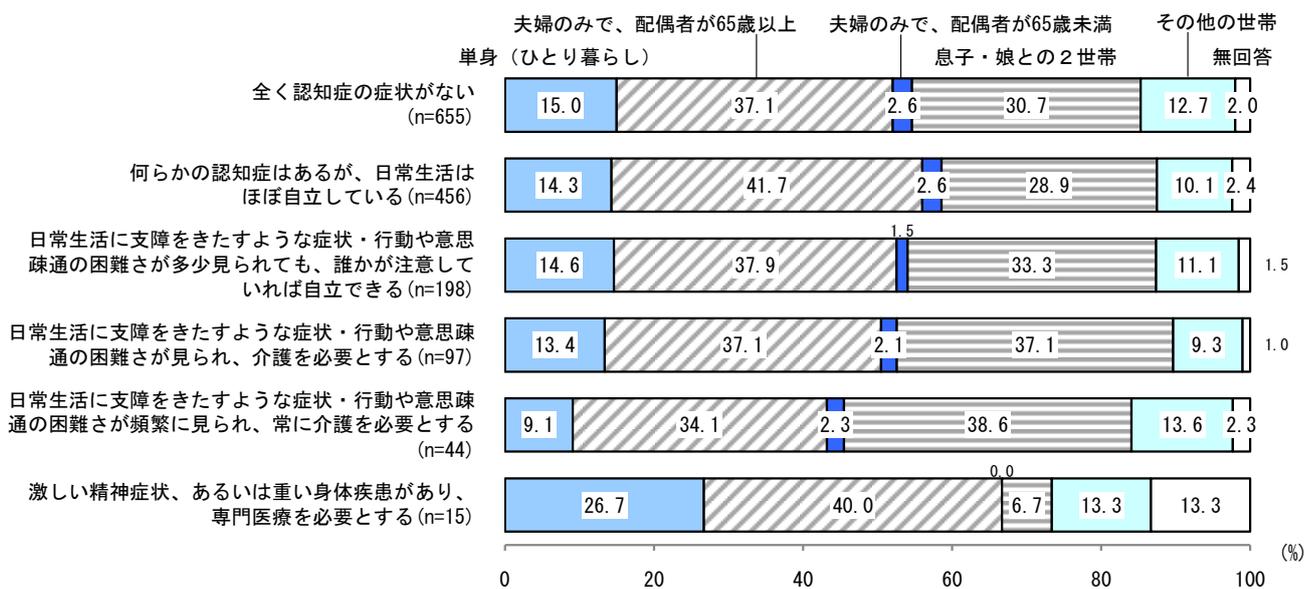
要介護度別では、要支援1・2は「単身（ひとり暮らし）」と「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」の割合がともに34.1%で最も高くなっている。要介護1以上は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」の割合が最も高く、「単身（ひとり暮らし）」の割合は、要介護度が軽度なほど高くなっている。（問5-b）

【問5-b 世帯状況（要介護度別）】



本人の認知症の程度別では、日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする高齢者は、「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」と「息子・娘との2世帯」の割合がともに37.1%で最も高い。日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする高齢者は、「息子・娘との2世帯」の割合が38.6%で最も高くなっている。それ以外の症状の高齢者は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」の割合が最も高くなっている。（問5-c）

【問5-c 世帯状況（本人の認知症の程度別）】



## 問6 介護者の有無

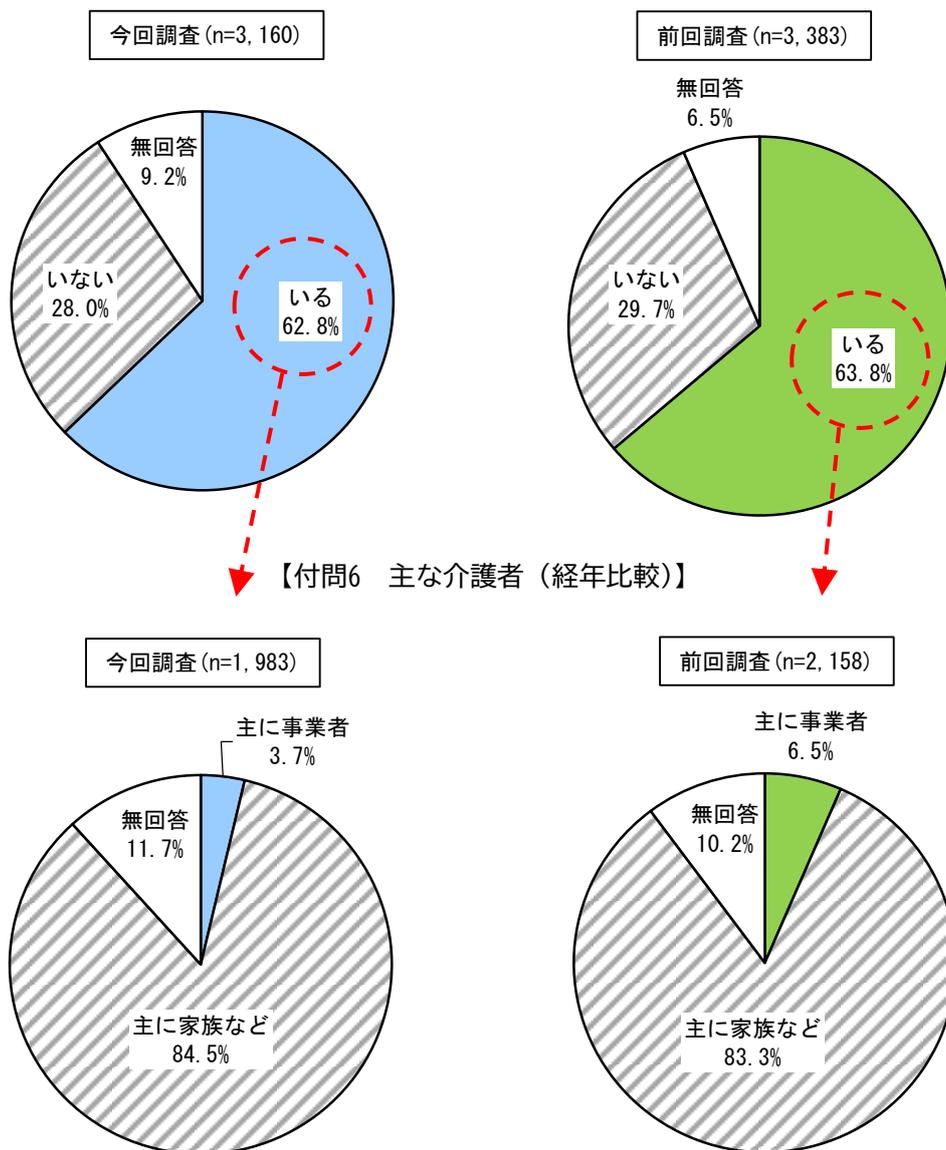
あなたの介護をする方はいますか。(○はひとつ)

介護者が「いる」は62.8%に対し、「いない」が28.0%となっている。(問6)

介護者がいると回答した人に、主な介護者をたずねると、「主に事業者」が3.7%、「主に家族など」が84.5%となっている。(付問6)

介護者の有無及び主な介護者とも、前回調査の結果から大きな変化はみられない。

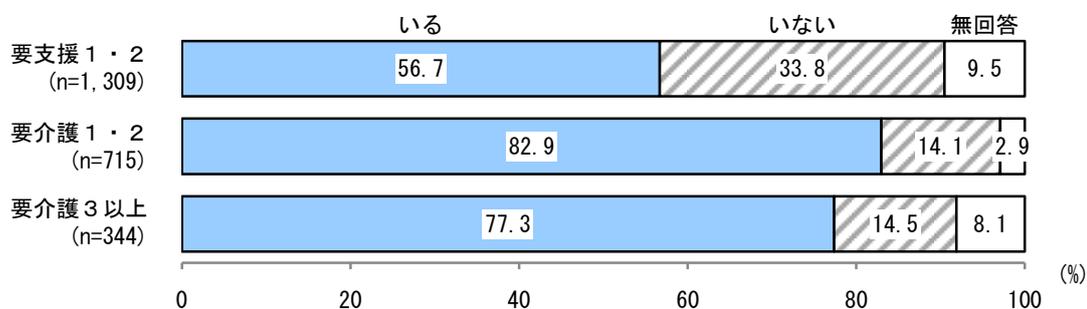
【問6 介護者の有無（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

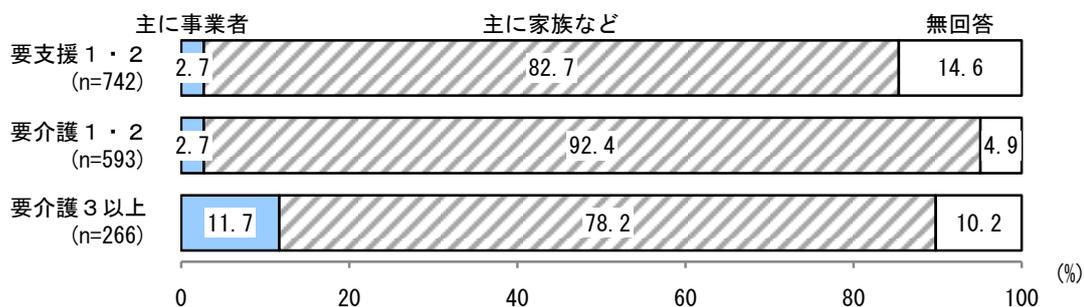
要介護度別では、介護者が「いる」の割合は要介護1・2が82.9%で最も高く、次いで要介護3以上が77.3%となっている。(問6-a)

【問6-a 介護者の有無（要介護度別）】



要介護度別の主な介護者では、「主に事業者」は要介護3以上が11.7%で最も高くなっている。(付問6-a)

【付問6-a 主な介護者（要介護度別）】



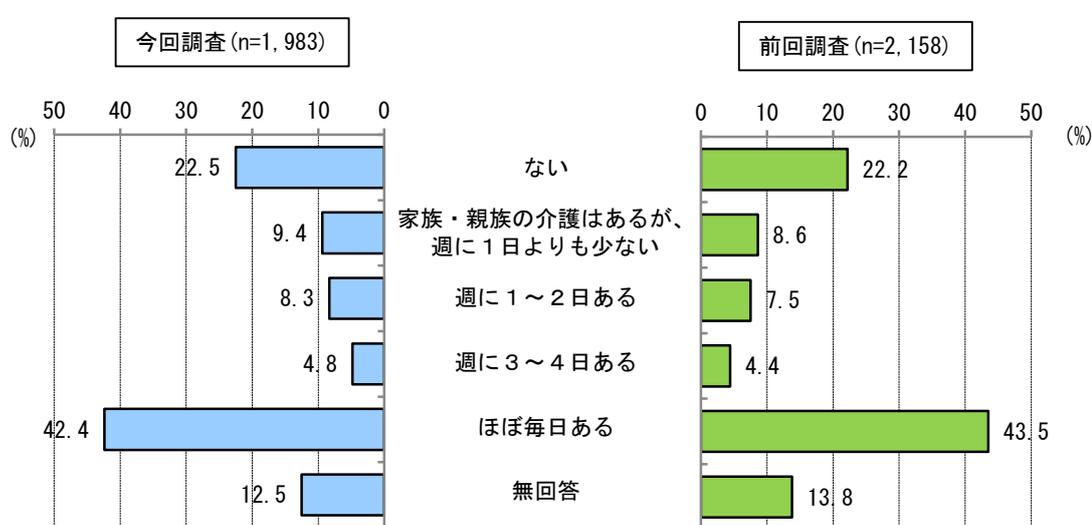
### 問6-1 家族や親族からの介護日数

問6で「1 いる」と回答された方におうかがいします。  
 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (〇はひとつ)

介護者がいると回答した人に、家族や親族からの介護の日数をたずねると、「ほぼ毎日ある」の割合が42.4%で最も高く、次いで「ない」が22.5%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が9.4%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問6-1)

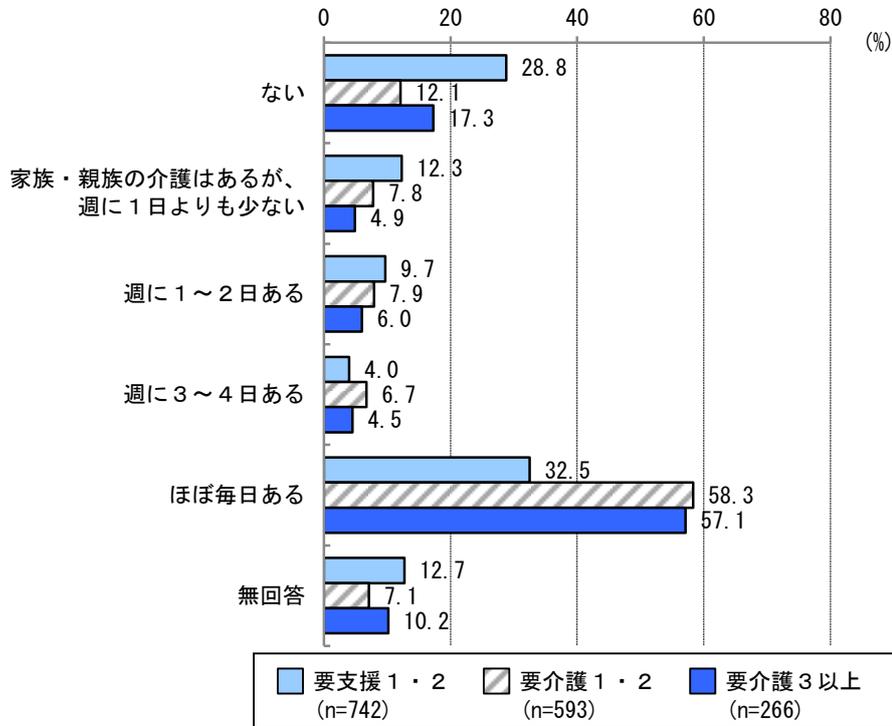
【問6-1 家族や親族からの介護日数 (経年比較)】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、「ほぼ毎日ある」の割合は要介護1・2が58.3%で最も高く、次いで要介護3以上が57.1%となっている。(問6-1-a)

【問6-1-a 家族や親族からの介護日数（要介護度別）】

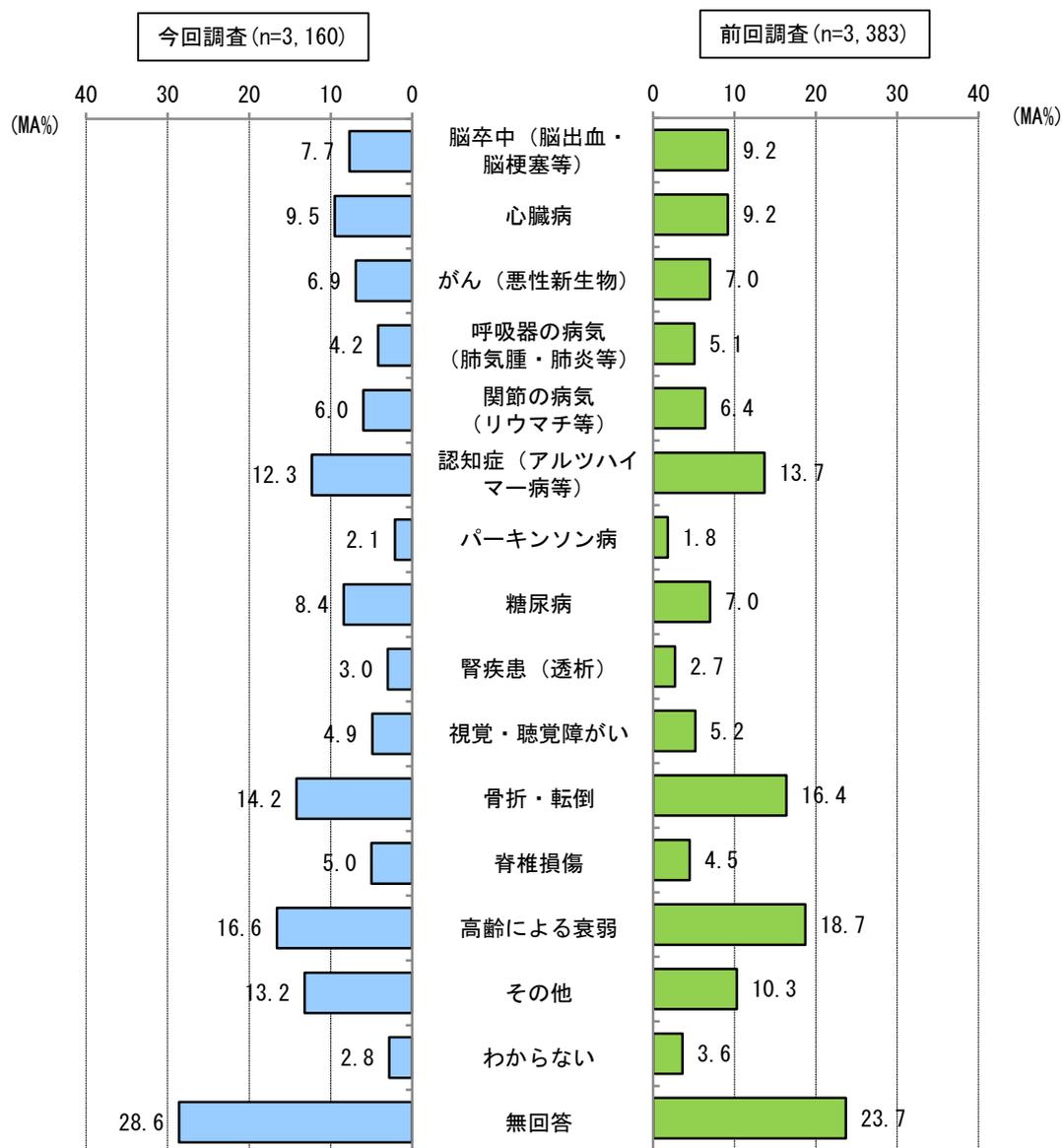


## 問7 介護・介助が必要になった原因

あなたが介護・介助が必要になった原因は何ですか。(〇はいくつでも)

介護・介助が必要になった原因は、「高齢による衰弱」の割合が16.6%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が14.2%、「認知症（アルツハイマー病等）」が12.3%となっている。  
 前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問7)

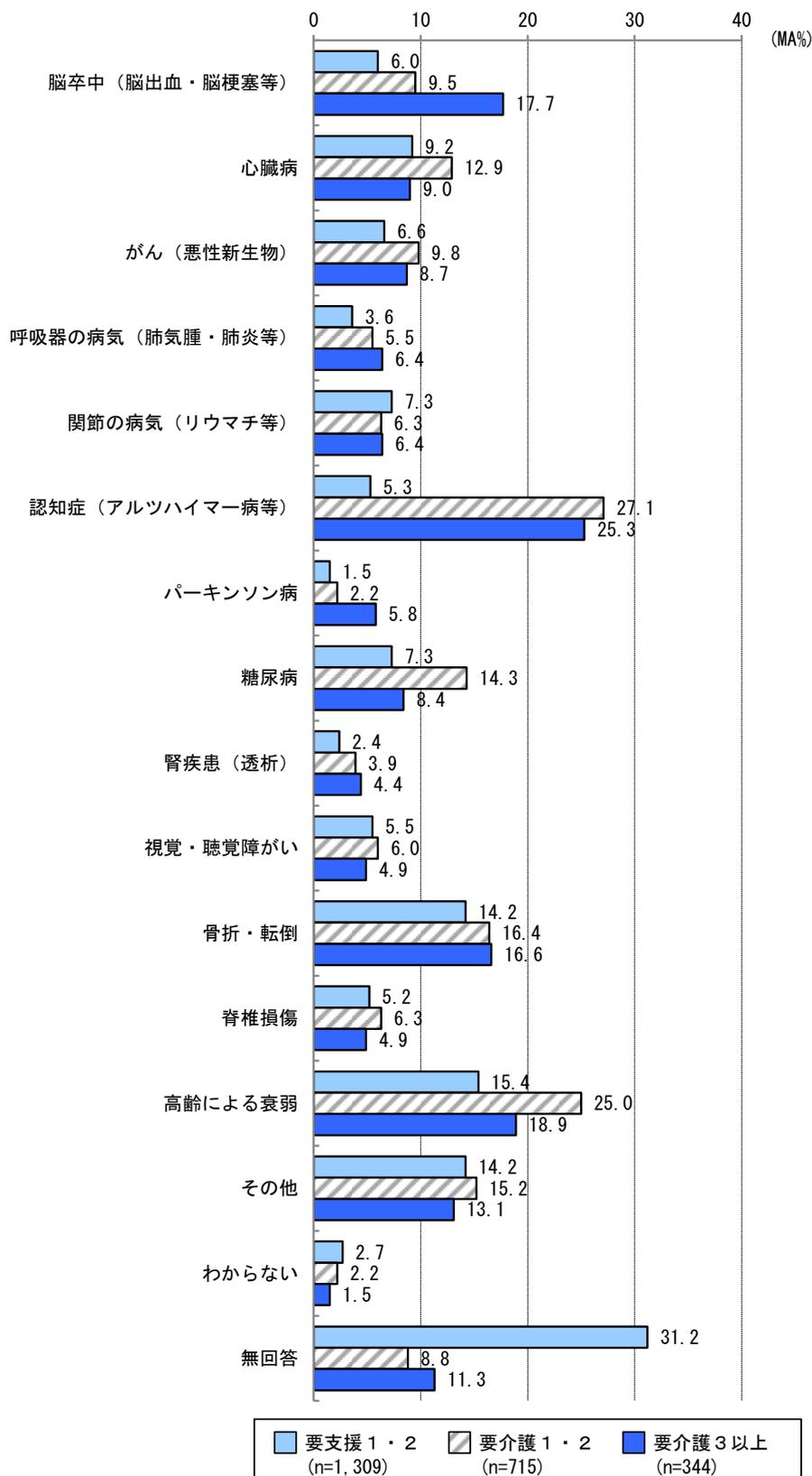
【問7 介護・介助が必要になった原因（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2は「高齢による衰弱」の割合が最も高い。要介護1以上では「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が最も高く、次いで「高齢による衰弱」となっている。（問7-a）

【問7-a 介護・介助が必要になった原因（要介護度別）】

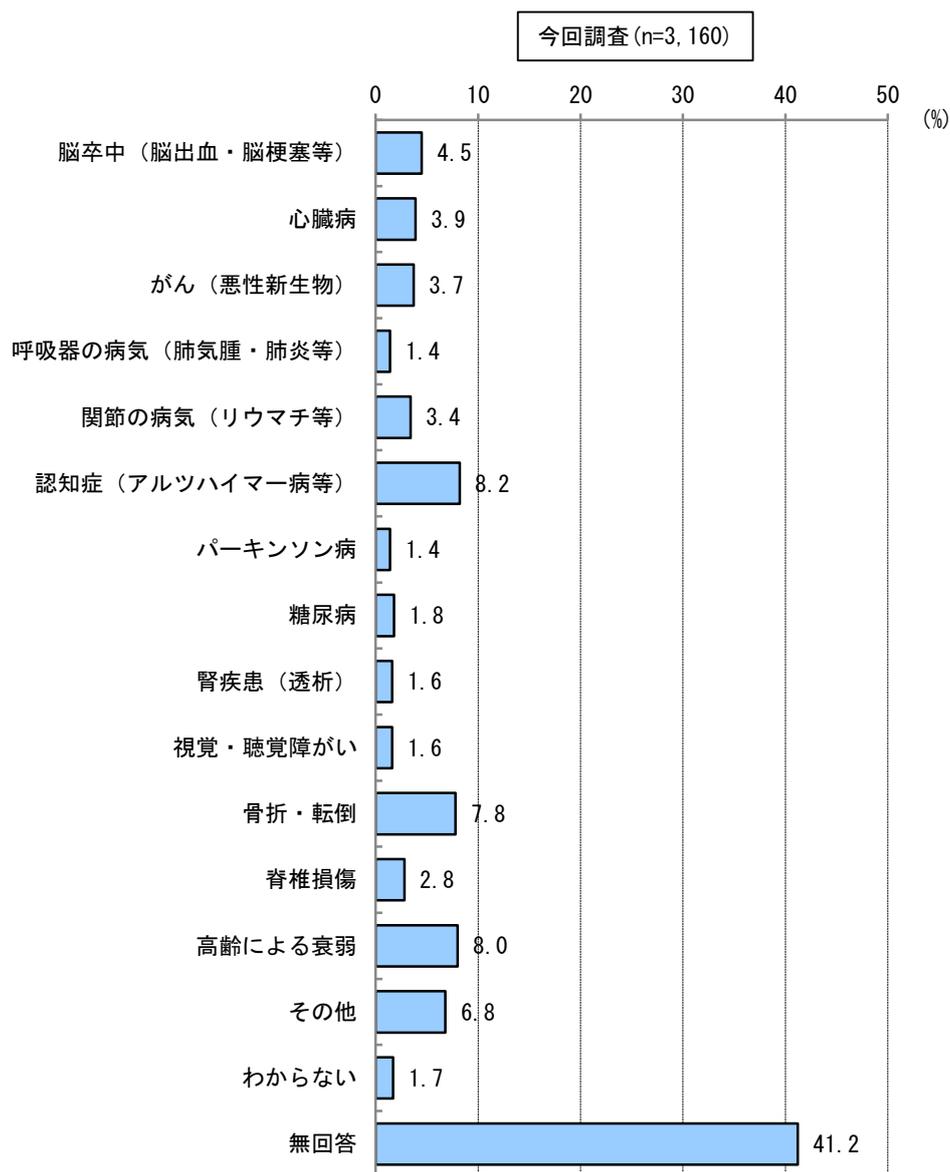


### 問7-1 介護・介助が必要になった主な原因

問7で○をつけた原因の中で、主な原因である番号を1つ記入してください。

介護・介助が必要になった主な原因は、「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が8.2%で最も高く、次いで「高齢による衰弱」が8.0%、「骨折・転倒」が7.8%となっている。（問7-1）

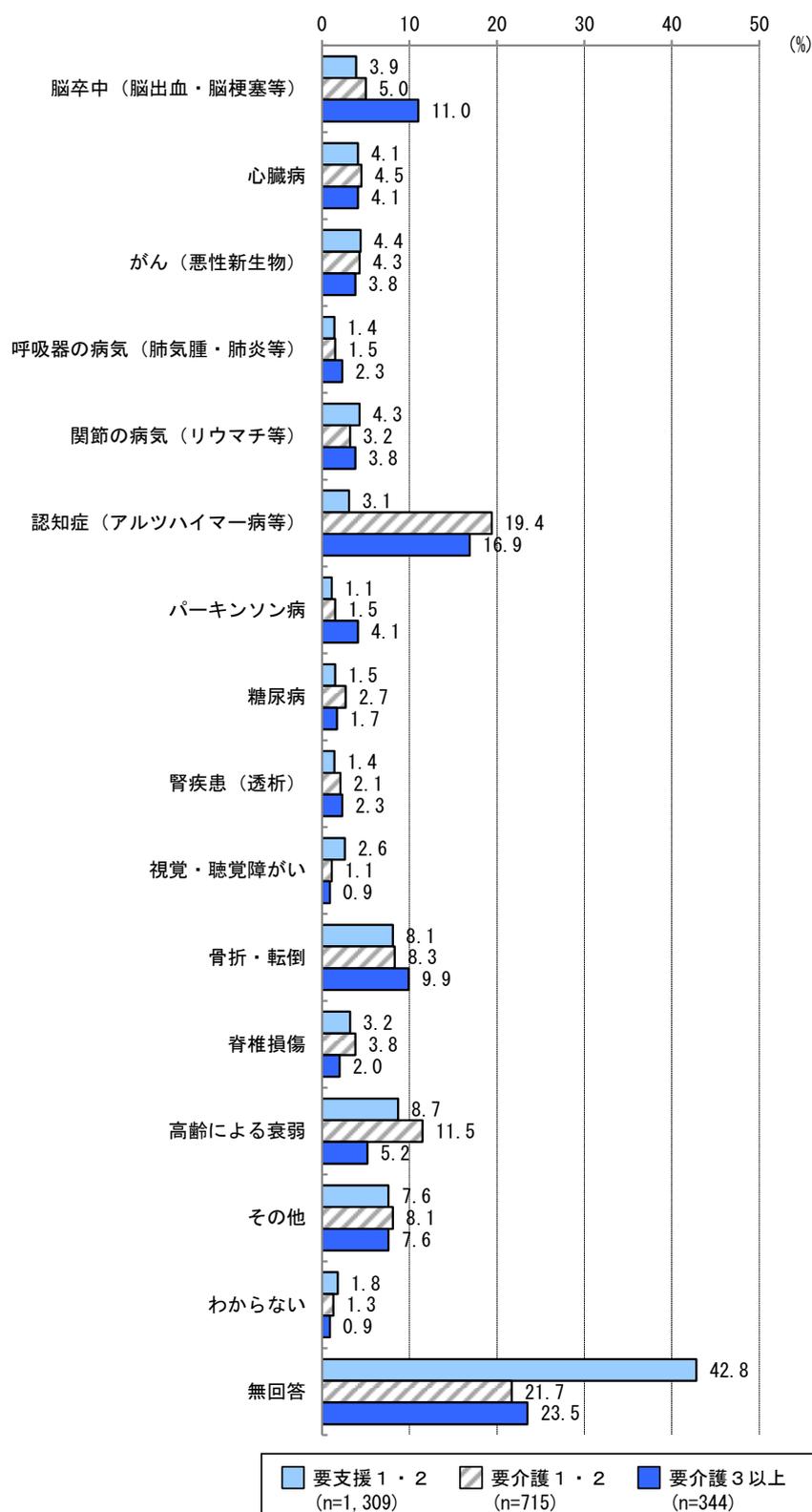
【問7-1 介護・介助が必要になった主な原因】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2は「高齢による衰弱」の割合が最も高く、次いで「骨折・転倒」となっている。要介護1以上では「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が最も高く、次いで要介護1・2は「高齢による衰弱」、要介護3以上では「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」となっている。（問7-1-a）

【問7-1-a 介護・介助が必要になった主な原因（要介護度別）】



### (3) 要介護認定

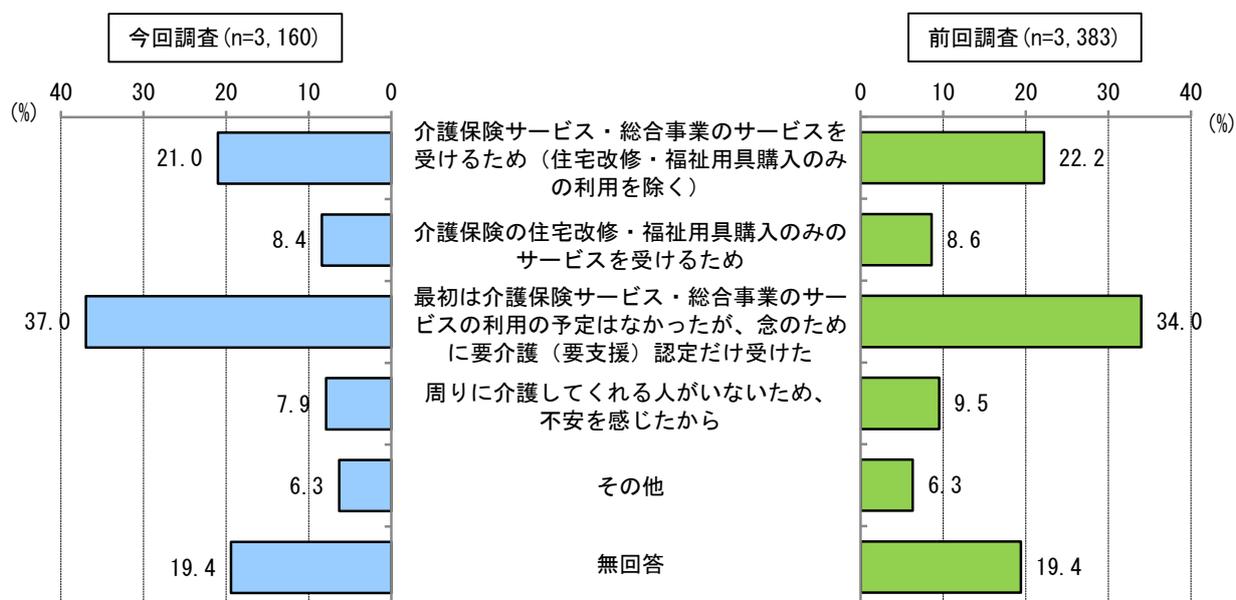
#### 問8 初めて要介護認定を受けた時の目的

あなたが、初めて要介護認定を受けた時の目的は何ですか。(○はひとつ)

初めて要介護認定を受けた時の目的は、「最初は介護保険サービス・総合事業のサービスの利用の予定はなかったが、念のために要介護（要支援）認定だけ受けた」の割合が37.0%で最も高く、次いで「介護保険サービス・総合事業のサービスを受けるため（住宅改修・福祉用具購入のみの利用を除く）」が21.0%、「介護保険の住宅改修・福祉用具購入のみのサービスを受けるため」が8.4%となっている。

前回調査の結果に比べ、上位項目のうち、「介護保険の住宅改修・福祉用具購入のみのサービスを受けるため」と「周りに介護してくれる人がいないため、不安を感じたから」の順位が入れ替わっている。(問8)

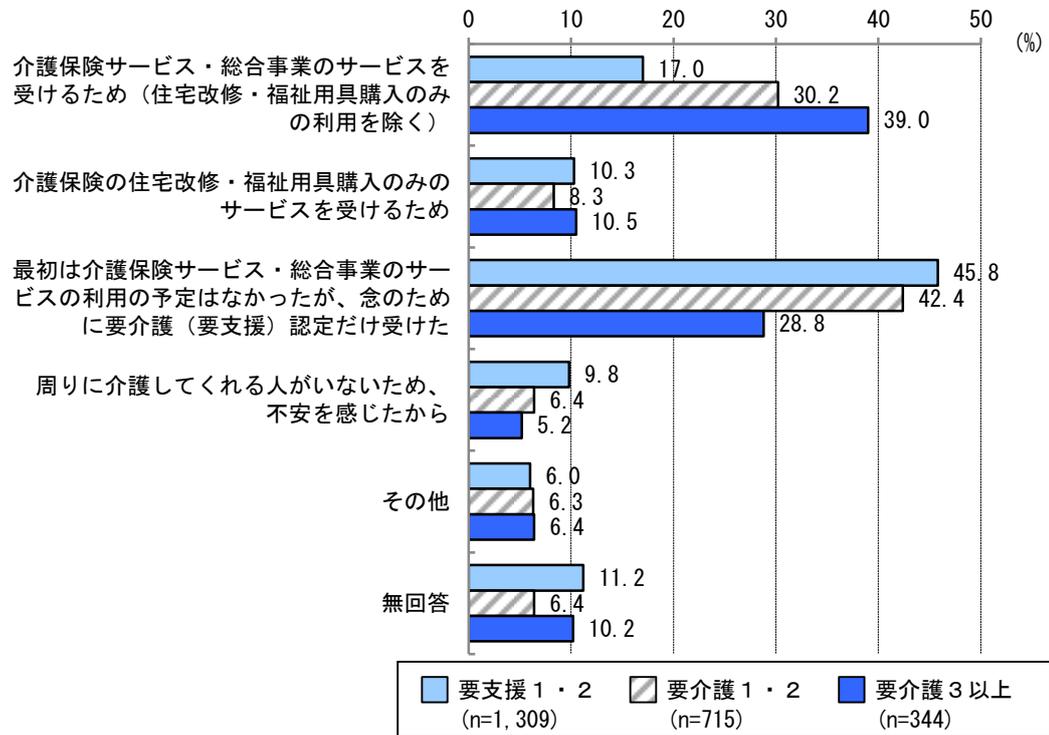
【問8 初めて要介護認定を受けた時の目的（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2、要介護1・2は「最初は介護保険サービス・総合事業のサービスの利用の予定はなかったが、念のために要介護（要支援）認定だけ受けた」の割合が最も高くなっている。「介護保険サービス・総合事業のサービスを受けるため（住宅改修・福祉用具購入のみの利用を除く）」の割合は要介護3以上で高く、重度になるほど割合が増加している。（問8-a）

【問8-a 初めて要介護認定を受けた時の目的（要介護度別）】



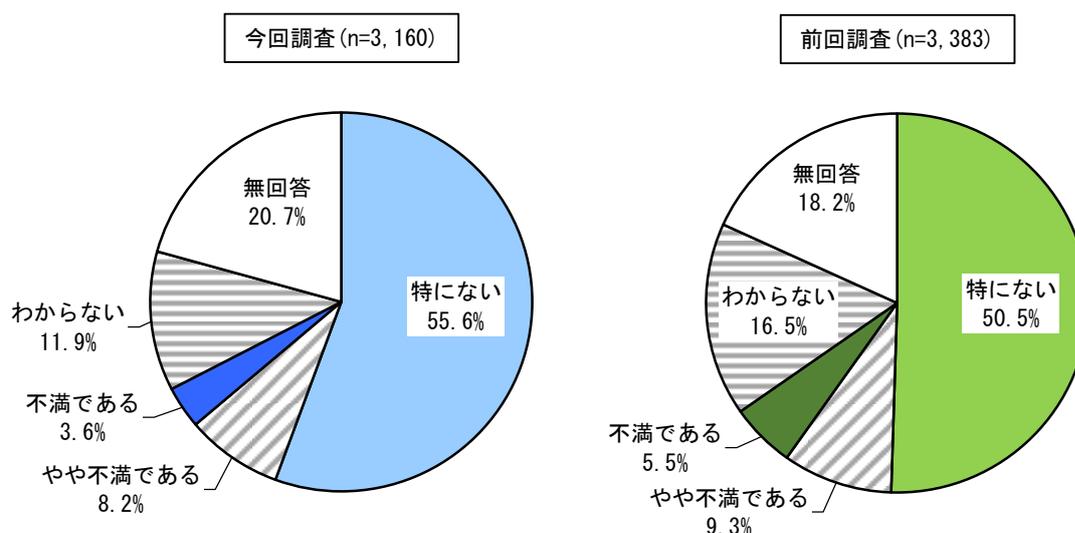
### 問9 直近の要介護認定で不満の有無

直近の要介護認定において、何かご不満な点がありましたか。(〇はひとつ)

直近の要介護認定での不満は、「特にない」の割合が55.6%で最も高く、次いで「やや不満である」が8.2%、「不満である」が3.6%となっている。

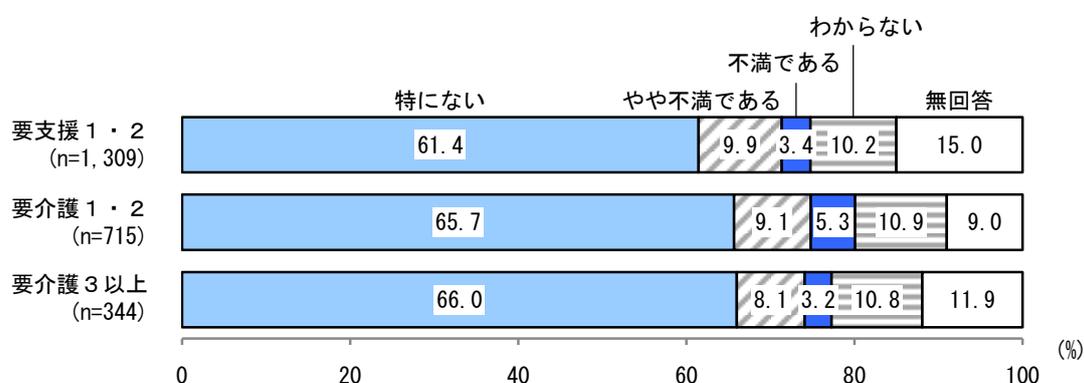
前回調査の結果に比べ、「特にない」の割合が5.1ポイント増加し、「不満である」「やや不満である」を合わせた割合は3.0ポイント減少している。(問9)

【問9 直近の要介護認定で不満の有無（経年比較）】



要介護度別では、要介護度にかかわらず「特にない」の割合が6割を超えている。「やや不満である」の割合は要支援1・2が9.9%で最も高くなっている。(問9-a)

【問9-a 直近の要介護認定で不満の有無（要介護度別）】



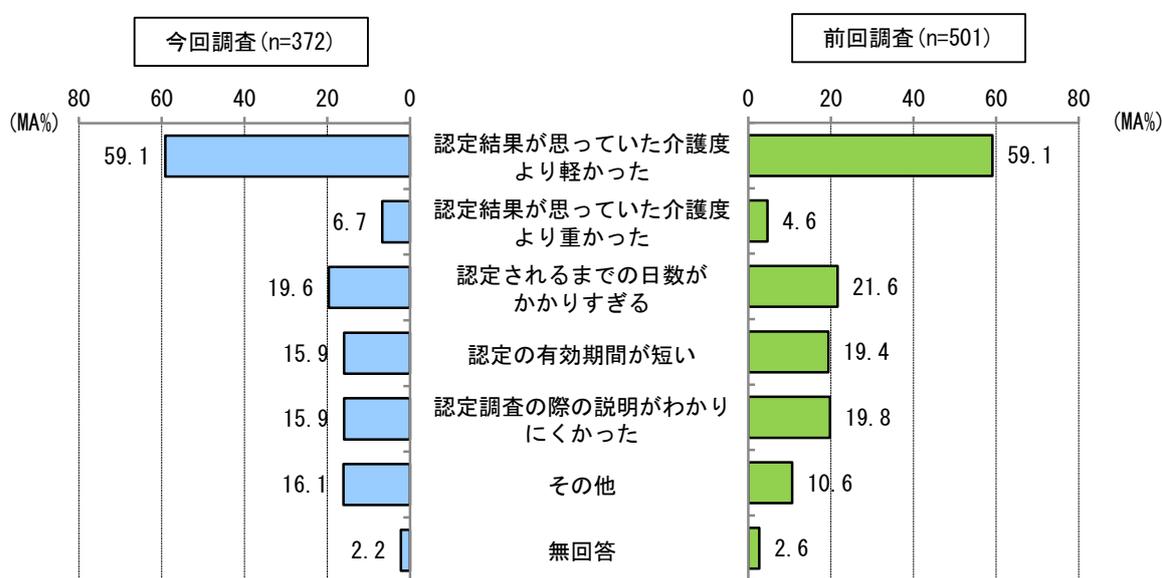
### 問9-1 要介護認定に不満がある理由

問9で「2 やや不満である」、「3 不満である」と回答された方におうかがいします。その理由についてお答えください。(〇はいくつでも)

要介護認定に不満があると回答した人に、その理由をたずねると、「認定結果が思っていた介護度より軽かった」の割合が59.1%で最も高く、次いで「認定されるまでの日数がかかりすぎる」が19.6%、「認定の有効期間が短い」と「認定調査の際の説明がわかりにくかった」がそれぞれ15.9%となっている。

前回調査の結果に比べ、「認定調査の際の説明がわかりにくかった」の割合が3.9ポイント、「認定の有効期間が短い」が3.5ポイント、それぞれ減少している。(問9-1)

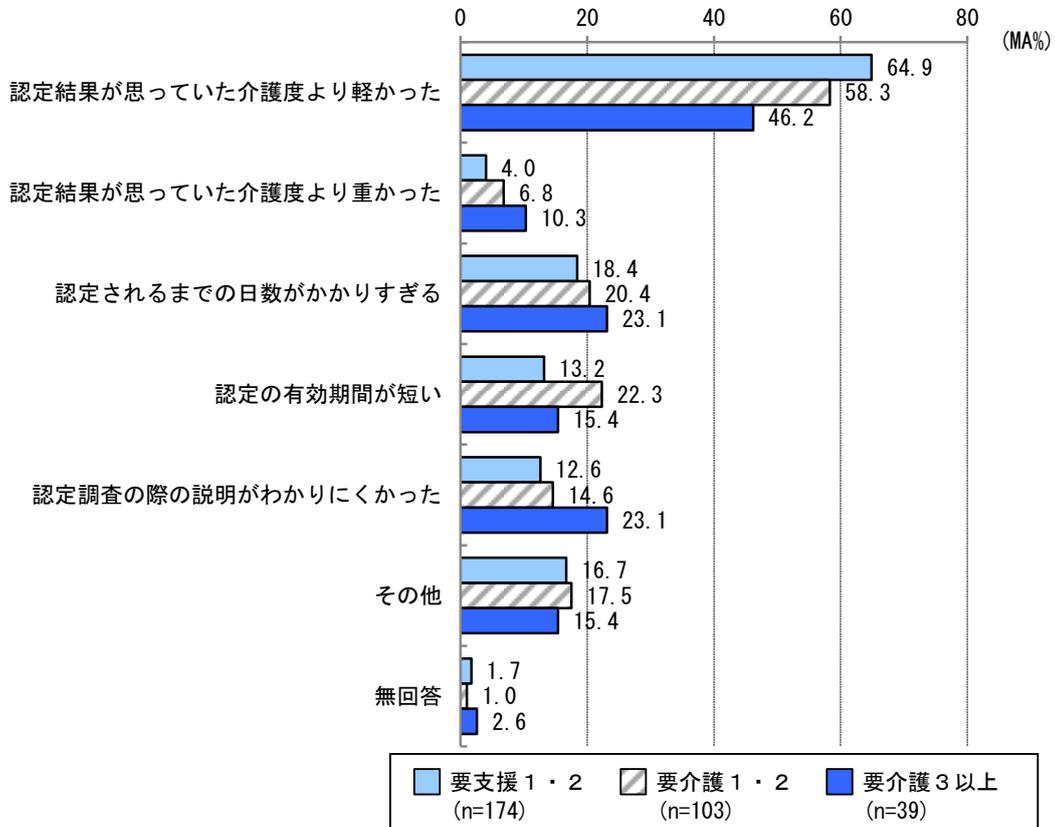
【問9-1 要介護認定に不満がある理由（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず「認定結果が思っていた介護度より軽かった」の割合が最も高く、要介護度が重度になるほどその割合は低くなっている。(問9-1-a)

【問9-1-a 要介護認定に不満がある理由（要介護度別）】



(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え

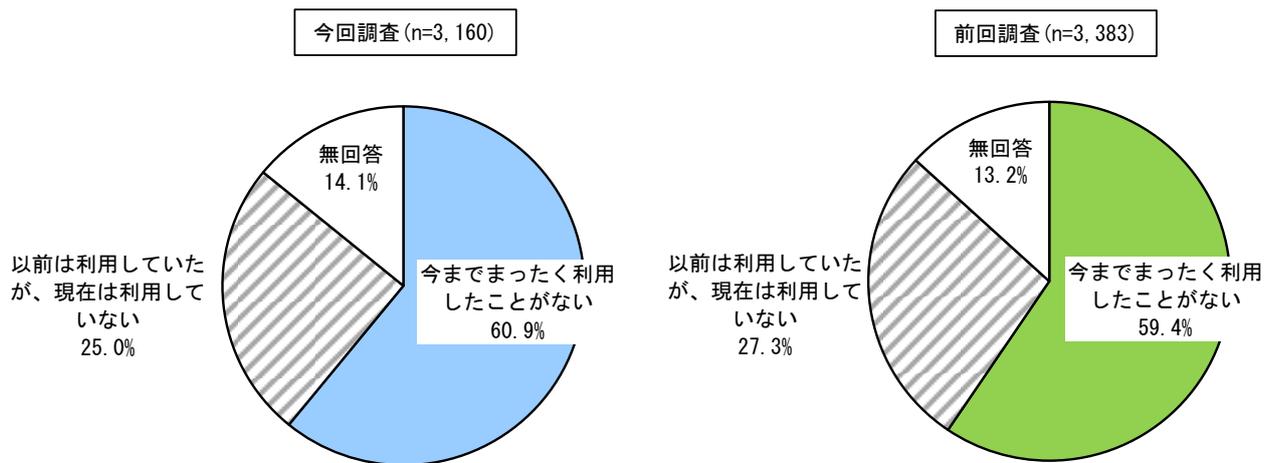
問10 介護保険サービスの利用状況

あなたの介護保険サービスの利用状況について、おうかがいします。(○はひとつ)

介護サービスの利用状況は、「今までまったく利用したことがない」が60.9%、「以前は利用していたが、現在は利用していない」が25.0%となっている。

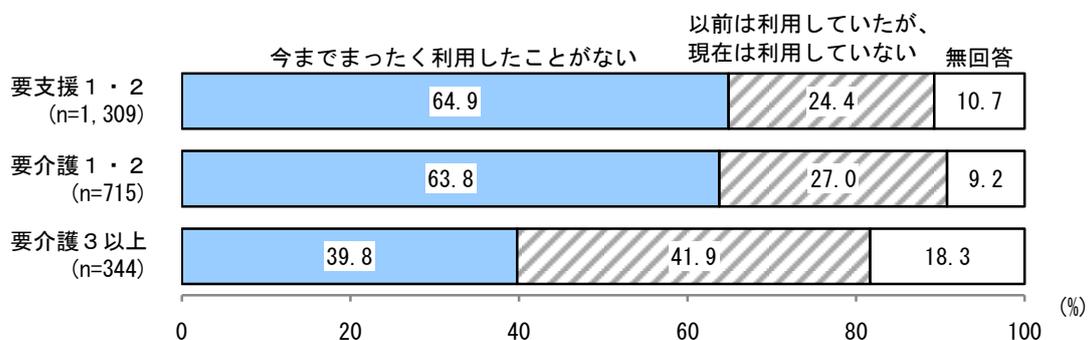
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問10)

【問10 介護保険サービスの利用状況（経年比較）】



要介護度別では、要支援1・2と要介護1・2は「今までまったく利用したことがない」の割合が6割を超えている。要介護3以上は「以前は利用していたが、現在は利用していない」の割合の方が高くなっている。(問10-a)

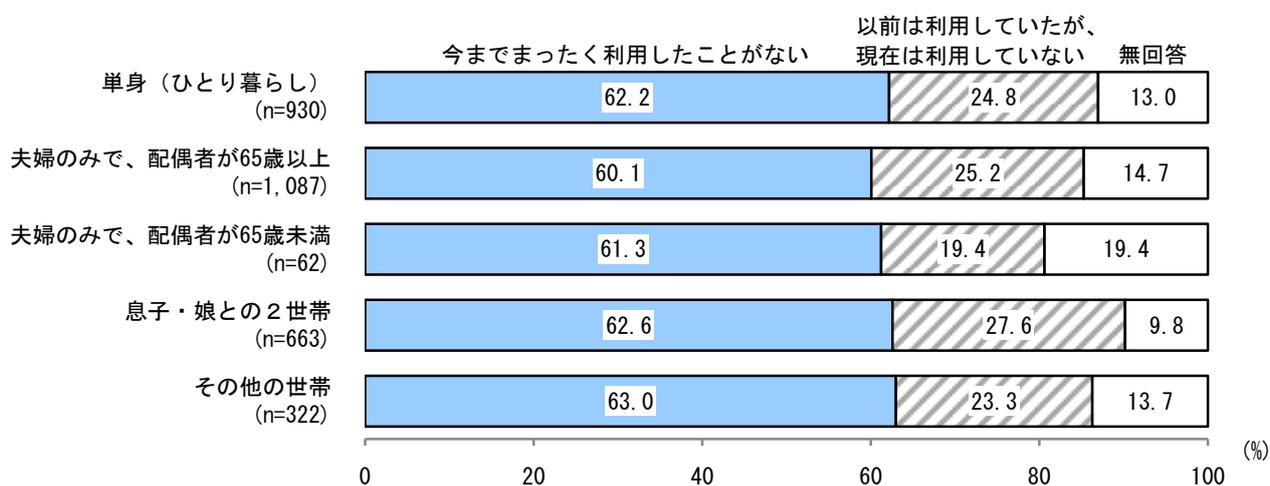
【問10-a 介護保険サービスの利用状況（要介護度別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

世帯状況別では、いずれの世帯も「今までまったく利用したことがない」の割合が6割を占めている。「以前は利用していたが、現在は利用していない」の割合は、息子・娘との2世帯の世帯が27.6%で最も高くなっている。(問10-b)

【問10-b 介護保険サービスの利用状況（世帯状況別）】



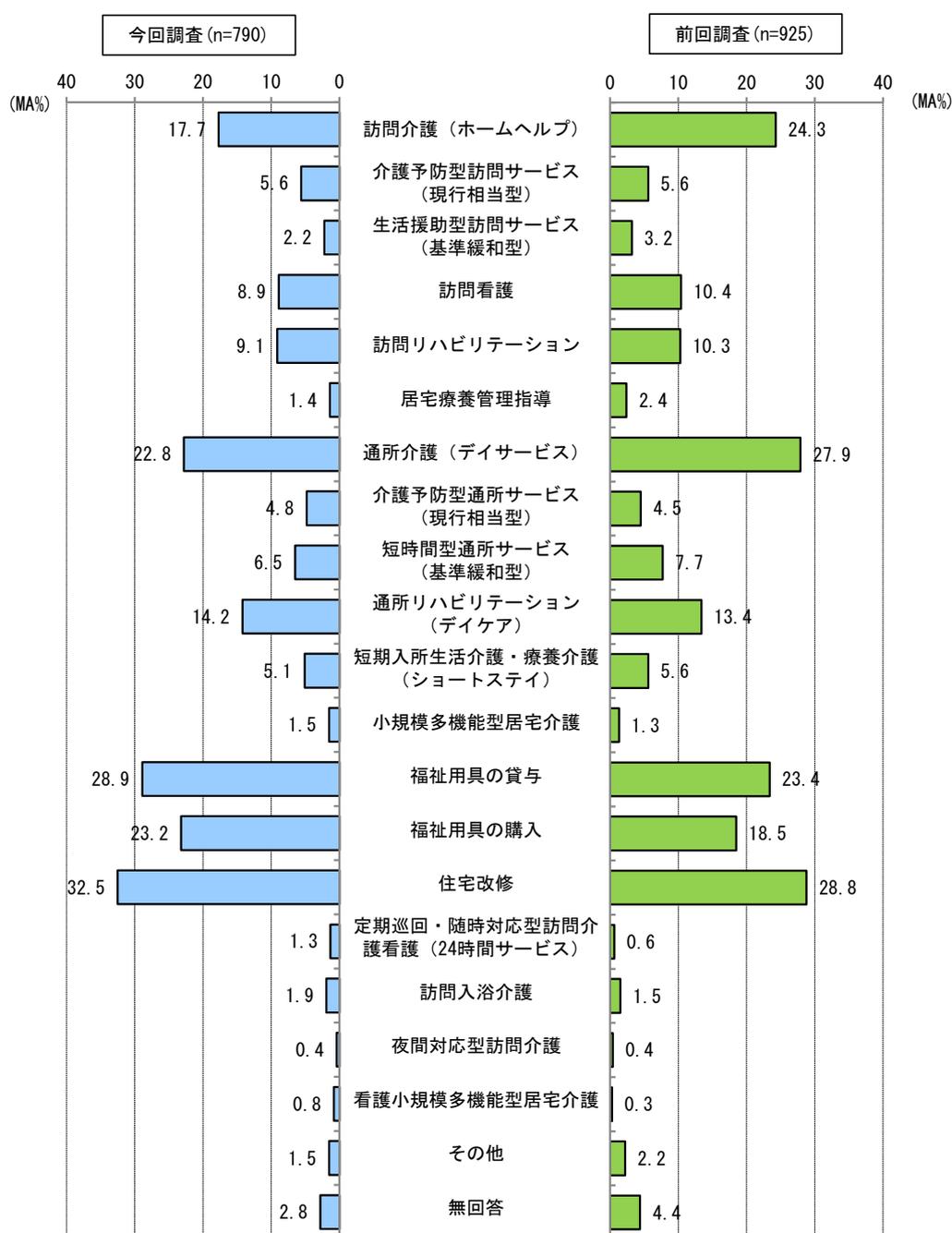
### 問10-1 以前利用していた介護保険サービス

問10で「2 以前は利用していたが、現在は利用していない」と回答された方におうかがいします。以前はどのようなサービスを利用していましたか。(〇はいくつでも)

介護保険サービスを以前利用していたが、現在は利用していないと回答した人に、以前利用していた介護サービスについてたずねると、「住宅改修」の割合が32.5%で最も高く、次いで「福祉用具の貸与」が28.9%、「福祉用具の購入」が23.2%となっている。

前回調査の結果に比べ、「福祉用具の貸与」の割合は5.5ポイント、「福祉用具の購入」の割合は4.7ポイント、それぞれ増加している。(問10-1)

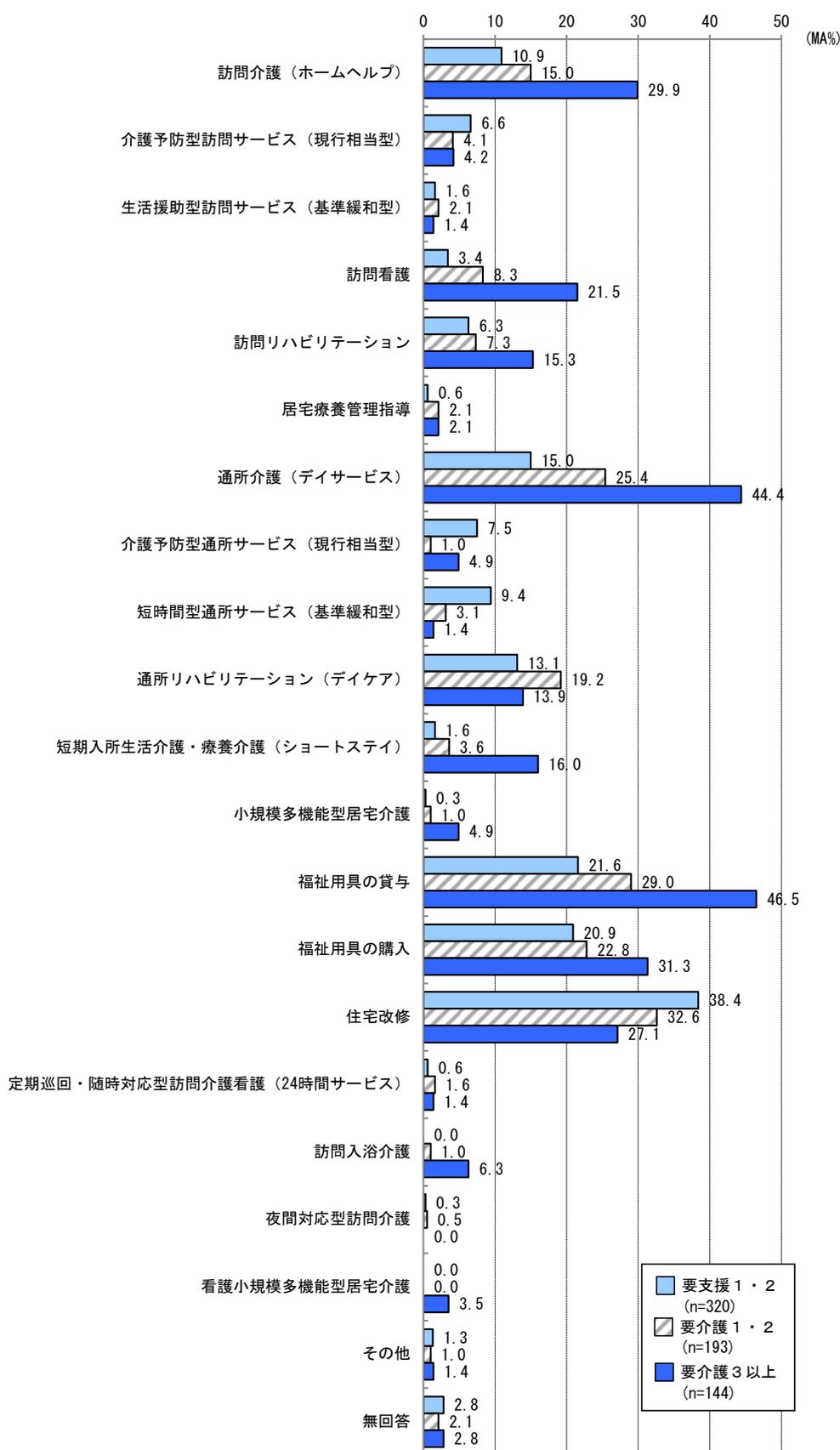
【問10-1 以前利用していた介護保険サービス（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2、要介護1・2は「住宅改修」の割合が最も高く、要介護3以上は「福祉用具の貸与」が最も高くなっている。(問10-1-a)

【問10-1-a 以前利用していた介護保険サービス（要介護度別）】



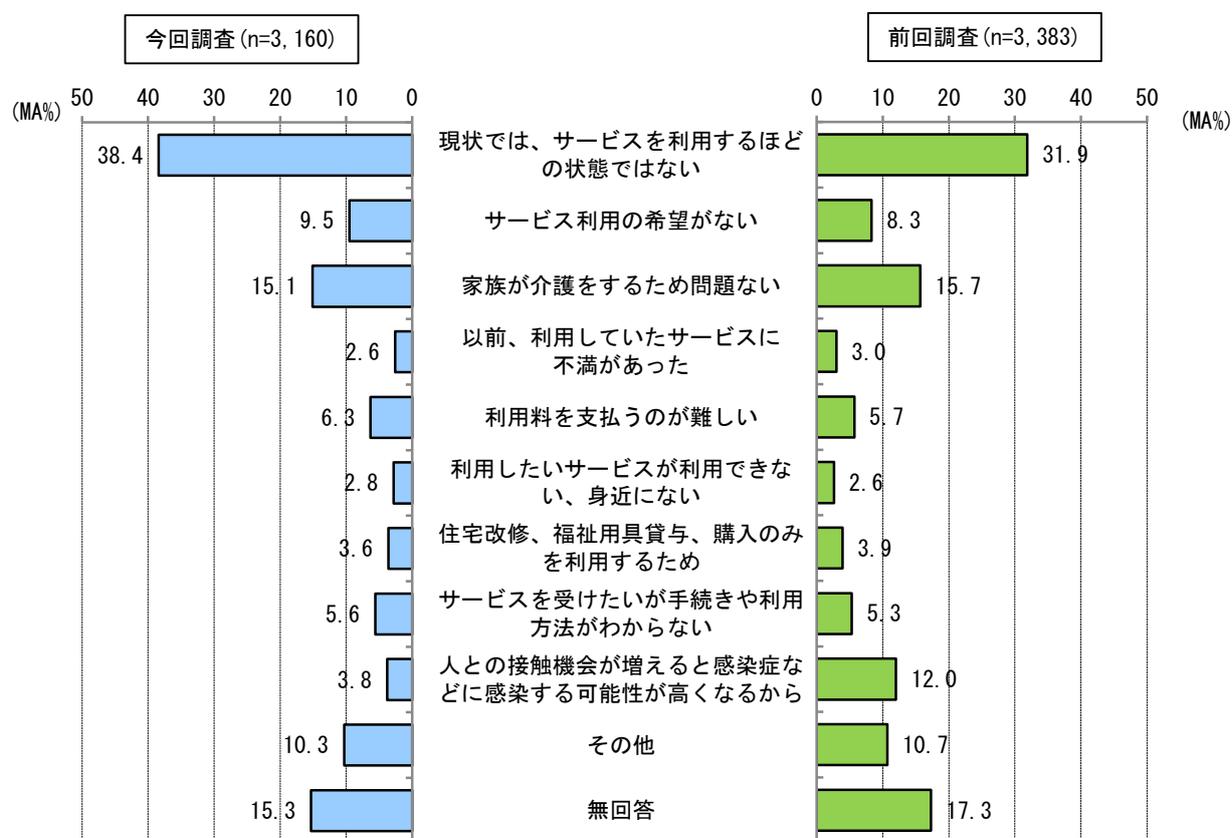
## 問11 介護保険サービスを利用していない理由

あなたが介護保険サービスを、現在利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

介護サービスを現在利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が38.4%で最も高く、次いで「家族が介護をするため問題ない」が15.1%、「サービス利用の希望がない」が9.5%となっている。

前回調査の結果に比べ、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合は6.5ポイント増加している。(問11)

【問11 介護保険サービスを利用していない理由（経年比較）】

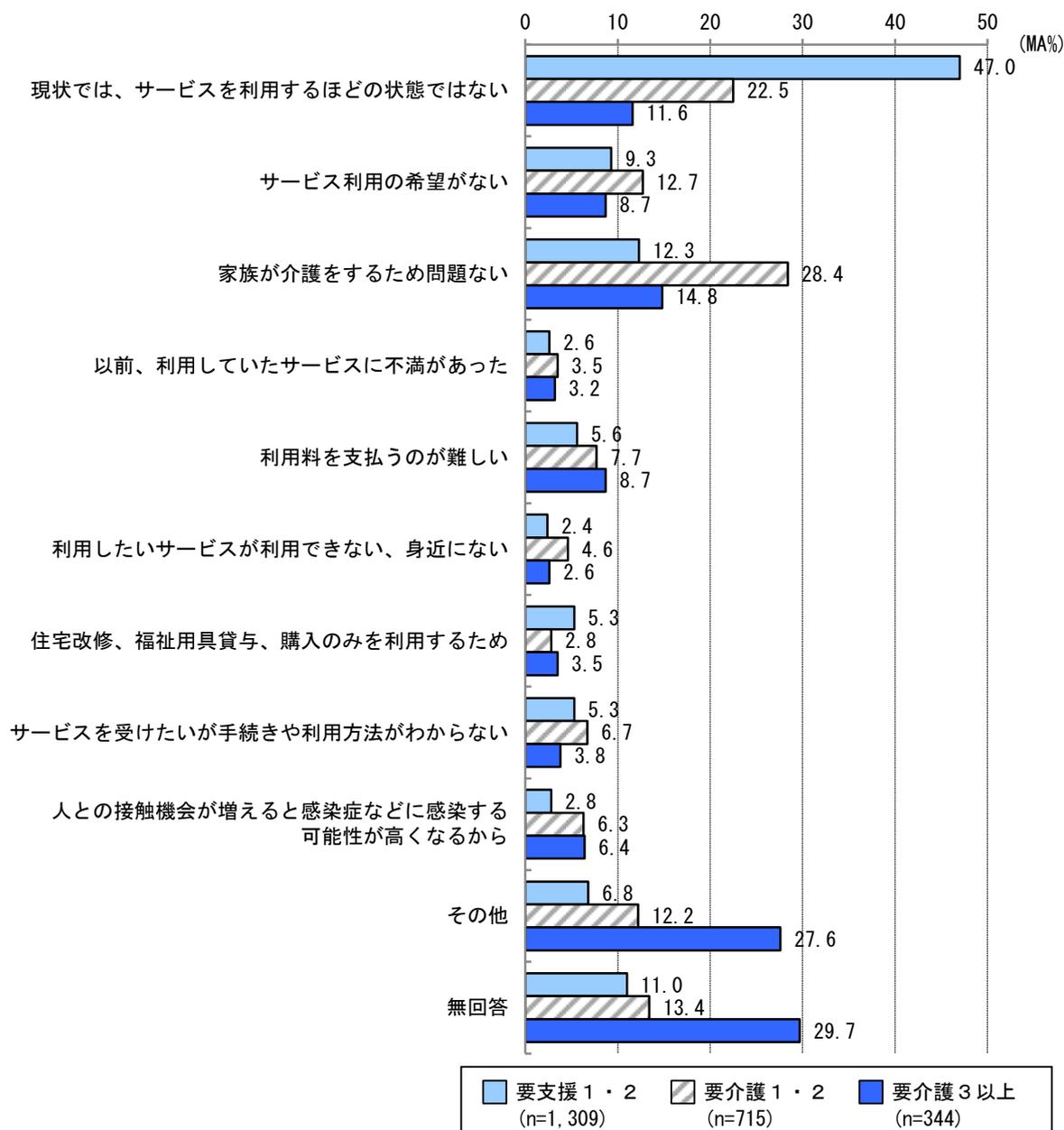


※前回調査の「人との接触機会が増えて新型コロナウイルス感染の可能性が高くなるから」は「人との接触機会が増えると感染症などに感染する可能性が高くなるから」に変更

【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が最も高く、要介護1以上は「家族が介護をするため問題ない」が最も高くなっている。(問11-a)

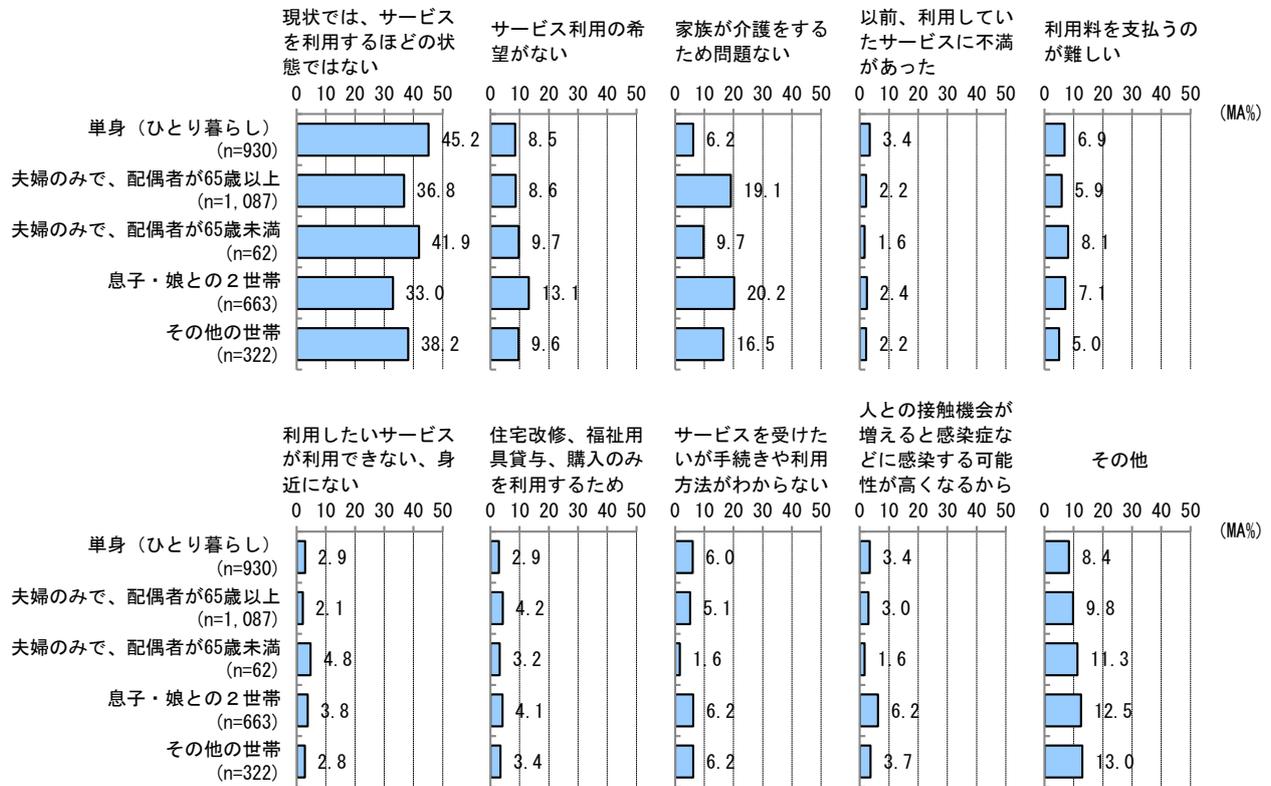
【問11-a 介護保険サービスを利用していない理由（要介護度別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

世帯状況別では、いずれの世帯も「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が最も高く、特に、単身（ひとり暮らし）の世帯の割合が45.2%で最も高くなっている。（問11-b）

【問11-b 介護保険サービスを利用していない理由（世帯状況別）】

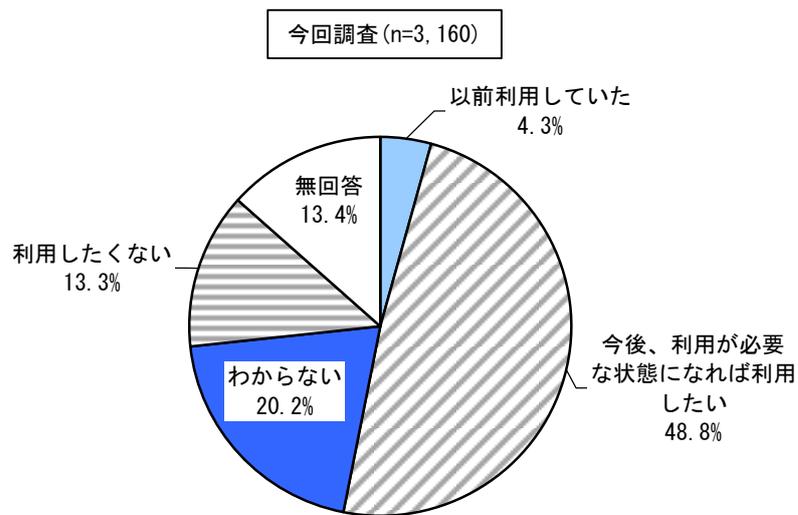


## 問12 リハビリテーションサービスの利用意向

いつまでも地域でいきいきと生活をするために、リハビリテーションサービスを利用してみたいですか。(○はひとつ)

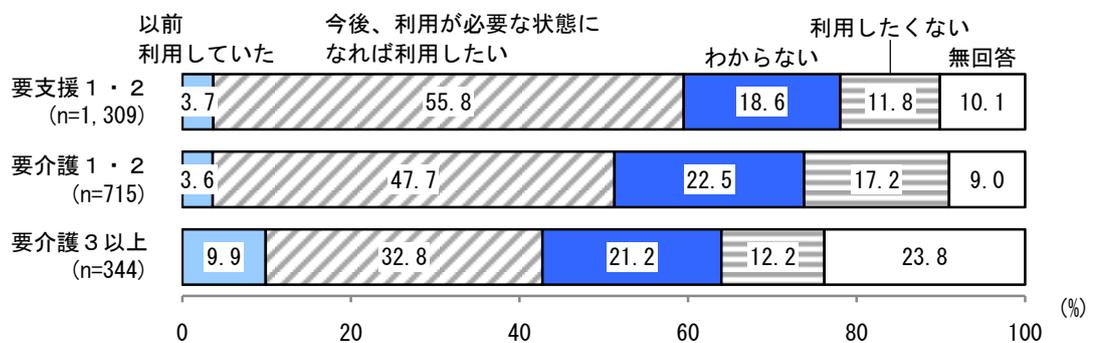
リハビリテーションサービスの利用意向は、「今後、利用が必要な状態になれば利用したい」の割合が48.8%で最も高く、次いで「わからない」が20.2%、「利用したくない」が13.3%となっている。(問12)

【問12 リハビリテーションサービスの利用意向】



要介護度別では、要介護度にかかわらず「今後、利用が必要な状態になれば利用したい」の割合が最も高く、要介護度が軽度ほどその割合が高くなっている。(問12-a)

【問12-a リハビリテーションサービスの利用意向 (要介護度別)】

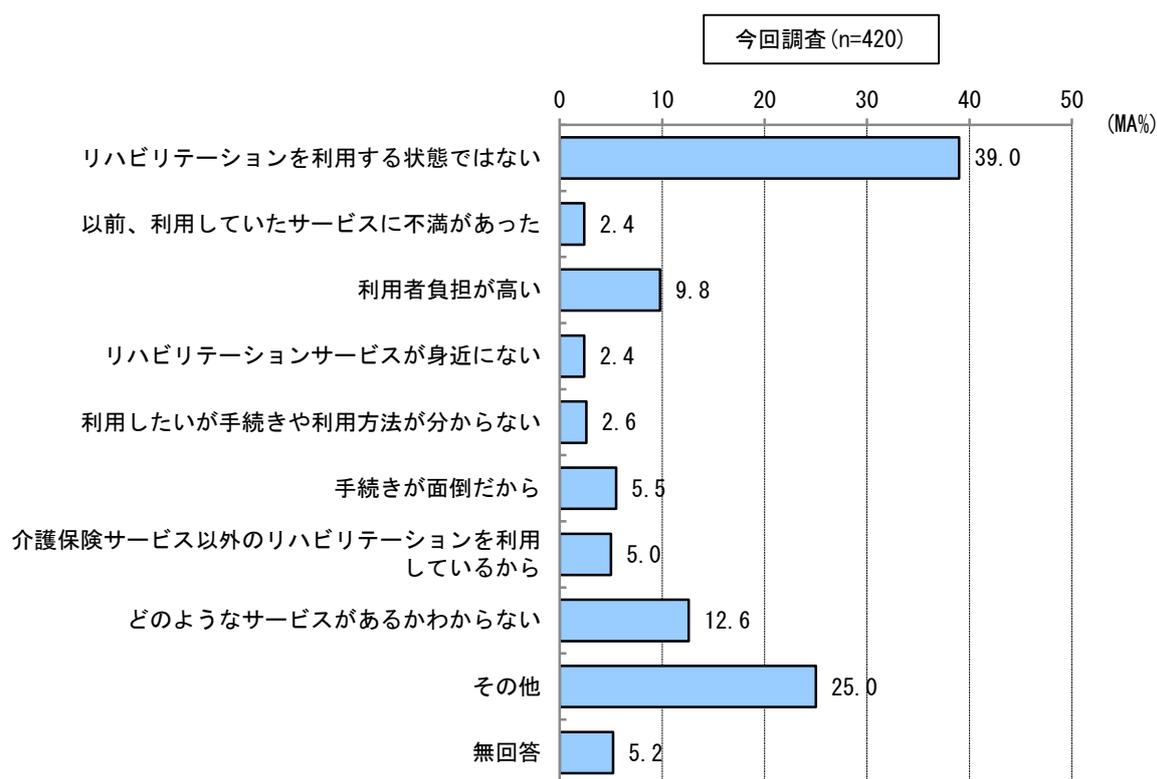


### 問12-1 リハビリテーションサービスを利用したくない理由

問12で「4 利用したくない」と回答された方におうかがいします。  
 利用したくない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

リハビリテーションサービスを利用したくない理由は、「リハビリテーションを利用する状態ではない」の割合が39.0%で最も高く、次いで「どのようなサービスがあるかわからない」が12.6%、「利用者負担が高い」が9.8%となっている。(問12-1)

【問12-1 リハビリテーションサービスを利用したくない理由】



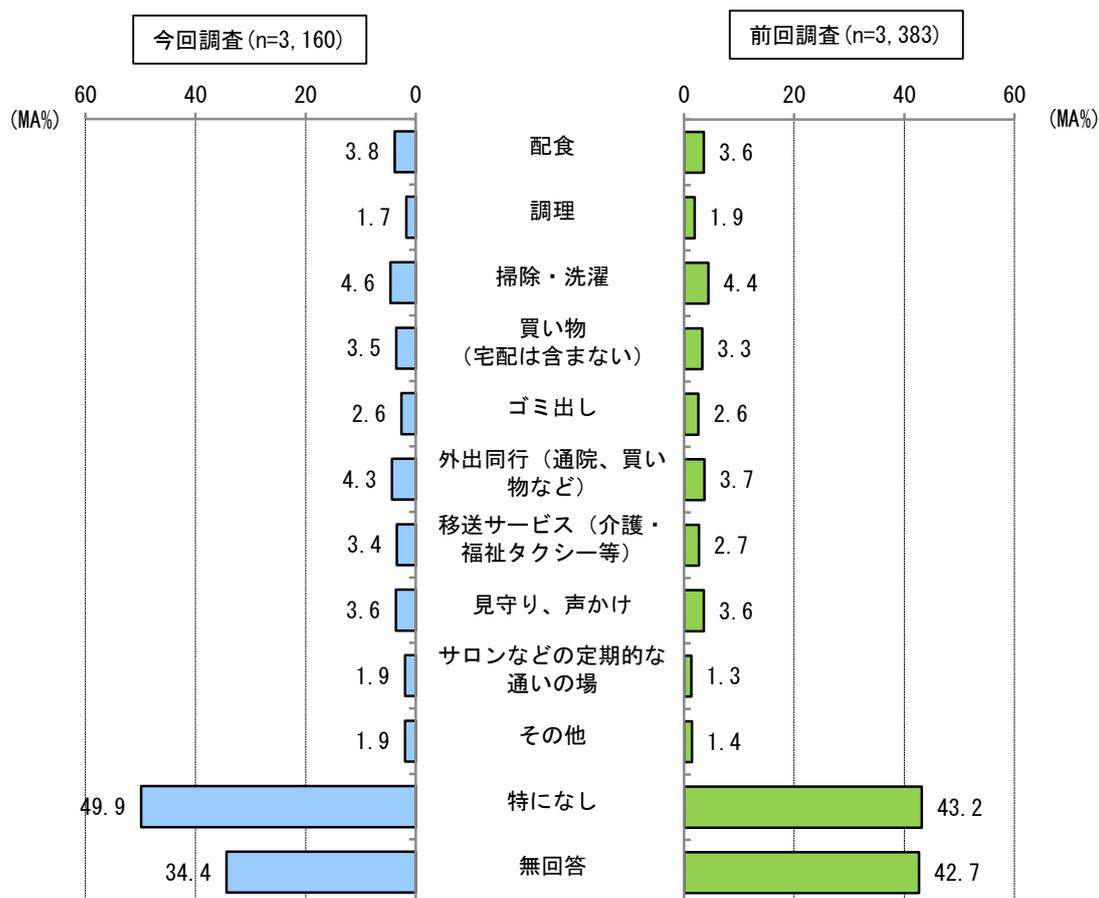
### 問13 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス

現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください  
(〇はいくつでも)

現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービスは、「特になし」の割合が49.9%で最も高い。利用している支援・サービスは、「掃除・洗濯」の割合が4.6%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が4.3%、「配食」が3.8%となっている。

前回調査の結果に比べ、「特になし」の割合が6.7ポイント増加している。（問13）

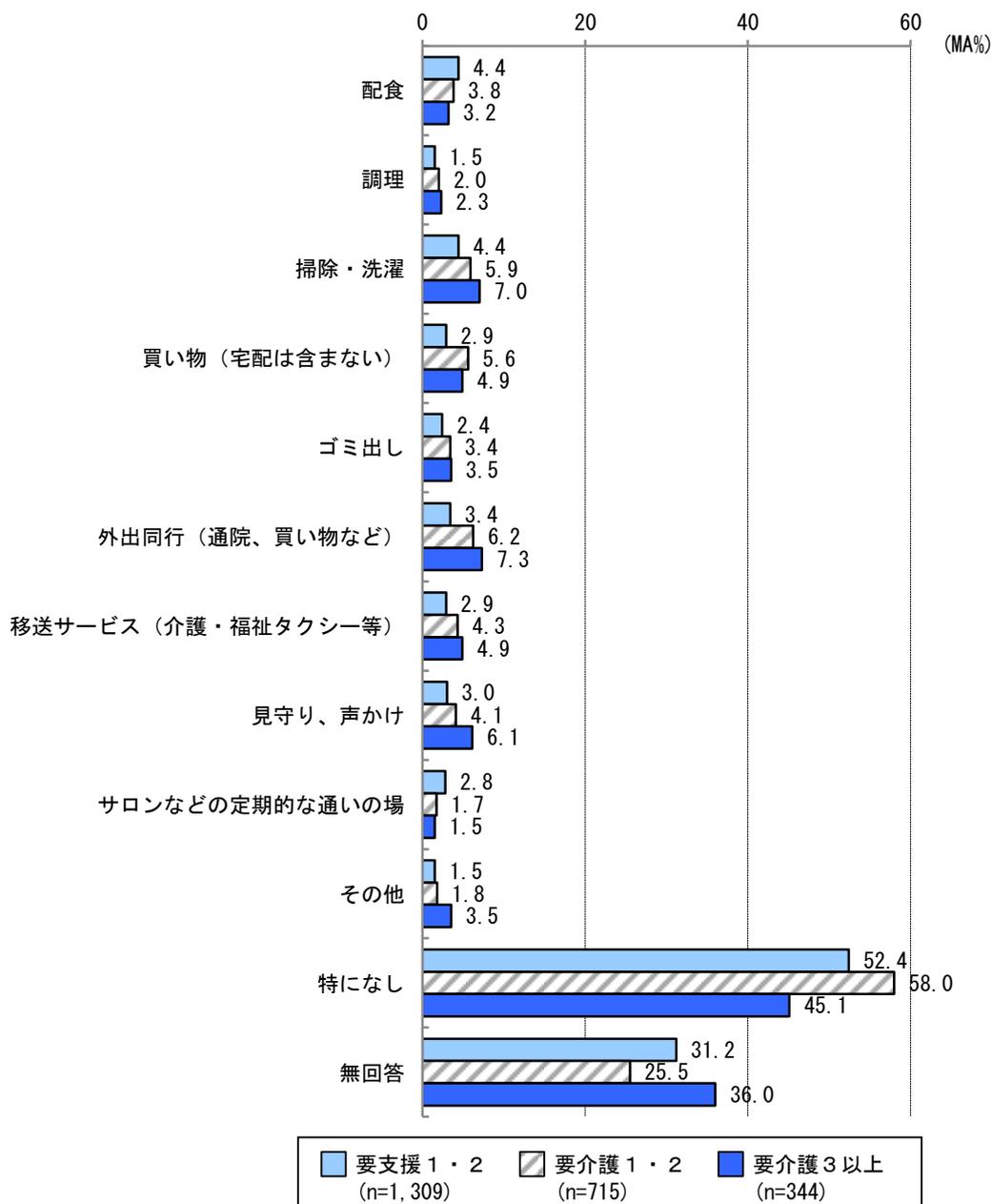
【問13 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず「特になし」の割合が最も高く、要支援1・2、要介護1・2では5割以上を占めている。利用している支援・サービスは、要支援1・2は「配食」と「掃除・洗濯」がともに4.4%で最も高く、要介護1以上では「外出同行（通院、買い物など）」が最も高くなっている。（問13-a）

【問13-a 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス（要介護度別）】

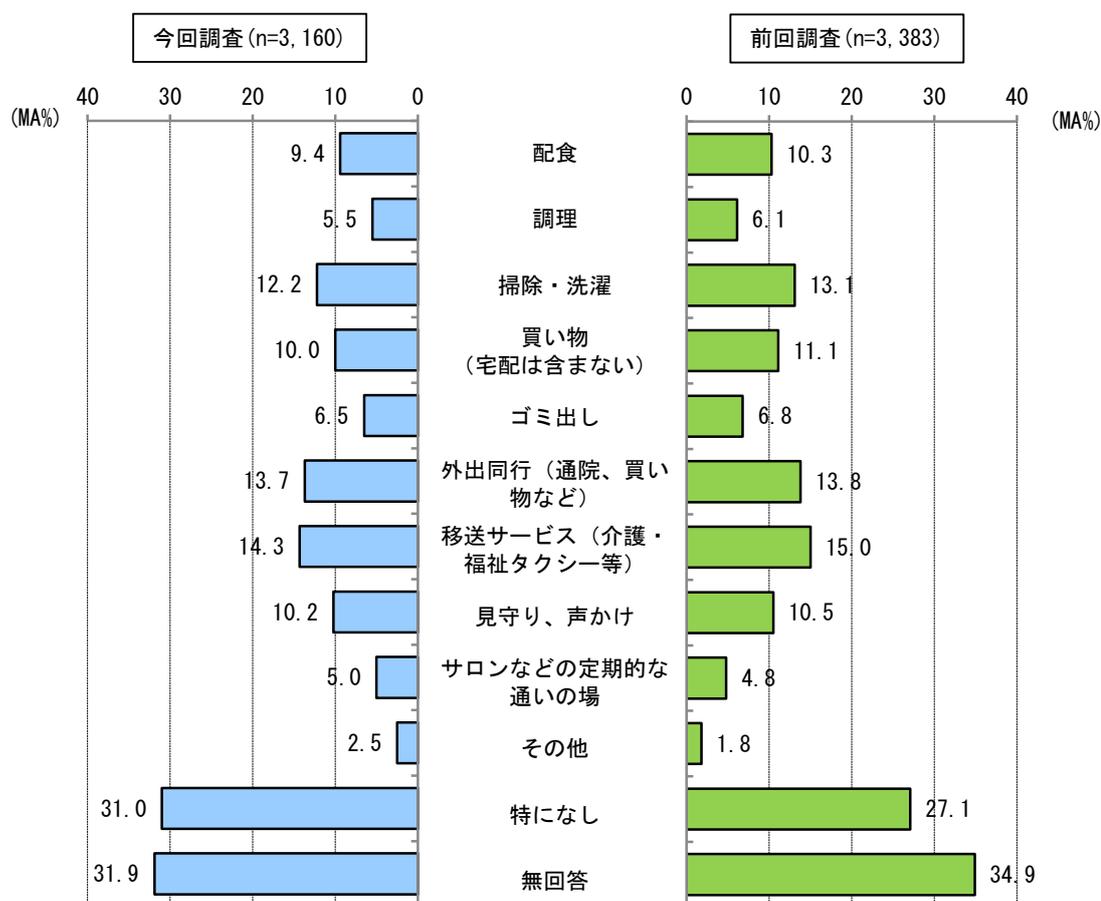


### 問14 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービス）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

今後の在宅生活継続に必要な支援・サービスは、「特になし」の割合が31.0%で最も高くなっている。必要な支援・サービスは「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が14.3%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が13.7%、「掃除・洗濯」が12.2%となっている。（問14）

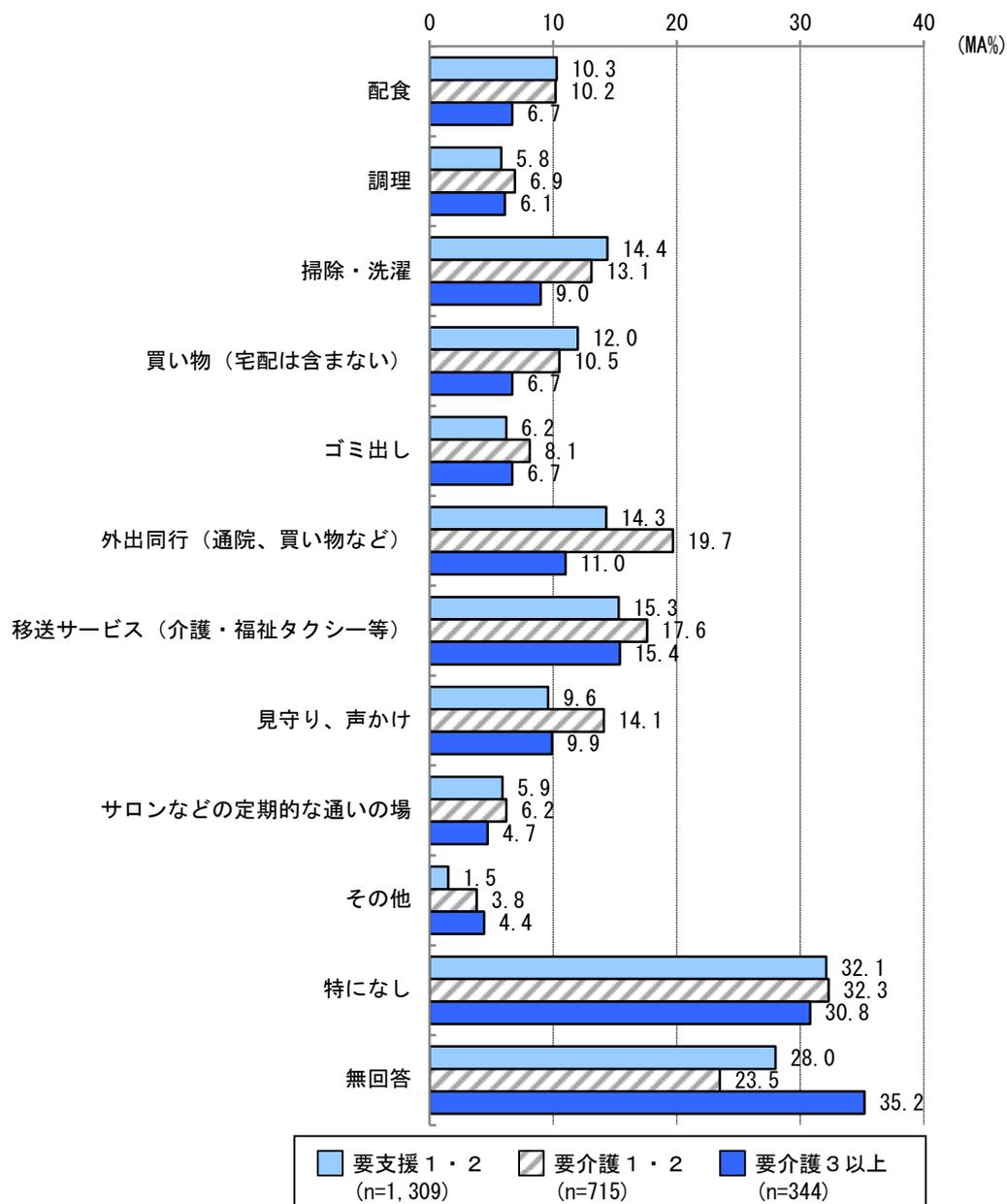
【問14 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、「掃除・洗濯」「買い物（宅配は含まない）」の各割合は要支援1・2が最も高く、「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「見守り、声かけ」の各割合は要介護1・2が最も高くなっている。要介護3以上は、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」や「外出同行（通院、買い物など）」「見守り、声かけ」の各割合が高い。（問14-a）

【問14-a 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス（要介護度別）】



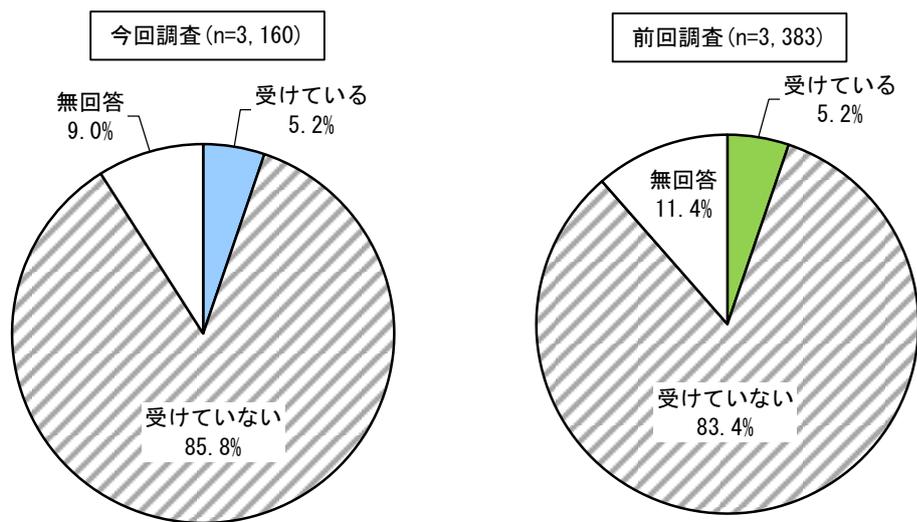
### 問15 医療従事者などの訪問有無

あなたは現在、医療従事者などの訪問を受けていますか。(○はひとつ)

現在、医療従事者などの訪問を受けているかについては、「受けている」が5.2%に対し、「受けていない」が85.8%となっている。

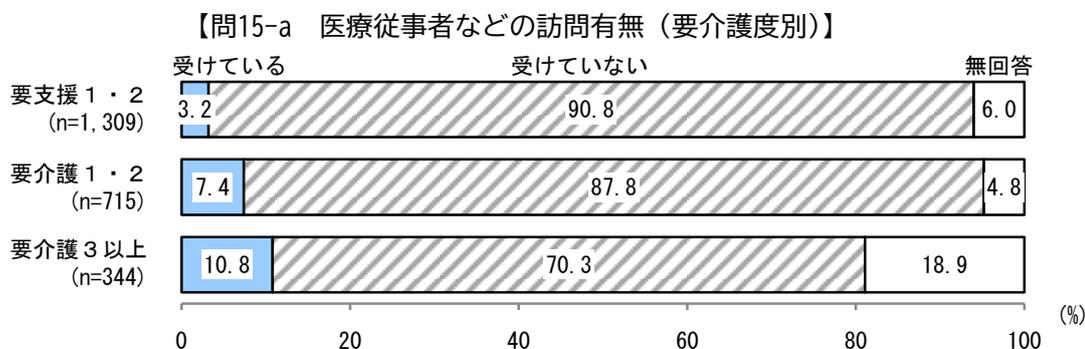
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問15)

【問15 医療従事者などの訪問有無（経年比較）】



※「はい」→「受けている」、「いいえ」→「受けていない」に変更

要介護度別では、要介護度にかかわらず「受けていない」の割合が7～9割と大部分を占めている。これに対し、「受けている」の割合は、要介護度が重度になるほどが高くなっている。(問15-a)



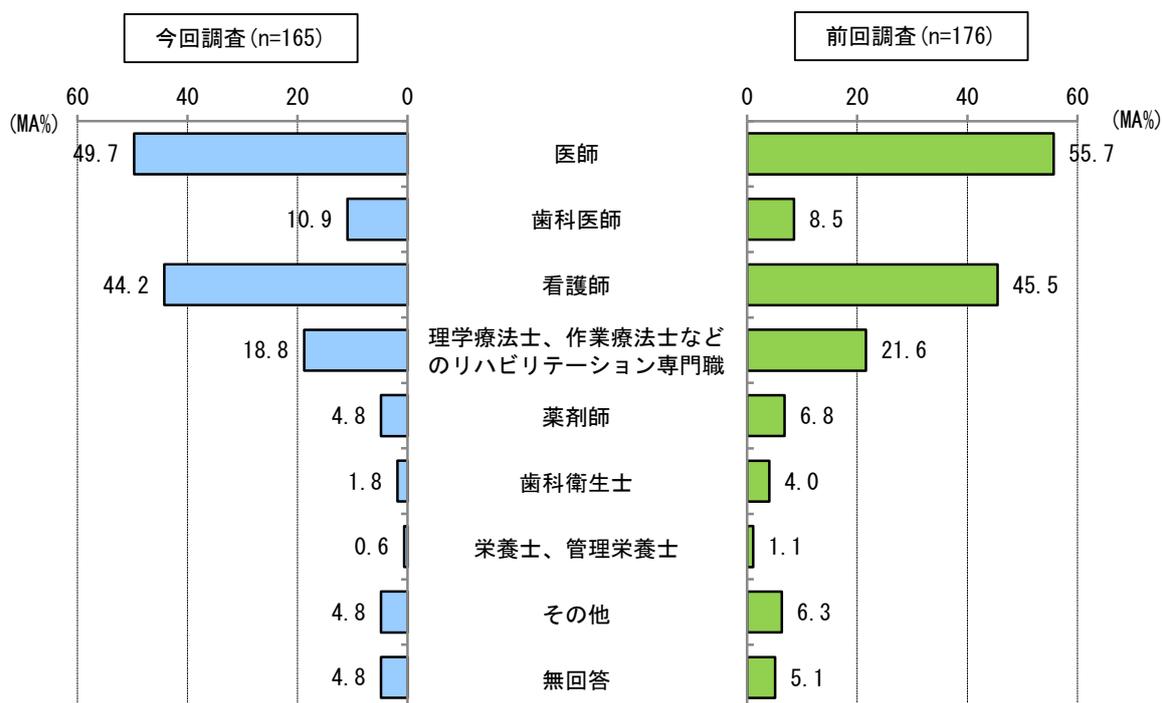
### 問15-1 訪問されている医療従事者

問15で「1 はい」と回答された方におうかがいします。  
訪問されている方は誰ですか。(〇はいくつでも)

医療従事者などの訪問を受けていると回答した人に、その相手をたずねると、「医師」の割合が49.7%で最も高く、次いで「看護師」が44.2%、「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション専門職」が18.8%となっている。

前回調査の結果に比べ、「医師」の割合は6.0ポイント減少している。(問15-1)

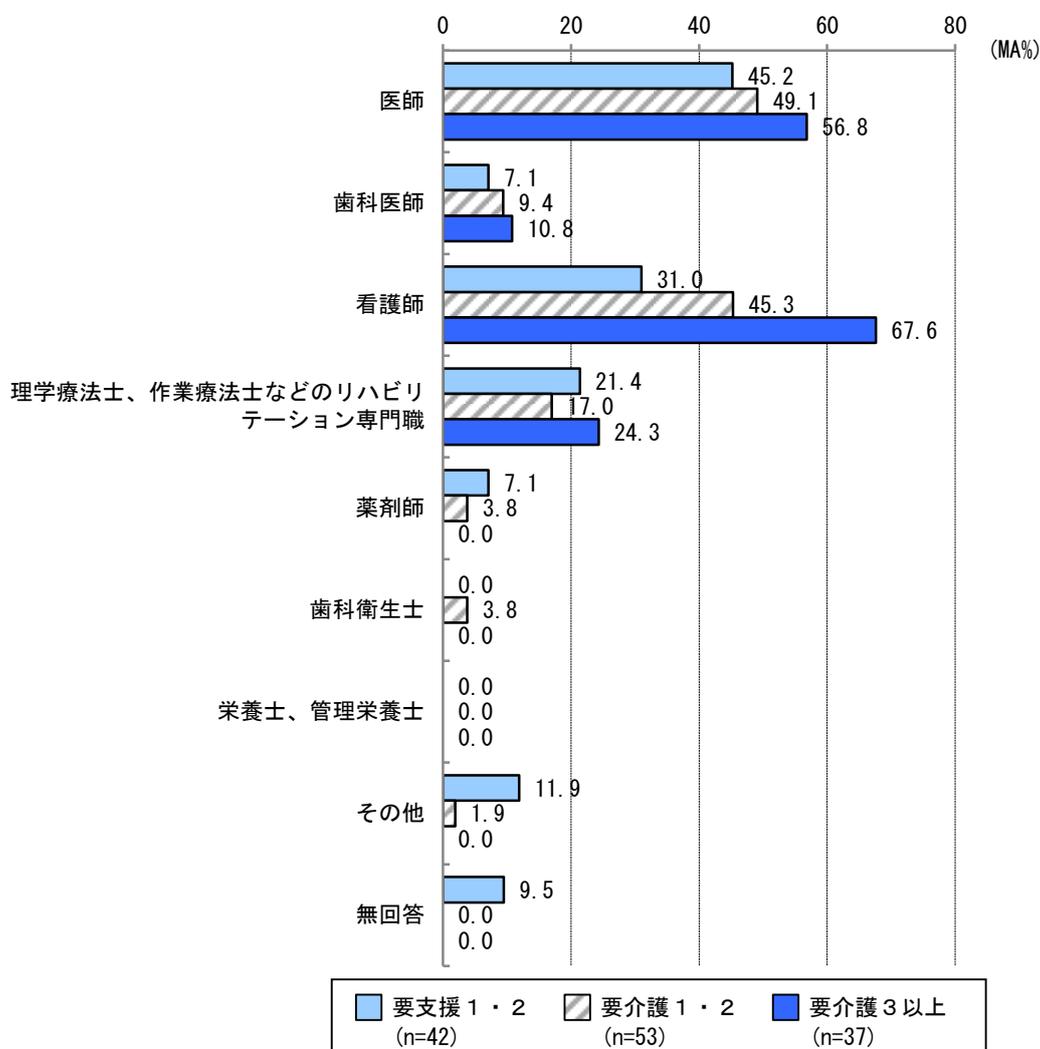
【問15-1 訪問されている医療従事者（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

n数が少ないので数字の読み取りには注意が必要であるが、要介護度別では、要支援1・2と要介護1・2は「医師」の割合が最も高くなっている。要介護3以上では「看護師」の割合が67.6%で最も高く、要介護度が重度になるほど高くなっている。(問15-1-a)

【問15-1-a 訪問されている医療従事者（要介護度別）】



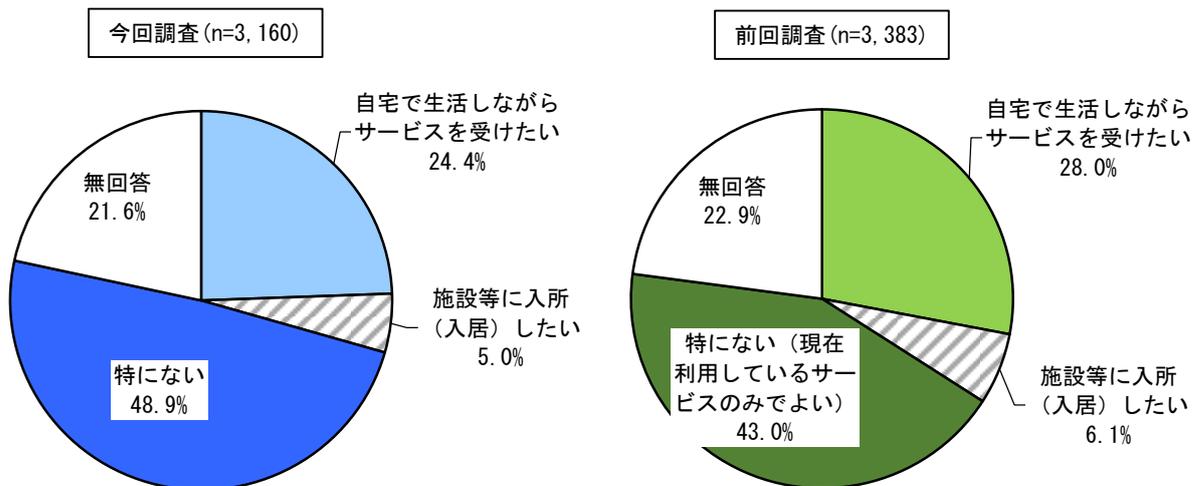
## 問16 介護保険サービスの利用意向

あなたが1年以内に利用したい介護保険サービスについてお答えください。(○はひとつ)

今後、利用したい介護保険サービスは、「特にない」の割合が48.9%で最も高い。これに次いで「自宅で生活しながらサービスを受けたい」が24.4%、「施設等に入所（入居）したい」が5.0%となっている。

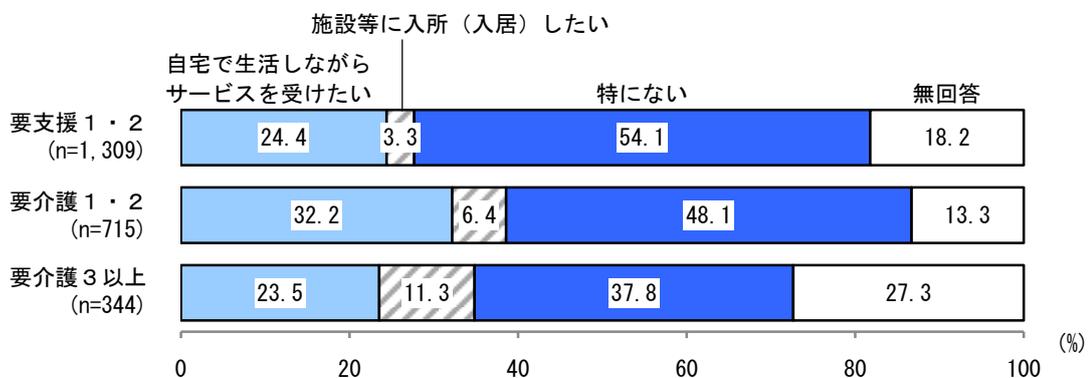
前回調査の結果に比べ、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」の割合が3.6ポイント減少し、「特にない」が5.9ポイント増加している。(問16)

【問16 介護保険サービスの利用意向（経年比較）】



要介護度別では、要介護度にかかわらず「特にない」の割合が最も高い。「施設等に入所（入居）したい」の割合は、要介護度が重度になるほど高くなっている。(問16-a)

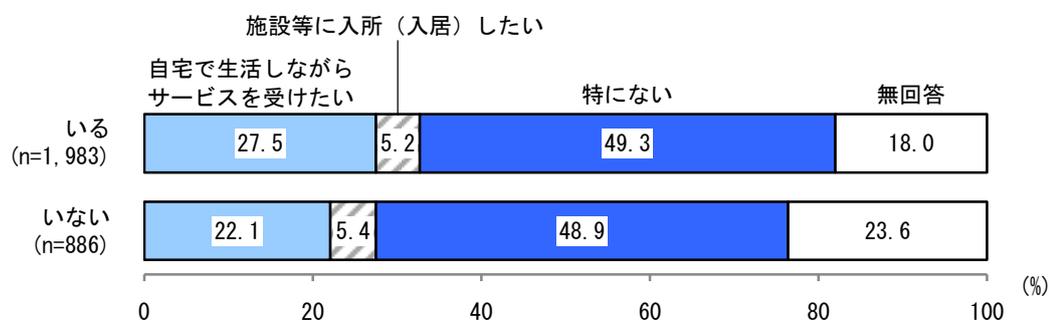
【問16-a 介護保険サービスの利用意向（要介護度別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

介護者の有無別では、介護者がいる、いないにかかわらず「特にない」の割合が5割弱となっている。「自宅で生活しながらサービスを受けたい」の割合は、介護者がいる人の方が高くなっている。(問16-b)

【問16-b 介護保険サービスの利用意向（介護者の有無別）】



### 問16-1 利用したい居宅サービス

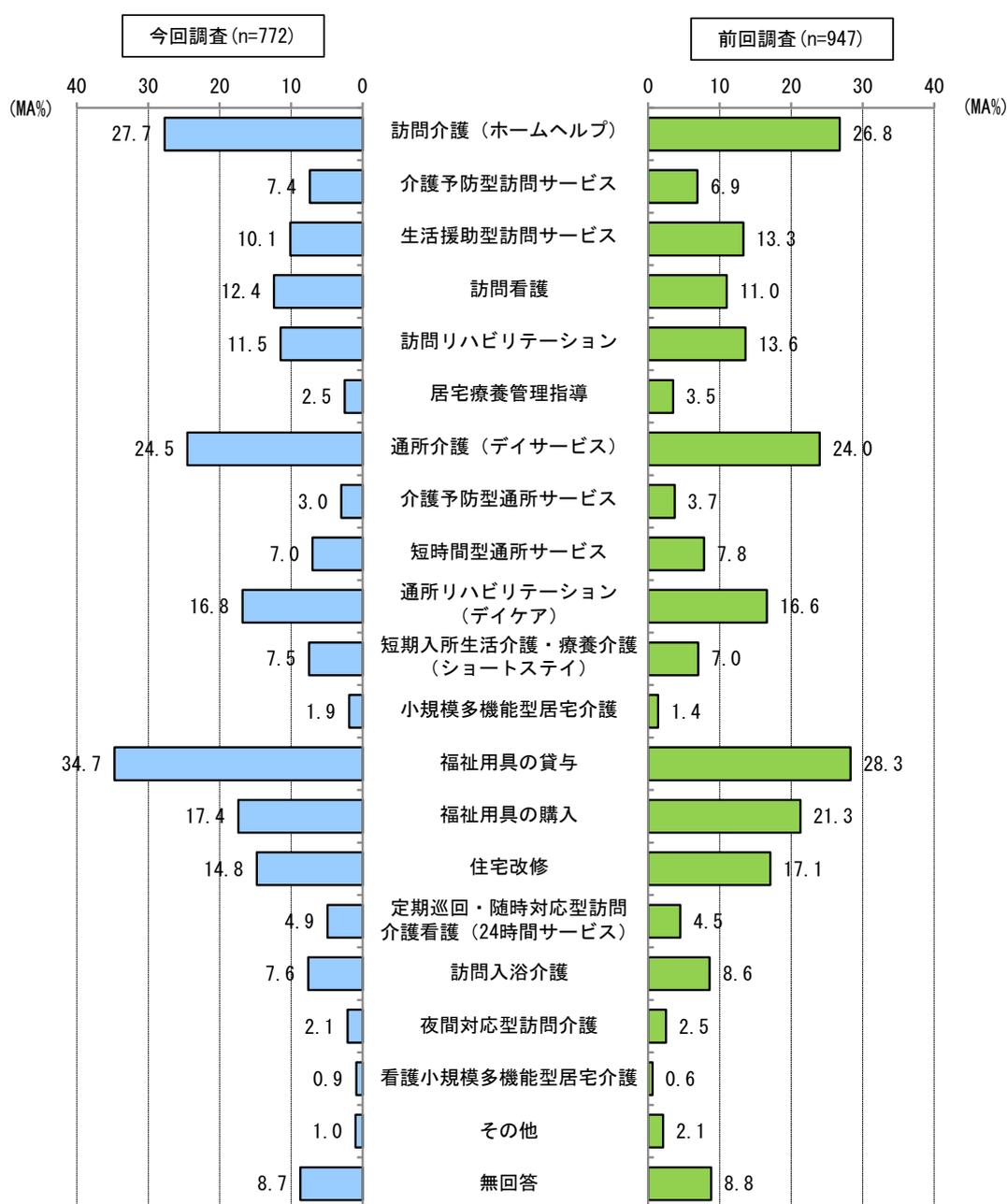
この質問は、問16で「1 自宅で生活しながらサービスを受けたい」と回答された方のみお答えください。

あなたが1年以内に利用したい介護保険サービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

自宅で生活しながらサービスを受けたいと回答した人に、今後、利用したい居宅サービスをたずねると、「福祉用具の貸与」の割合が34.7%で最も高く、次いで「訪問介護（ホームヘルプ）」が27.7%、「通所介護（デイサービス）」が24.5%となっている。

前回調査の結果に比べ、「福祉用具の貸与」の割合が6.4ポイント増加している。(問16-1)

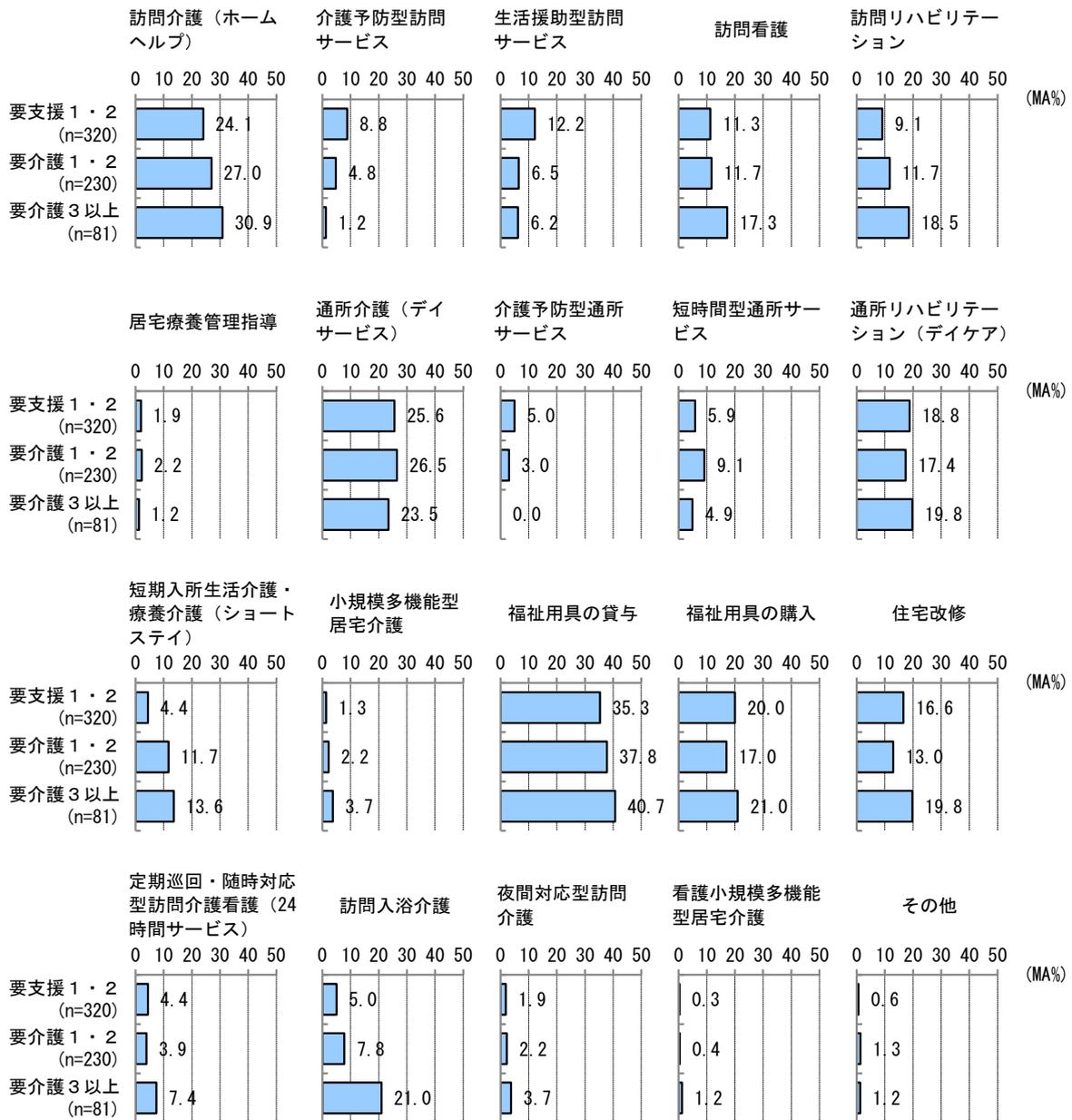
【問16-1 利用したい居宅サービス（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず「福祉用具の貸与」の割合が最も高く、要介護度が重度になるほど割合は高くなっている。また、「訪問介護（ホームヘルプ）」「訪問看護」「訪問リハビリテーション」「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」「小規模多機能型居宅介護」「訪問入浴介護」「夜間対応型訪問介護」「看護小規模多機能型居宅介護」の各割合も、要介護度が重度になるほど高くなっている。（問16-1-a）

【問16-1-a 利用したい居宅サービス（要介護度別）】



## 問16-2 入所(入居)したい施設等

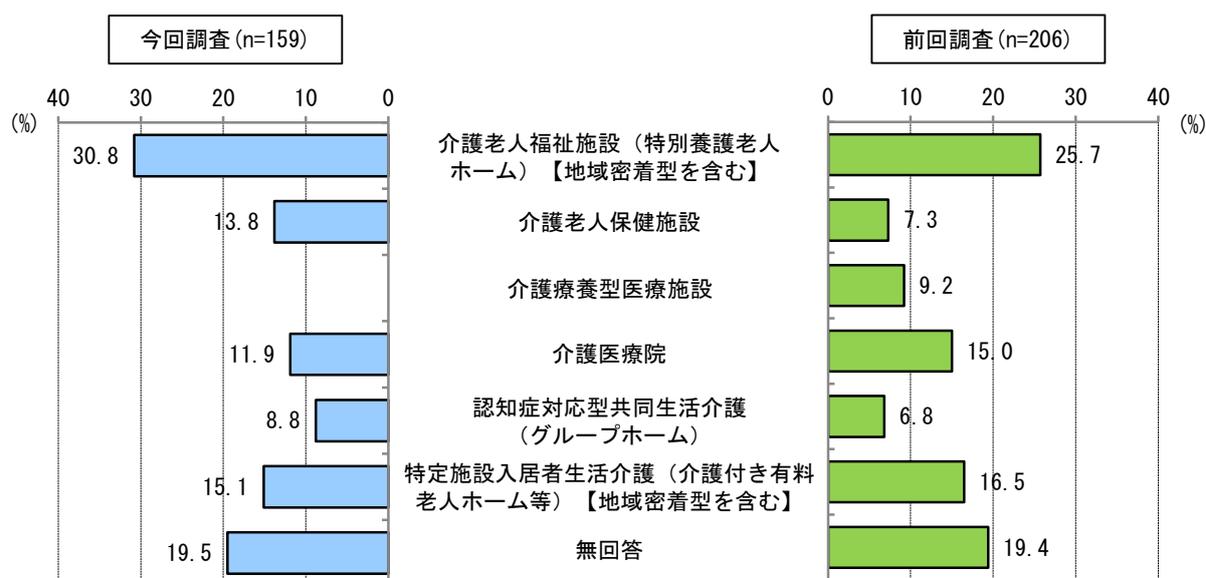
問16-2、問16-3は、問16で「2 施設等に入所(入居)したい」と回答された方のみお答えください。

あなたが1年以内に入所(入居)したい施設等について、あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

施設等に入所(入居)したいと回答した人に、今後、利用したい施設サービスをたずねると、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)【地域密着型を含む】」の割合が30.8%で最も高く、次いで「特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム等)【地域密着型を含む】」が15.1%、「介護老人保健施設」が13.8%となっている。

前回調査の結果に比べ、「介護老人保健施設」の割合が6.5ポイント、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)【地域密着型を含む】」の割合が5.1ポイント、それぞれ増加している。(問16-2)

【問16-2 利用したい施設サービス(経年比較)】

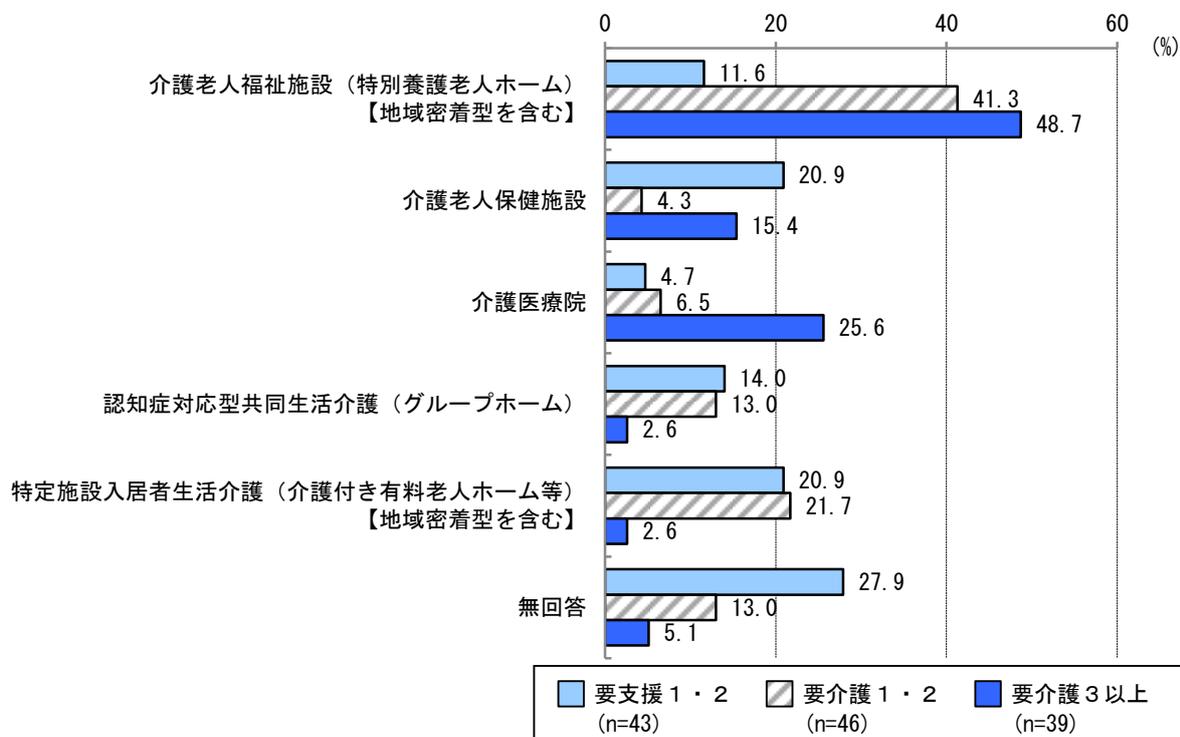


※前回調査の「介護療養型医療施設」は、今回調査では設けていない。

【介護保険サービス未利用者調査】

n数が少ないので数字の読み取りには注意が必要であるが、要介護度別では、要支援1・2は「介護老人保健施設」と「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）【地域密着型を含む】」がともに20.9%で最も高く、要介護1以上では「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）【地域密着型を含む】」の割合が最も高くなっている。（問16-2-a）

【問16-2-a 利用したい施設サービス（要介護度別）】



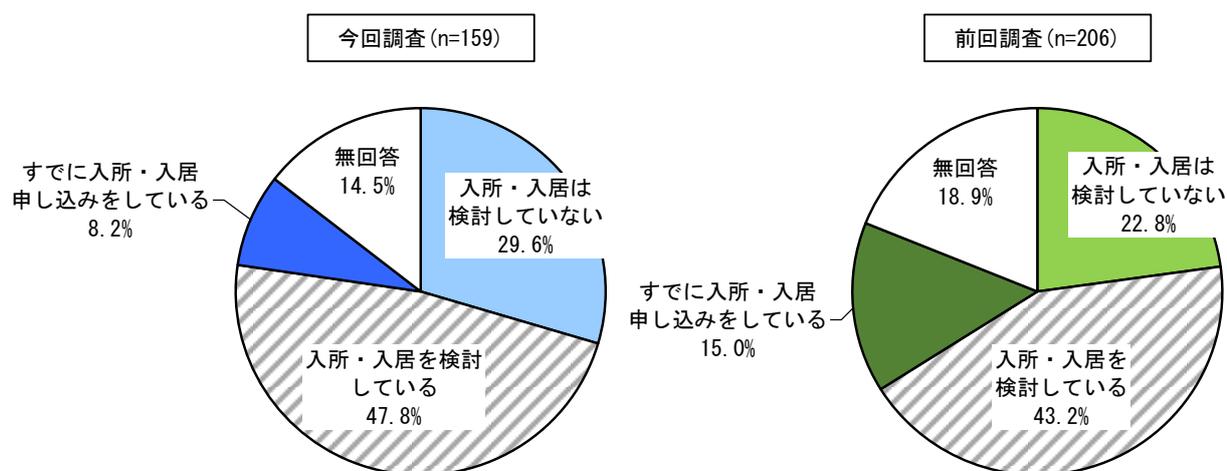
### 問16-3 施設等の入所(入居)の検討状況

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況についてご回答ください。(○はひとつ)

施設等に入所(入居)したいと回答した人に、現時点での検討状況をたずねると、「入所・入居を検討している」の割合が47.8%で最も高く、次いで「入所・入居は検討していない」が29.6%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が8.2%となっている。

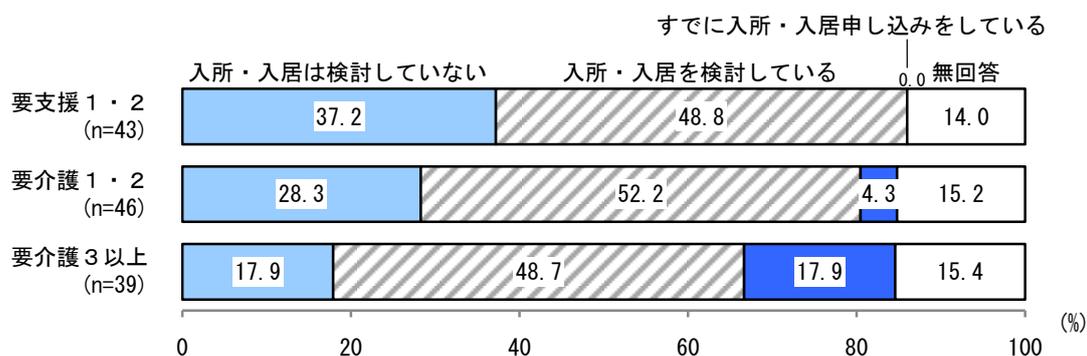
前回調査の結果に比べ、「入所・入居は検討していない」の割合は6.8ポイント、「入所・入居を検討している」の割合は4.6ポイント、それぞれ増加している。(問16-3)

【問16-3 施設等の入所(入居)の検討状況(経年比較)】



n数が少ないので数字の読み取りには注意が必要であるが、要介護度別では、「入所・入居を検討している」の割合は、要介護度に関係なく5割前後を占めている。また、「入所・入居は検討していない」の割合は、要介護度が重度になるほど低くなっているのに対し、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合は重度になるほど高くなっている。(問16-3-a)

【問16-3-a 施設等の入所(入居)の検討状況(要介護度別)】



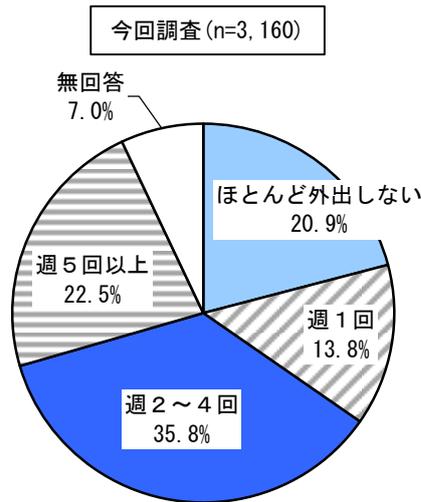
(5) 外出の状況

問17 外出頻度

週に1回以上は外出していますか。(○はひとつ)

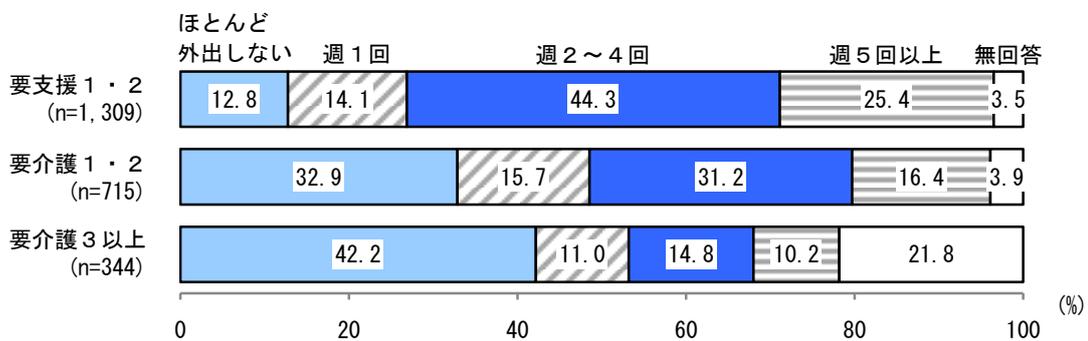
外出頻度は、「週2～4回」の割合が35.8%で最も高く、次いで「週5回以上」が22.5%、「ほとんど外出しない」が20.9%、「週1回」が13.8%となっている。(問17)

【問17 外出頻度】



要介護度別では、「ほとんど外出しない」の割合は重度になるほど高くなっている。(問17-a)

【問17-a 外出頻度 (要介護度別)】

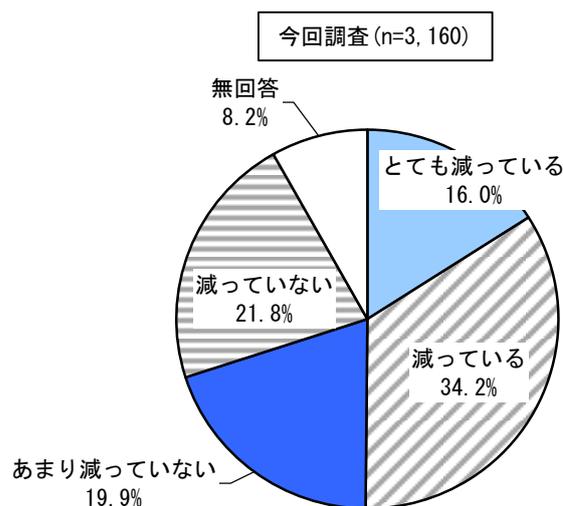


### 問18 昨年と比べた外出の回数

昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)

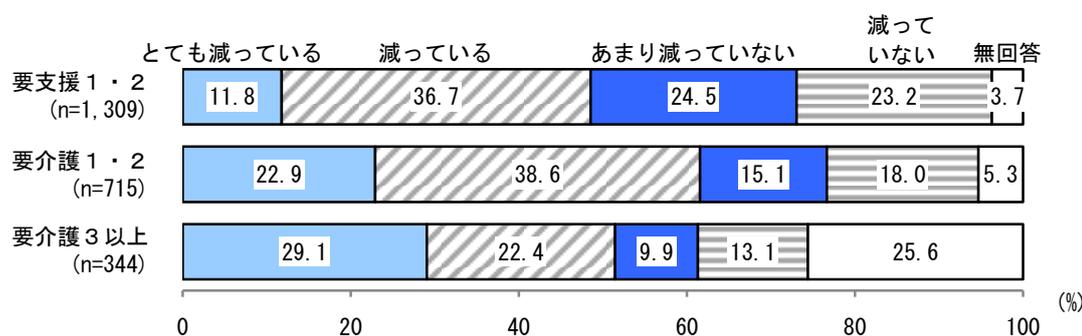
昨年と比べた外出の回数は、「減っている」の割合が34.2%で最も高く、次いで「減っていない」が21.8%、「あまり減っていない」が19.9%で、「とても減っている」(16.0%)と「減っている」をあわせた『減っている』割合は50.2%となっている。(問18)

【問18 昨年と比べた外出の回数】



要介護度別では、『減っている』割合は要介護1・2が61.5%で最も高く、次いで要介護3以上が51.5%となっている。(問18-a)

【問18-a 昨年と比べた外出の回数(要介護度別)】

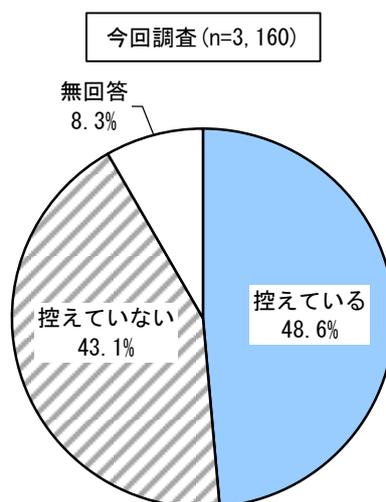


## 問19 外出を控えること

外出を控えていますか。(○はひとつ)

外出を「控えている」割合が48.6%に対し、「控えていない」は43.1%となっている。(問19)

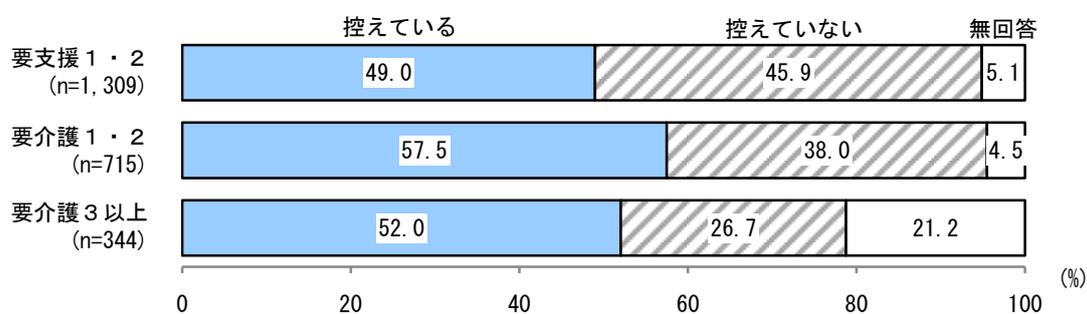
【問19 外出を控えること】



※「はい」→「控えている」、「いいえ」→「控えていない」に変更

要介護度別では、要介護度にかかわらず「控えていない」の割合より「控えている」の割合の方が高くなっている。「控えている」の割合は要介護1・2が57.5%で最も高くなっている。(問19-a)

【問19-a 外出を控えること (要介護度別)】

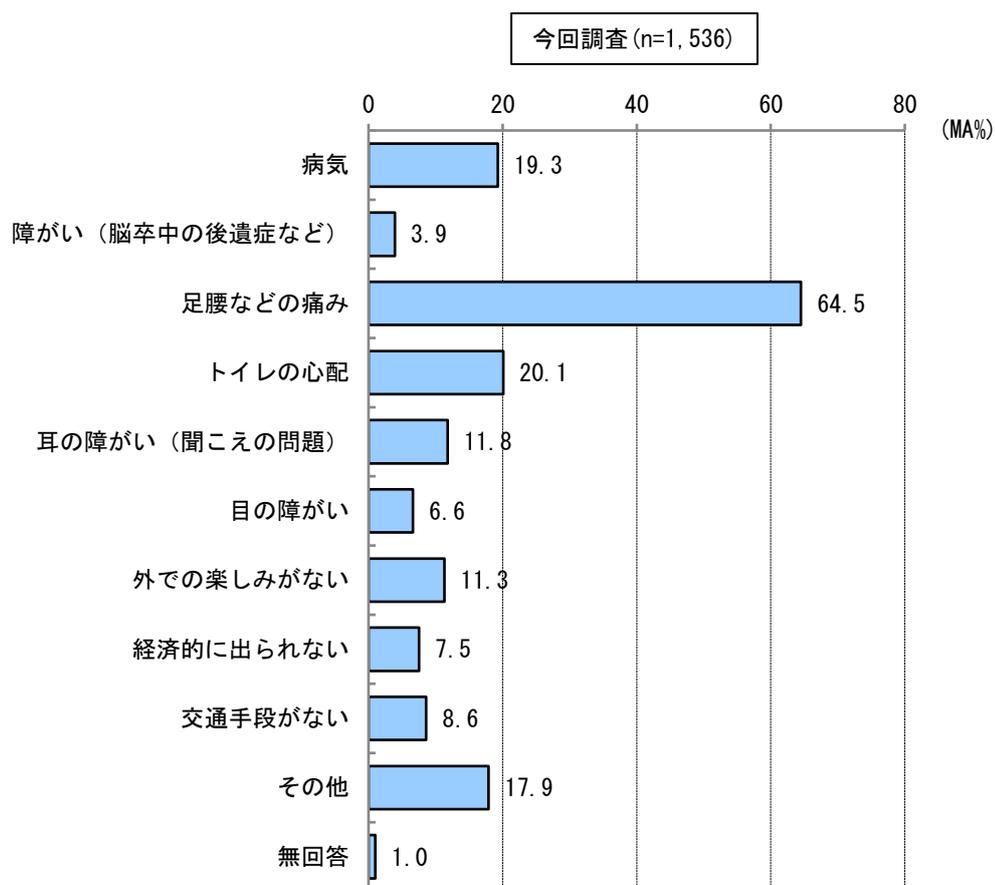


### 問19-1 外出を控えている理由

問19で「1 はい」(外出を控えている)と回答された方におうかがいします。  
外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

外出を控えていると回答した人に、その理由をたずねると、「足腰などの痛み」の割合が64.5%で最も高く、次いで「トイレの心配」が20.1%、「病気」が19.3%となっている。(問19-1)

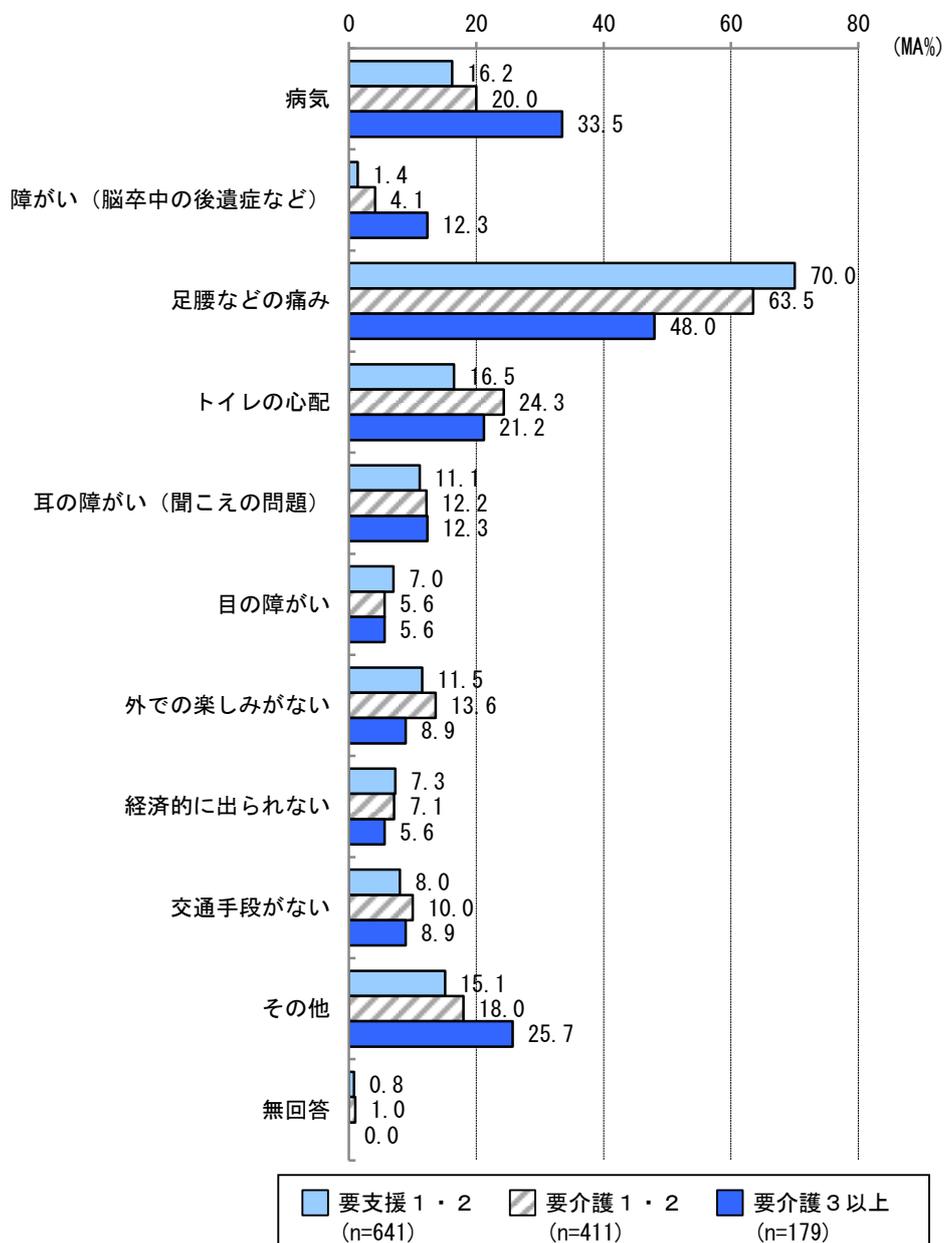
【問19-1 外出を控えている理由】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず「足腰などの痛み」の割合が最も高く、軽度ほど高くなっている。「病気」「障がい（脳卒中の後遺症など）」「耳の障がい（聞こえの問題）」の割合は、要介護度が重度になるほど高くなっている。（問19-1-a）

【問19-1-a 外出を控えている理由（要介護度別）】



(6) 介護予防・重度化防止の取組

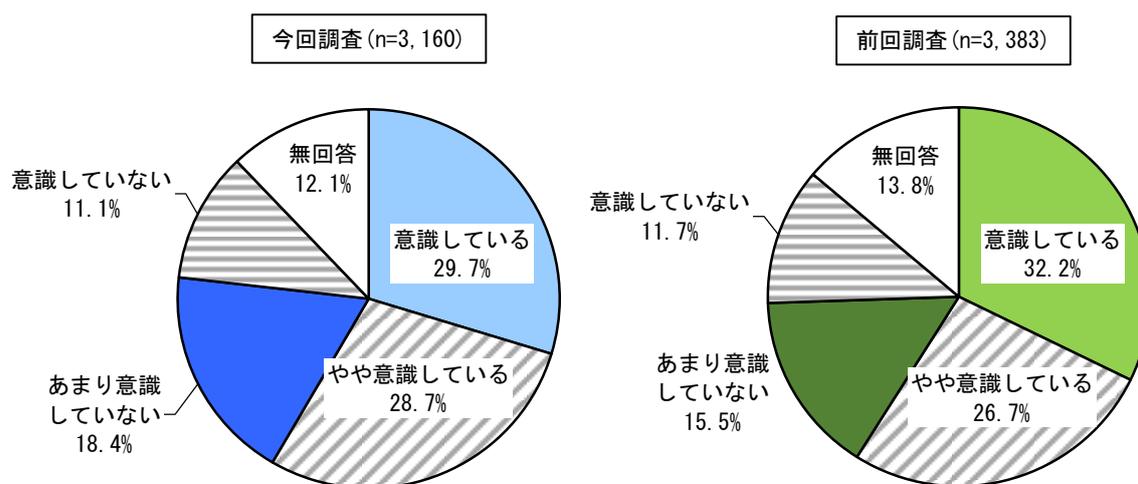
問20 介護予防に対する意識の程度

あなたは、介護予防についてどれほど意識していますか。(○はひとつ)

介護予防について、「意識している」の割合が29.7%で最も高く、次いで「やや意識している」が28.7%で、両者をあわせた『意識している』割合は58.4%となっている。

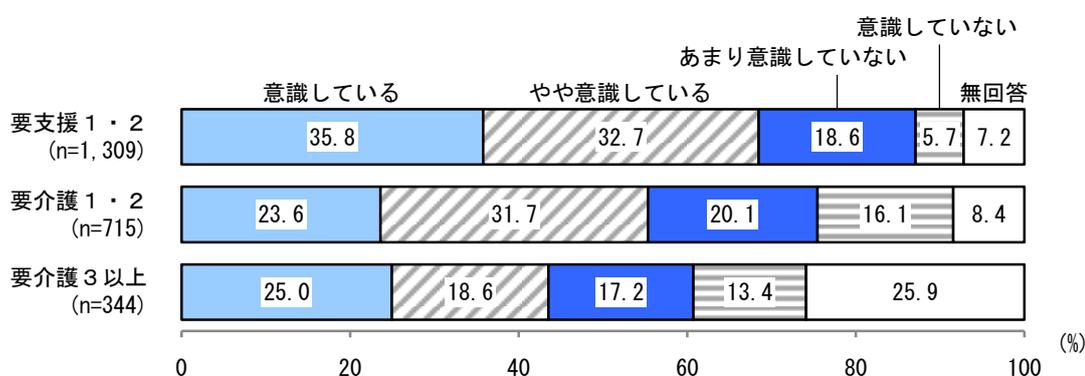
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問20)

【問20 介護予防に対する意識の程度 (経年比較)】



要介護度別では、介護予防について意識している割合は要支援1・2が68.5%で最も高くなっている。意識している割合は、要介護度が重度になるほど低くなっている。(問20-a)

【問20-a 介護予防に対する意識の程度 (要介護度別)】



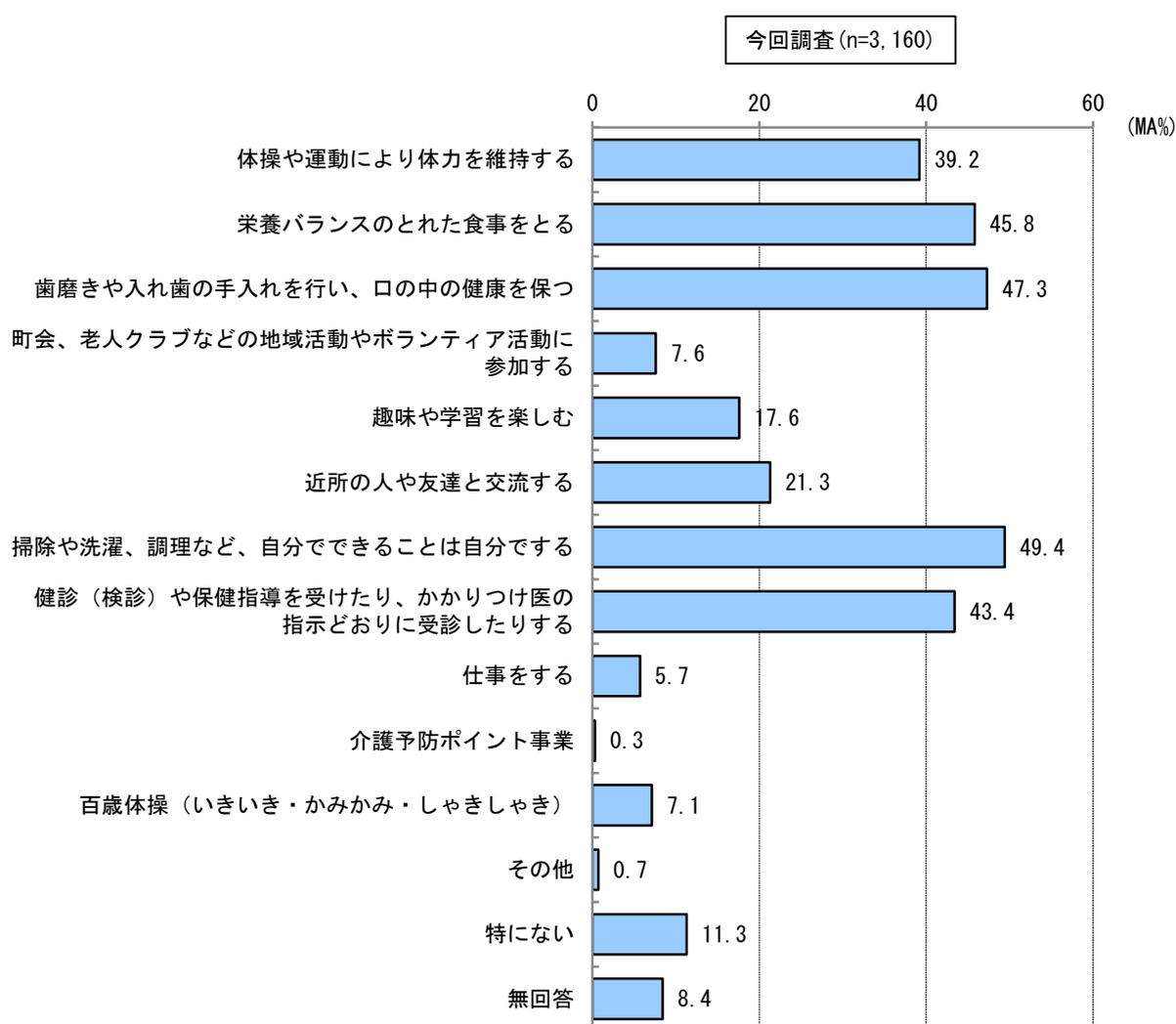
## 問21 介護予防の取組状況

あなたが、介護予防として、今取り組んでいること、今後取り組んでみたいことに○をつけてください。(○はいくつでも)

### ① 取り組んでいること

介護予防として取り組んでいることは、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」の割合が49.4%で最も高く、次いで「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」が47.3%、「栄養バランスのとれた食事をとる」が45.8%となっている。(問21①)

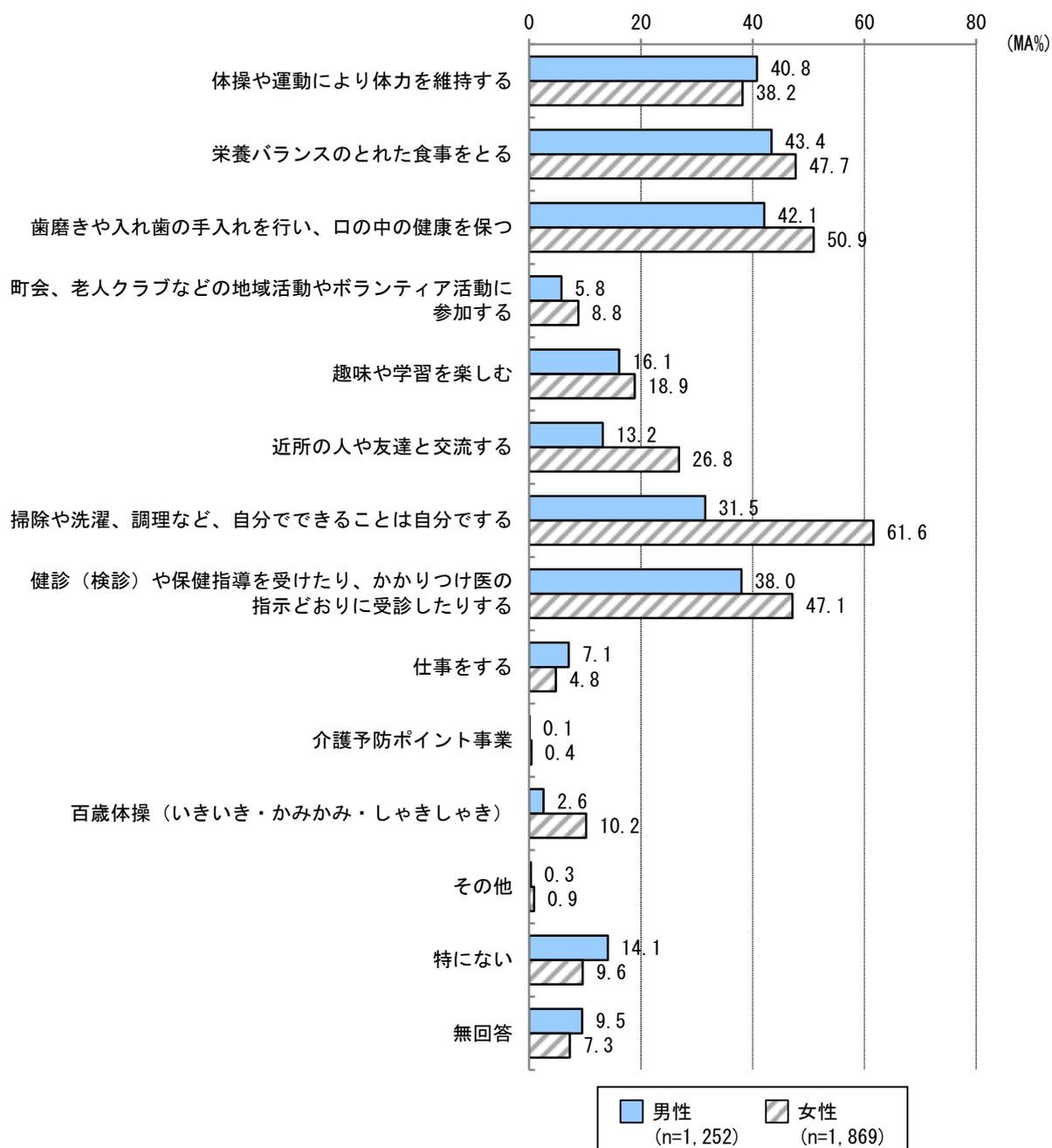
【問21① 介護予防の取組状況 ①取り組んでいること】



【介護保険サービス未利用者調査】

本人の性別では、男性は「栄養バランスのとれた食事をとる」の割合が43.4%で最も高く、女性は「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が61.6%で最も高くなっている。(問21①-a)

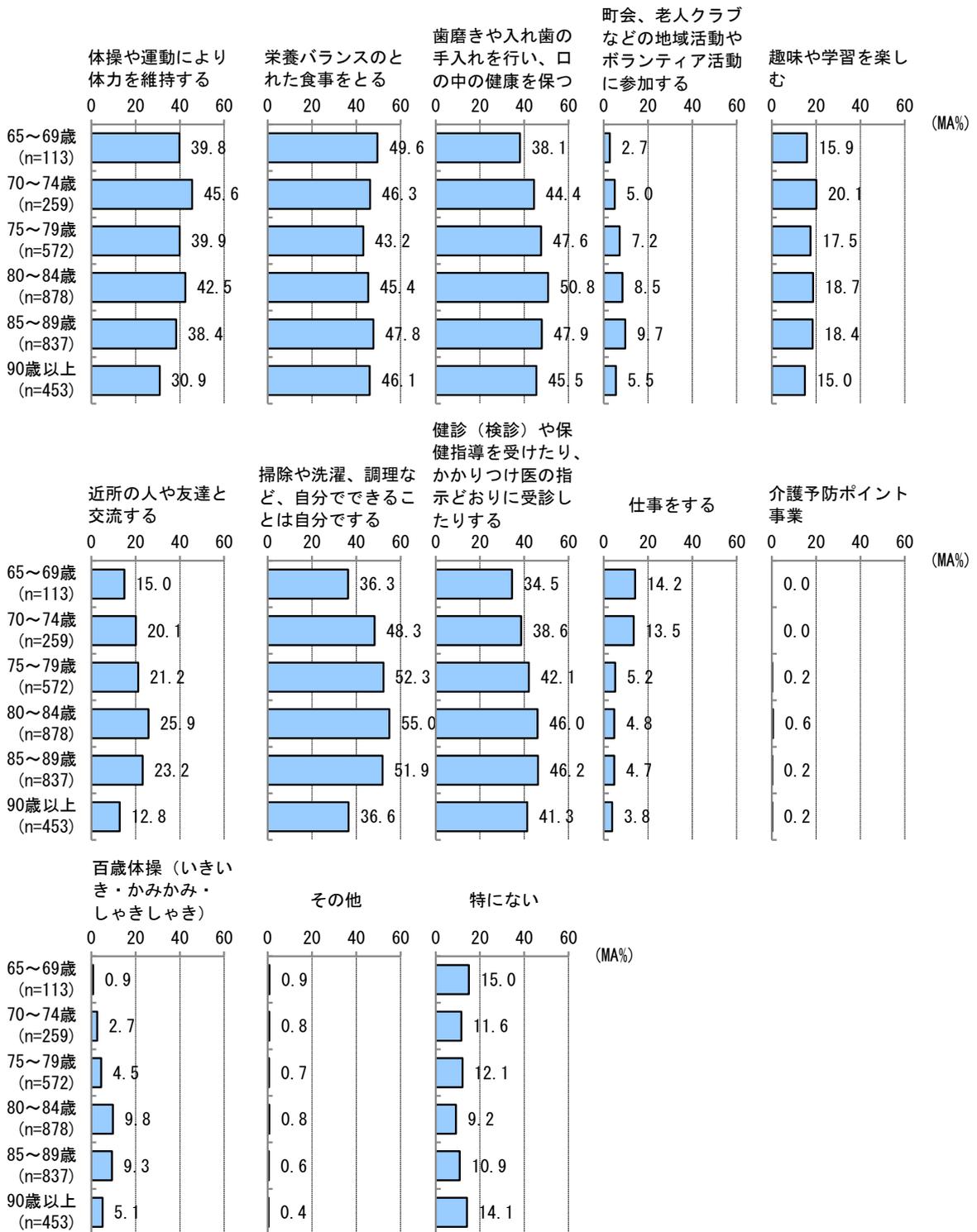
【問21①-a 介護予防の取組状況 ①取り組んでいること（本人の性別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

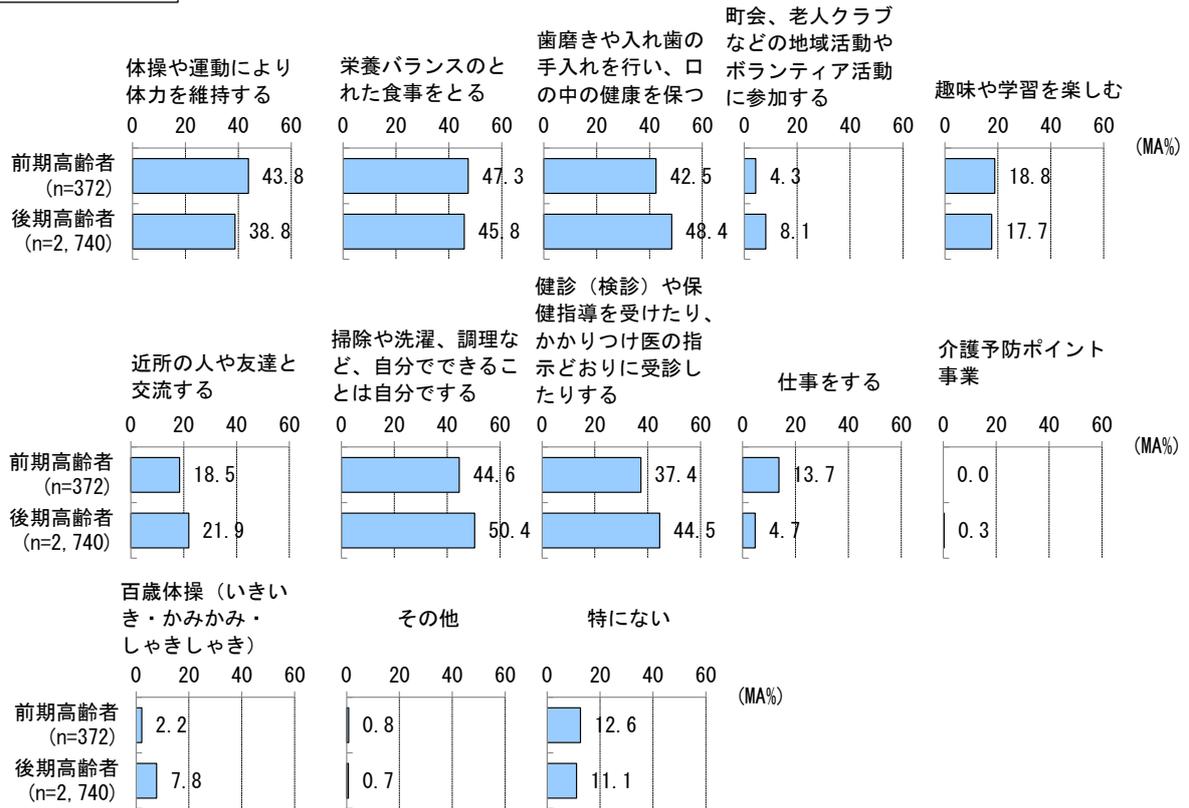
本人の年齢別では、65～69歳、90歳以上の年代は「栄養バランスのとれた食事をとる」の割合が最も高くなっている。70～89歳の年代は、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」の割合が最も高くなっている。（問21①-b）

【問21①-b 介護予防の取組状況 ①取り組んでいること（本人の年齢別）】



【介護保険サービス未利用者調査】

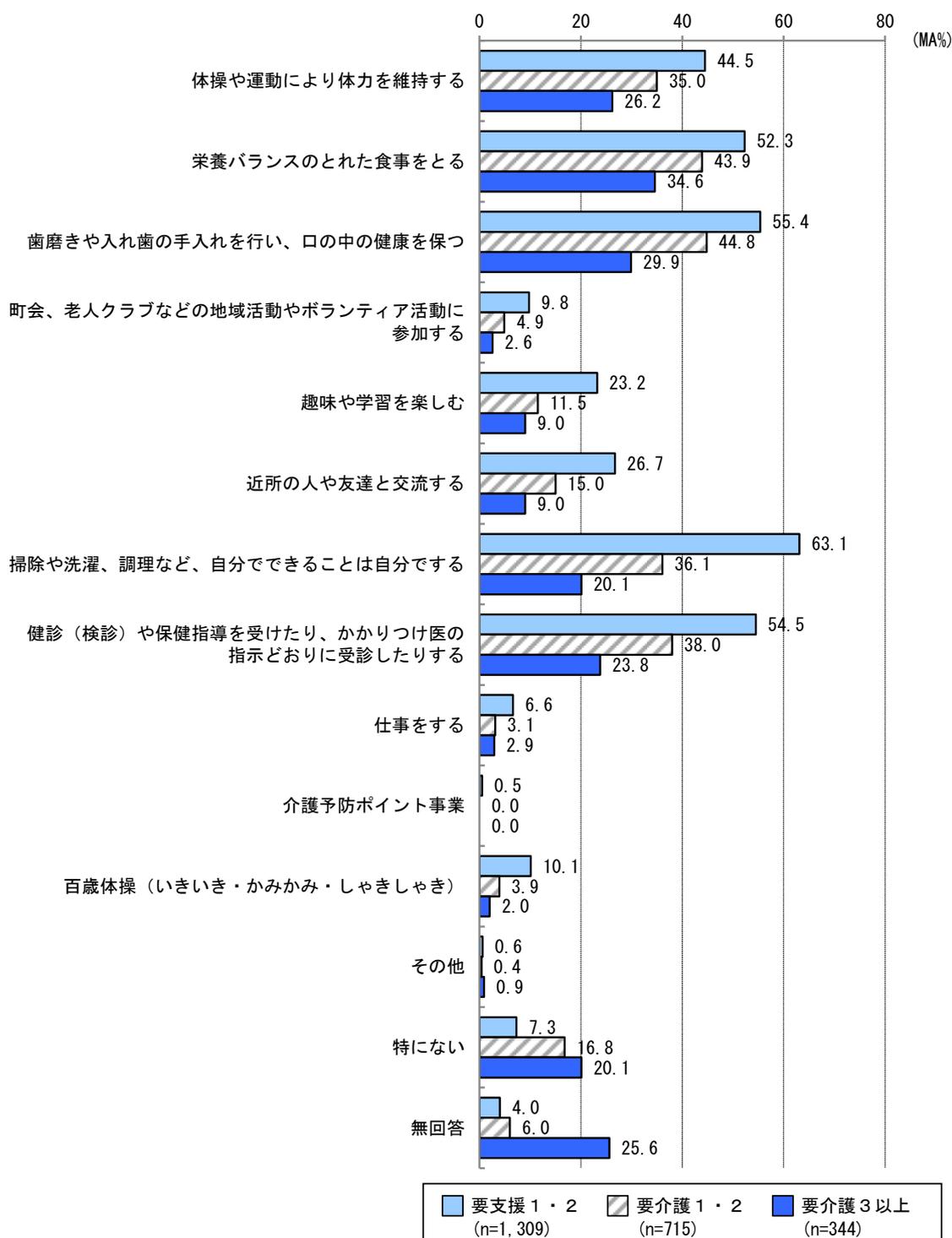
\* 前期・後期別



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、いずれの項目の割合は、重度になるほど概ね低くなっている。(問21①-c)

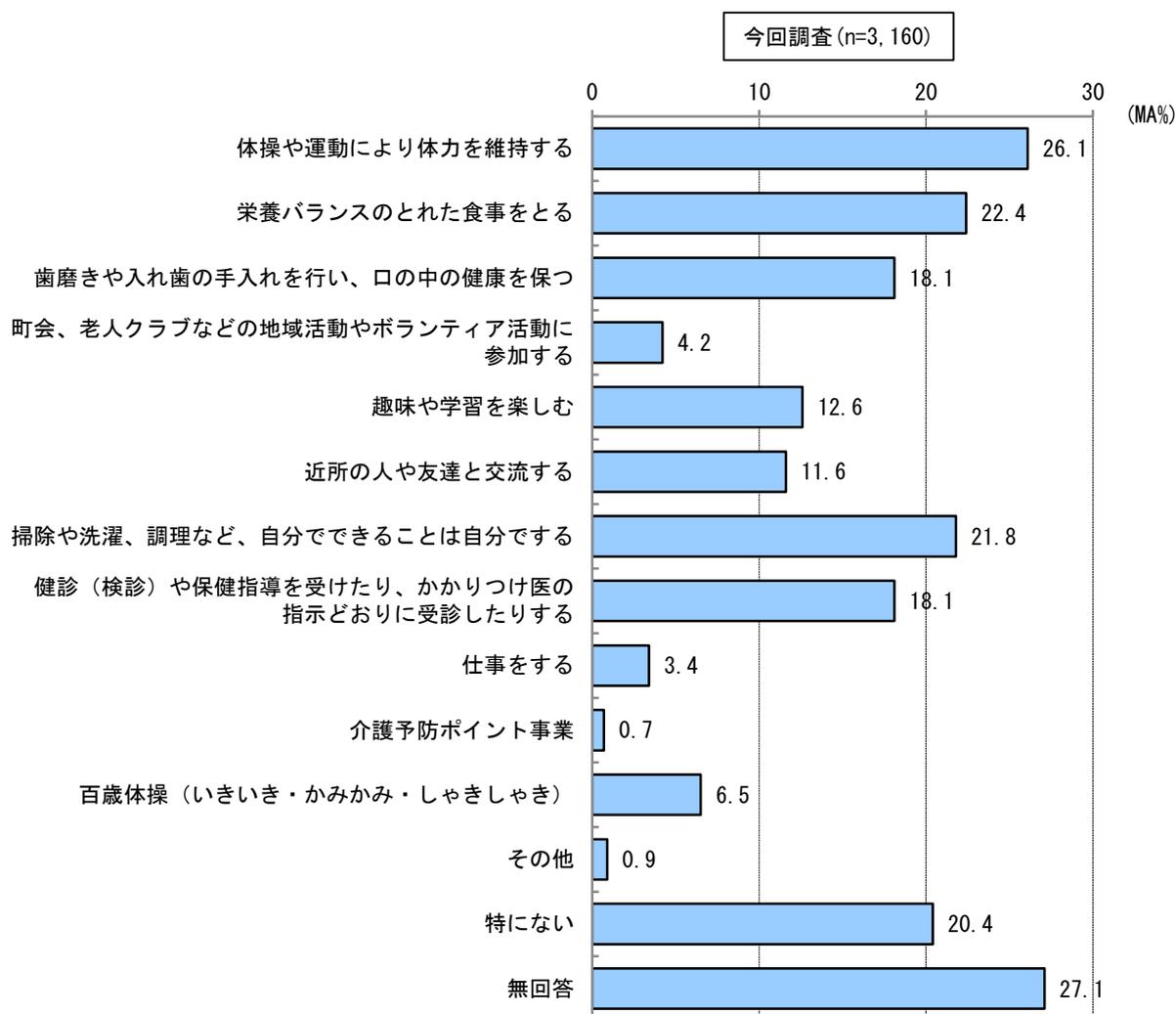
【問21①-c 介護予防の取組状況 ①取り組んでいること (要介護度別)】



② 取り組んでみたいこと

介護予防として取り組んでみたいことは、「体操や運動により体力を維持する」の割合が26.1%で最も高く、次いで「栄養バランスのとれた食事をとる」が22.4%、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が21.8%となっている。(問21②)

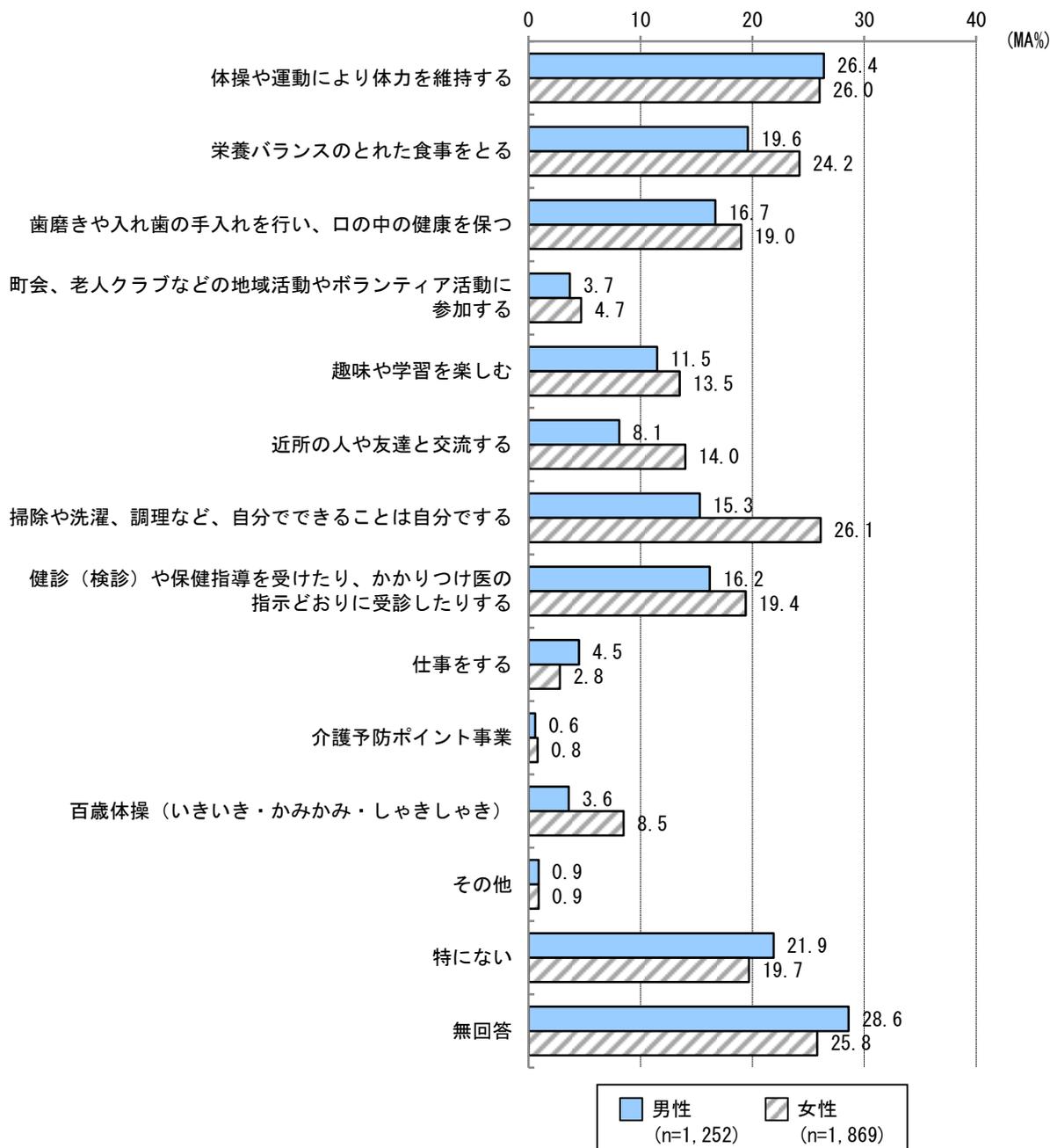
【問21② 介護予防の取組状況 ②取り組んでみたいこと】



【介護保険サービス未利用者調査】

本人の性別では、男性は「体操や運動により体力を維持する」の割合が26.4%で最も高くなっている。女性は「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が26.1%で最も高く、男性より10.8ポイント上回っている。(問21②-a)

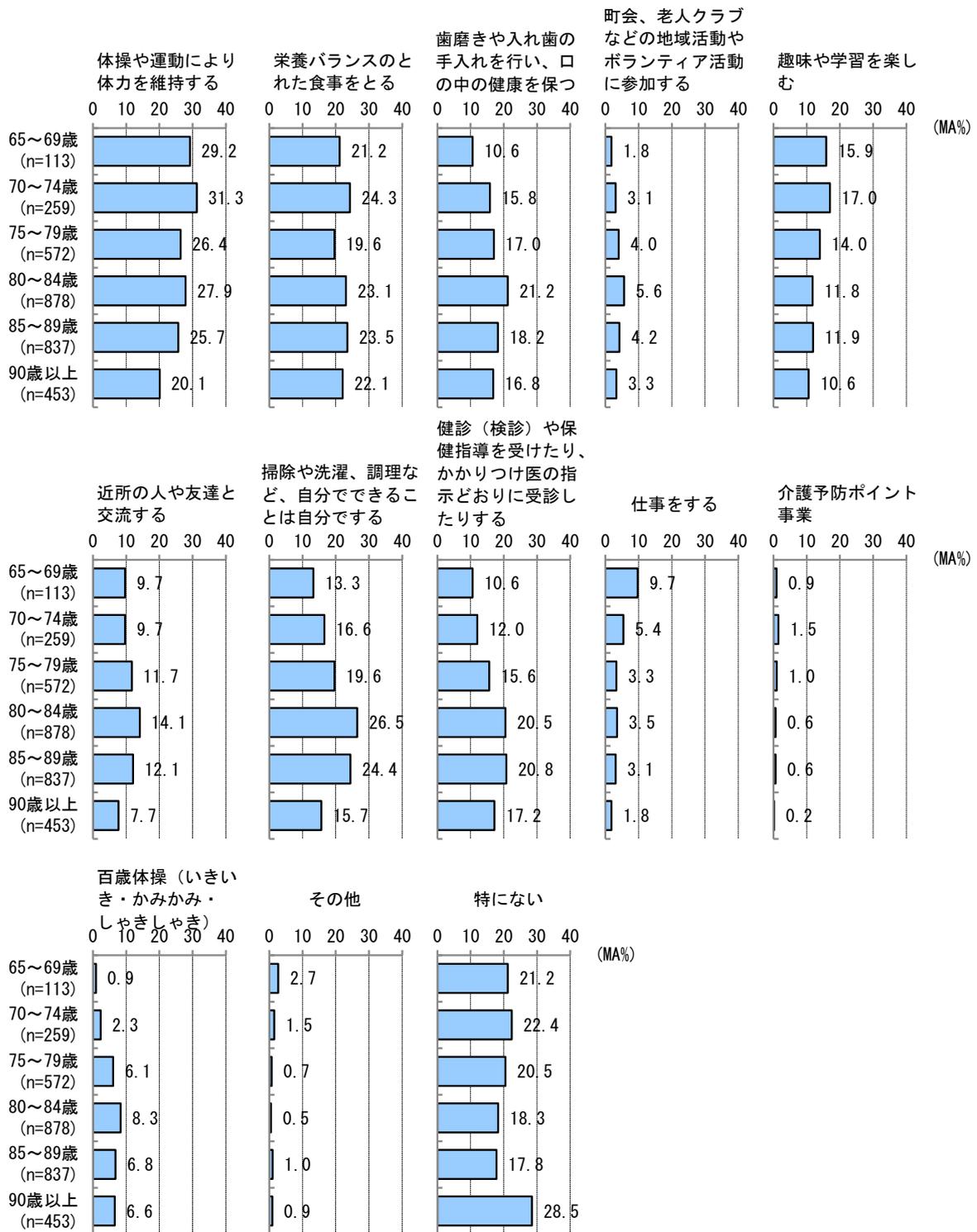
【問21②-a 介護予防の取組状況 ②取り組んでみたいこと(本人の性別)】



【介護保険サービス未利用者調査】

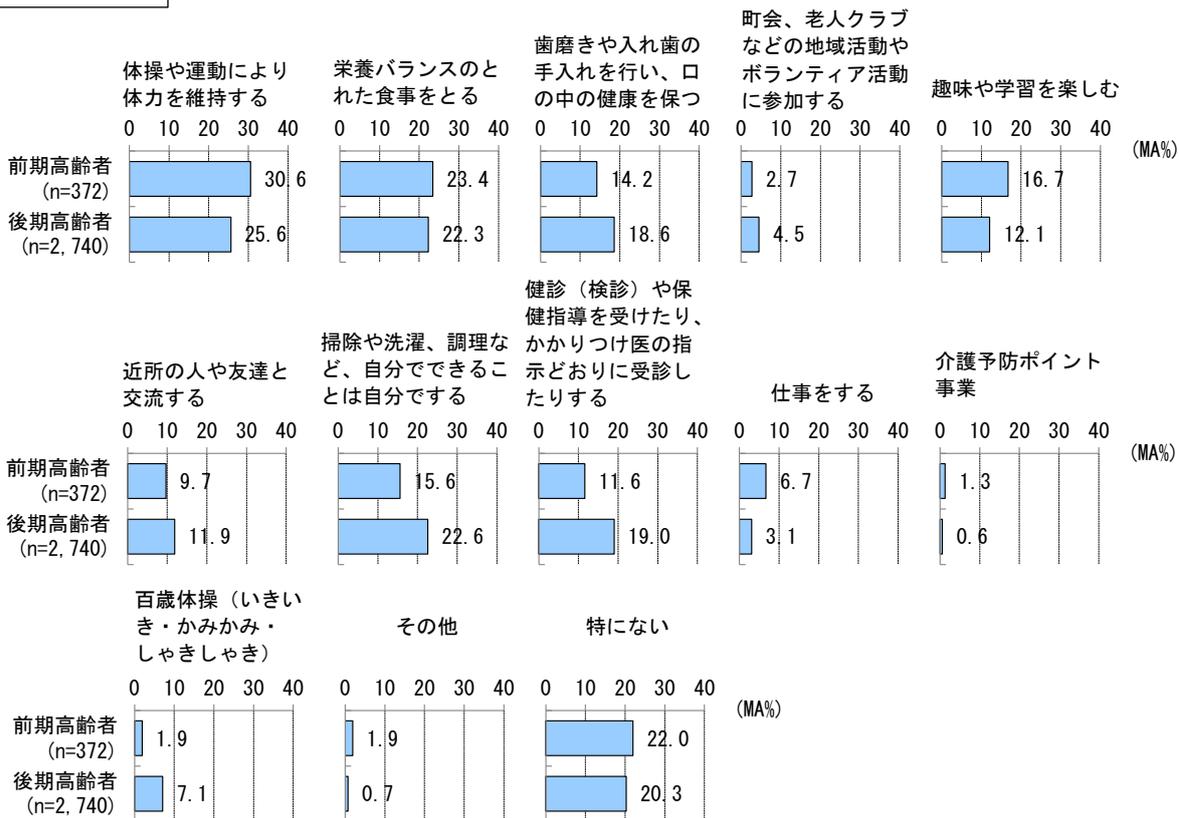
本人の年齢別では、65～89歳の年代は「体操や運動により体力を維持する」の割合が最も高く、90歳以上は「栄養バランスのとれた食事をする」の割合が最も高くなっている。(問21②-b)

【問21②-b 介護予防の取組状況 ②取り組んでみたいこと（本人の年齢別）】



# 【介護保険サービス未利用者調査】

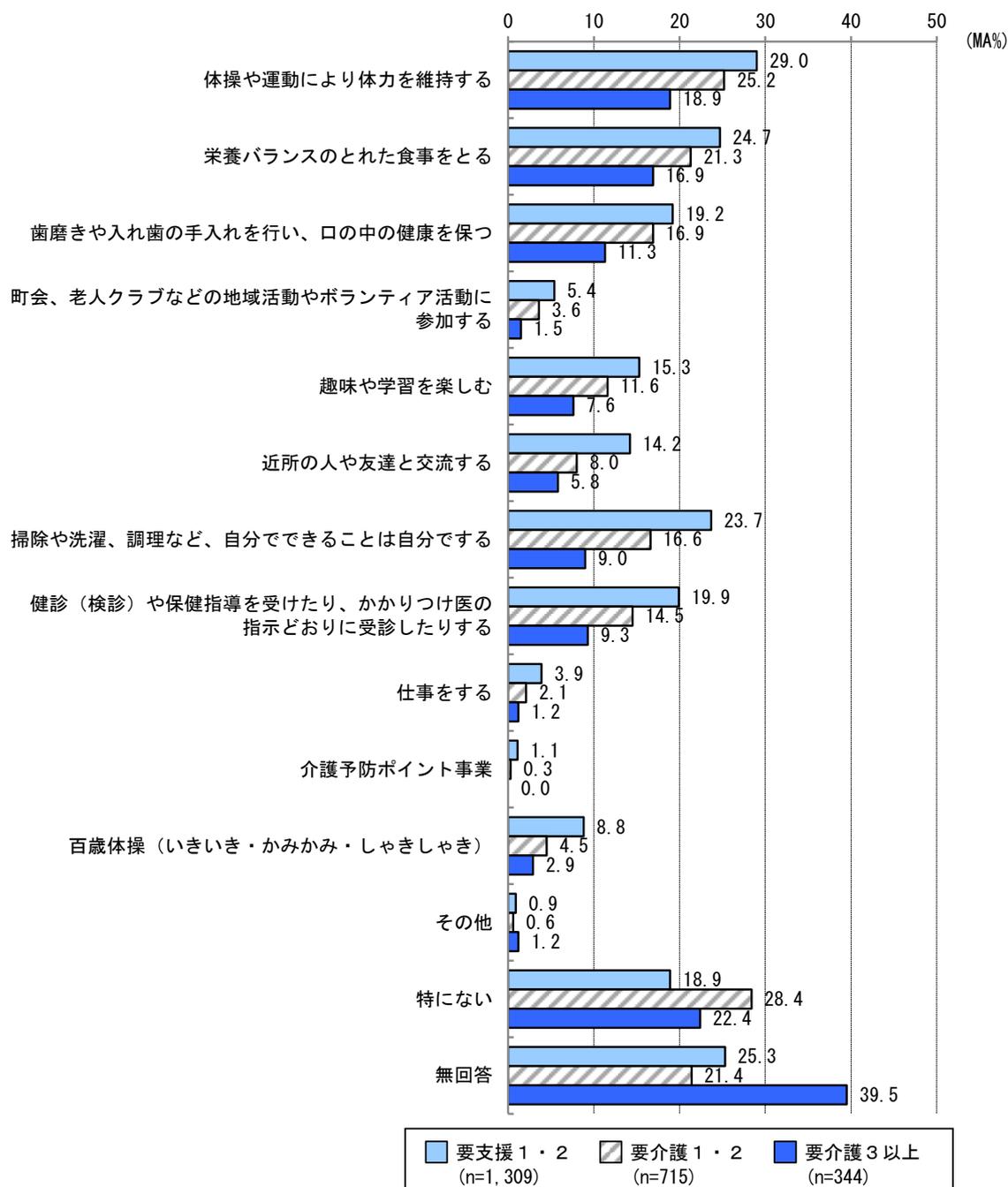
\* 前期・後期別



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず「体操や運動により体力を維持する」の割合が最も高くなっている。「特にない」の割合は、要介護1・2が28.4%で最も高くなっている。(問21②-c)

【問21②-c 介護予防の取組状況 ②取り組んでみたいこと (要介護度別)】



### 問21-1 介護予防の取組に意向がない理由

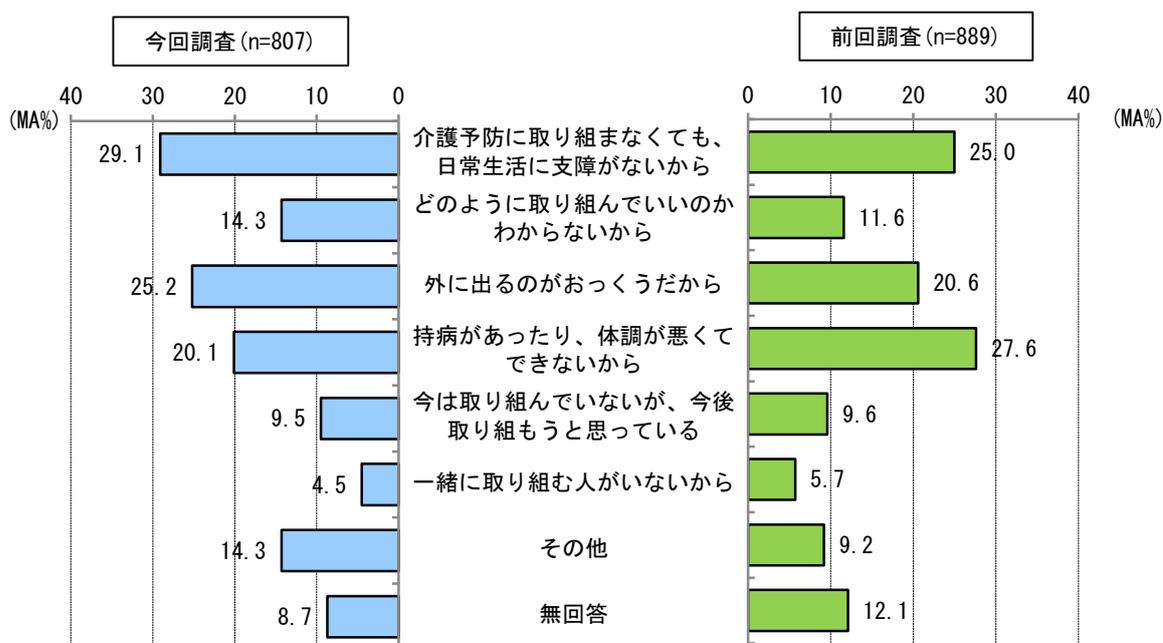
問21の①または②で「13 特にない」と回答された方におうかがいします。

あなたが、介護予防について、取り組んでいない、取り組んでみたいと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

介護予防に、取り組んでいない、または取り組んでみたいと思わないと回答した人に、その理由をたずねると、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」の割合が29.1%で最も高く、次いで「外に出るのがおっくうだから」が25.2%、「持病があったり、体調が悪くてできないから」が20.1%となっている。

前回調査の結果に比べ、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」の割合が4.1ポイント、「外に出るのがおっくうだから」の割合が4.6ポイント、それぞれ増加し、「持病があったり、体調が悪くてできないから」は7.5ポイント減少している。(問21-1)

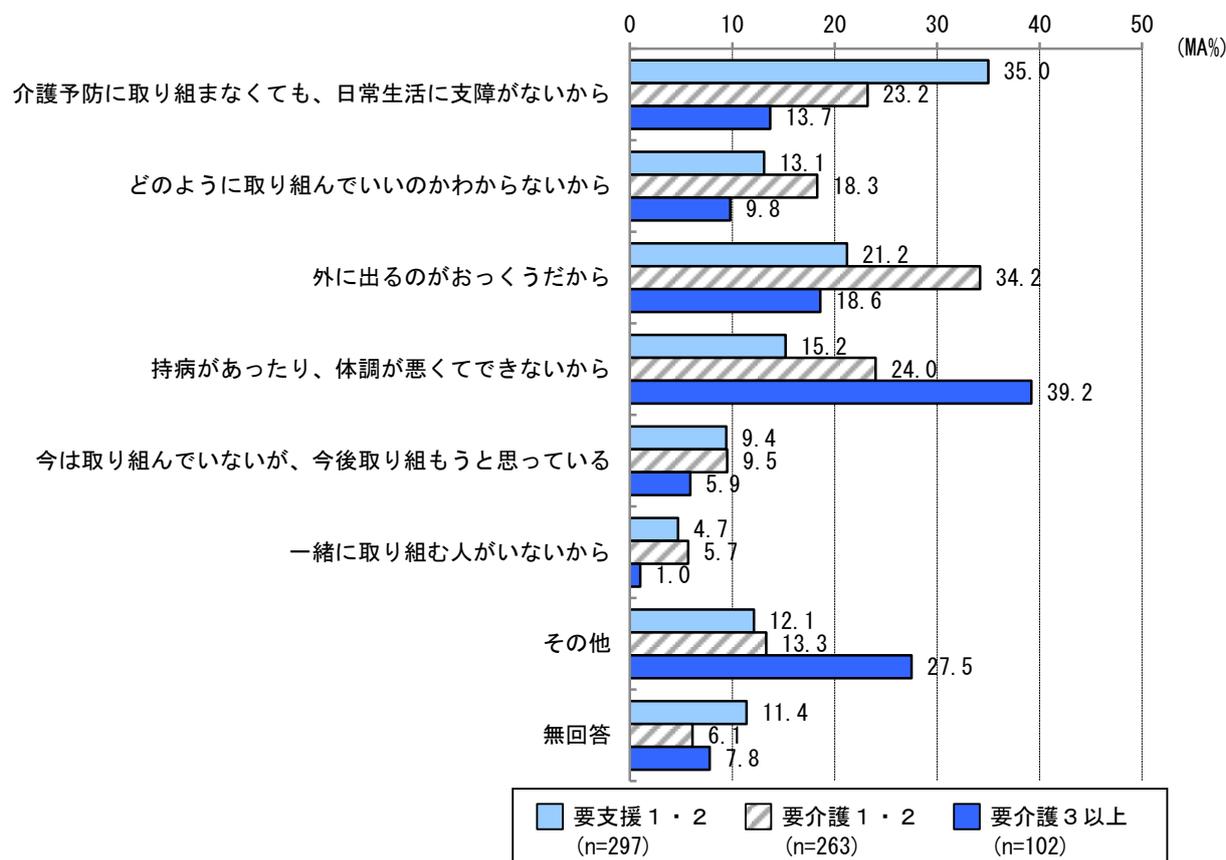
【問21-1 介護予防の取組に意向がない理由（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2は「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」、要介護1・2は「外に出るのがおっくうだから」の各割合が最も高い。要介護3以上は「持病があったり、体調が悪くてできないから」の割合が最も高くなっている。(問21-1-a)

【問21-1-a 介護予防の取組に意向がない理由（要介護度別）】



(7) 健康状態

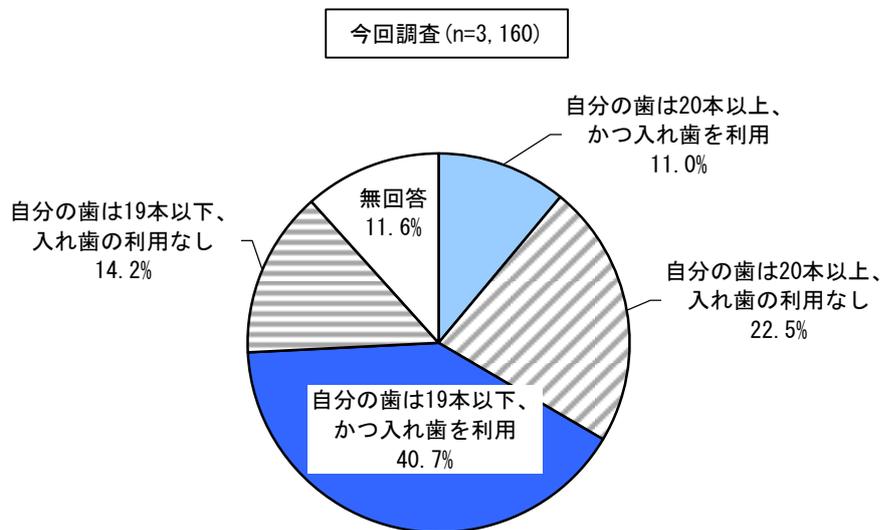
問22 歯の数と入れ歯の利用状況

歯の数と入れ歯の利用状況をお答えください。  
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (○はひとつ)

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が40.7%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が22.5%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が14.2%となっている。

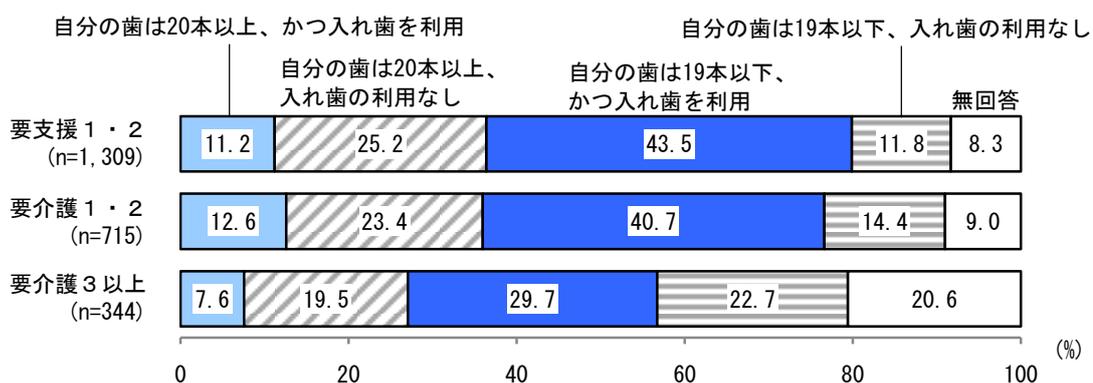
「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(11.0%)と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」をあわせた『入れ歯を利用』の割合は51.7%となっている。(問22)

【問22 歯の数と入れ歯の利用状況】



要介護度別では、『入れ歯を利用』の割合は要支援1・2が最も高く、要介護度が重度になるほど低くなっている。(問22-a)

【問22-a 歯の数と入れ歯の利用状況 (要介護度別)】

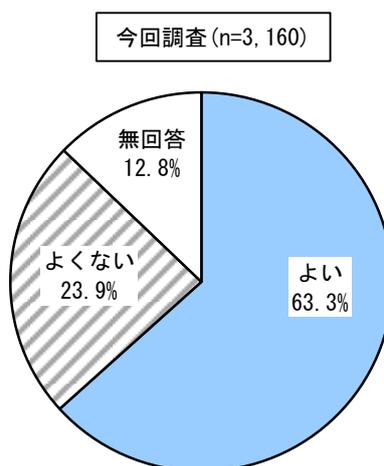


問22-1 かみ合わせ

かみ合わせはよいですか。(○はひとつ)

かみ合わせについて、「よい」が63.3%に対し、「よくない」は23.9%となっている。(問22-1)

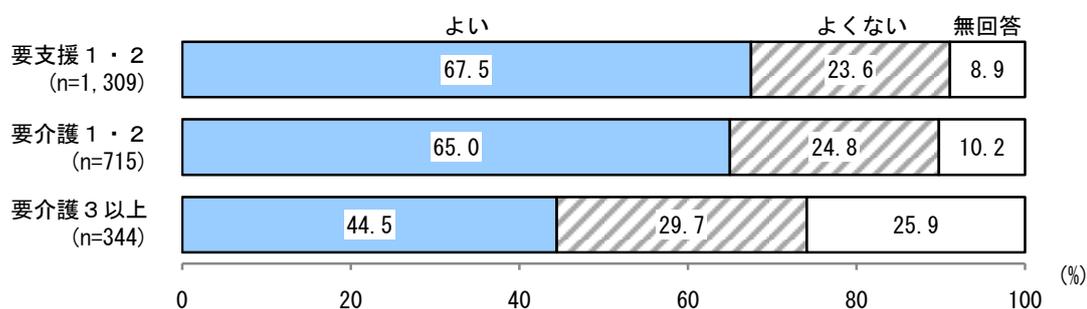
【問22-1 かみ合わせ】



※「はい」→「よい」、「いいえ」→「よくない」に変更

要介護度別では、かみ合わせが「よい」の割合は要支援1・2が67.5%で最も高く、要介護度が重度になるほど減少している。(問22-1-a)

【問22-1-a かみ合わせ (要介護度別)】

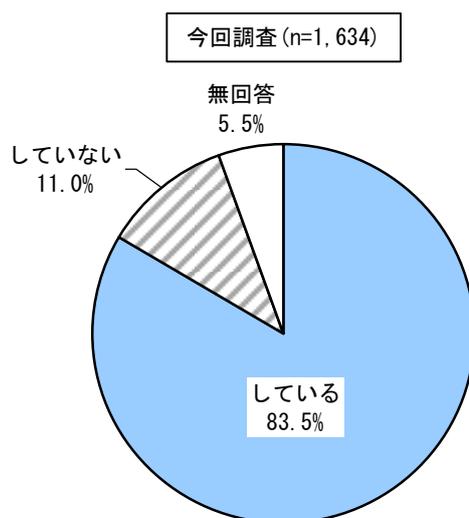


## 問22-2 入れ歯の手入れ

問22で「1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答された方におうかがいします。  
 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○はひとつ)

入れ歯を利用していると回答した人に、入れ歯の手入れの有無をたずねると、「している」が83.5%に対し、「していない」が11.0%となっている。(問22-2)

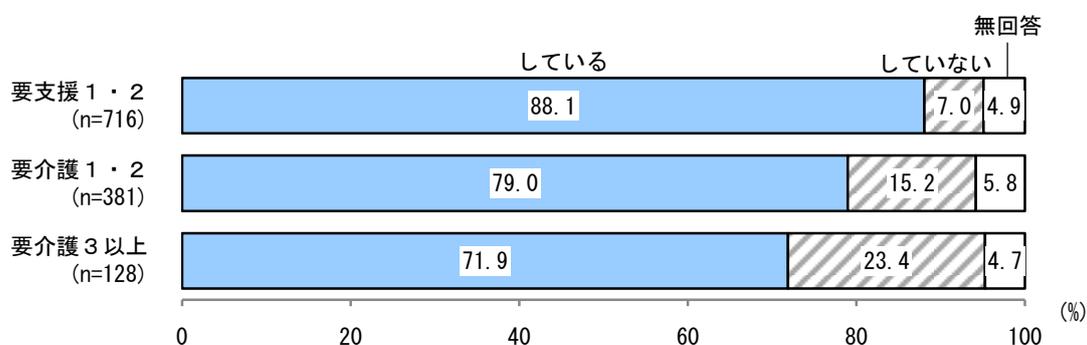
【問22-2 入れ歯の手入れ】



※「はい」→「している」、「いいえ」→「していない」に変更

要介護度別では、入れ歯の手入れを「している」の割合は、要支援1・2が88.1%で最も高く、要介護度が重度になるほど低くなっている。(問22-2-a)

【問22-2-a 入れ歯の手入れ (要介護度別)】

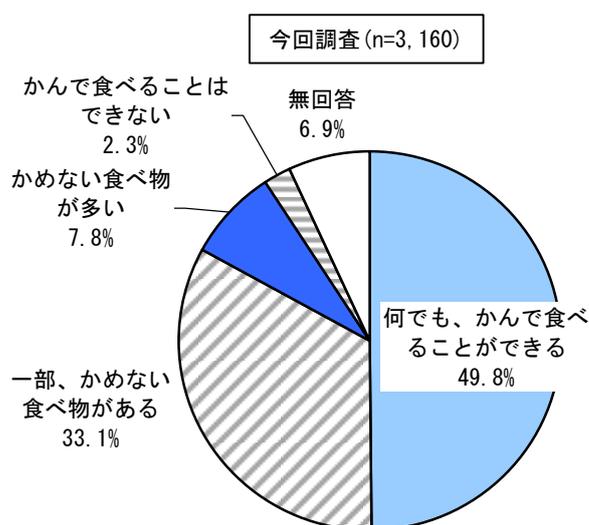


## 問23 かねで食べることの可否

あなたがかんで食べる時の状態は、次のどれにあてはまりますか。(○はひとつ)

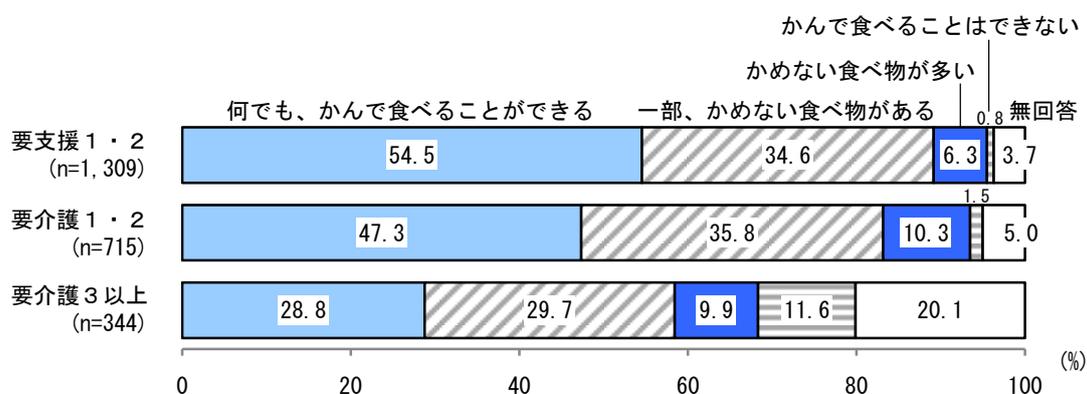
かねで食べる時の状態は、「何でも、かねで食べることができる」が49.8%、「一部、かめない食べ物がある」が33.1%、「かめない食べ物が多い」が7.8%となっている。(問23)

【問23 かねで食べることの可否】



要介護度別では、要支援1・2、要介護1・2は「何でも、かねで食べることができる」の割合が最も高くなっている。要介護3以上では「一部、かめない食べ物がある」の割合が最も高くなっている。(問23-a)

【問23-a かねで食べることの可否 (要介護度別)】

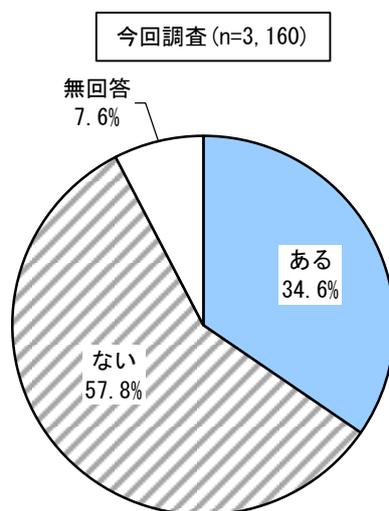


## 問24 お茶や汁物等でむせること

お茶や汁物等でむせることはありますか。(○はひとつ)

お茶や汁物等でむせることが「ある」は34.6%に対し、「ない」は57.8%となっている。  
(問24)

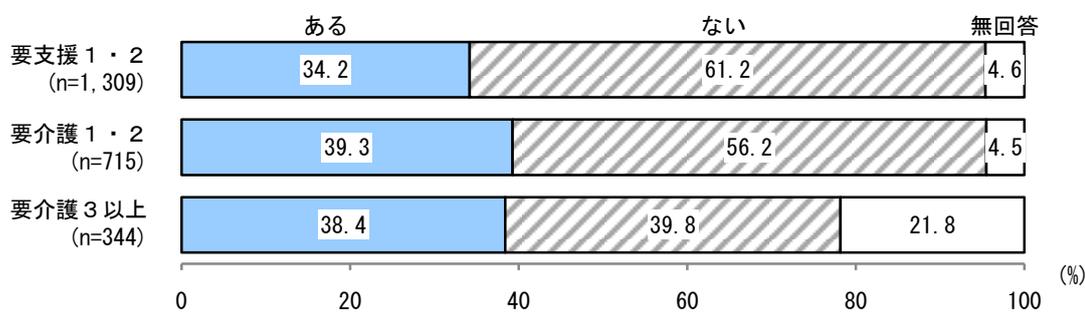
【問24 お茶や汁物でむせること】



※「はい」→「ある」、「いいえ」→「ない」に変更

要介護度別では、要介護度にかかわらず「ない」の割合が高く、「ある」の割合は要介護1・2が39.3%で最も高くなっている。(問24-a)

【問24-a お茶や汁物でむせること (要介護度別)】

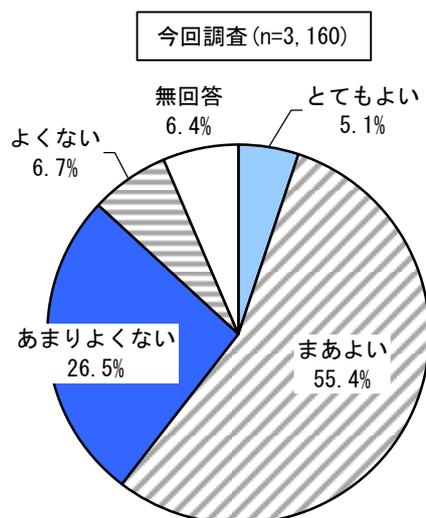


## 問25 健康状態

現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

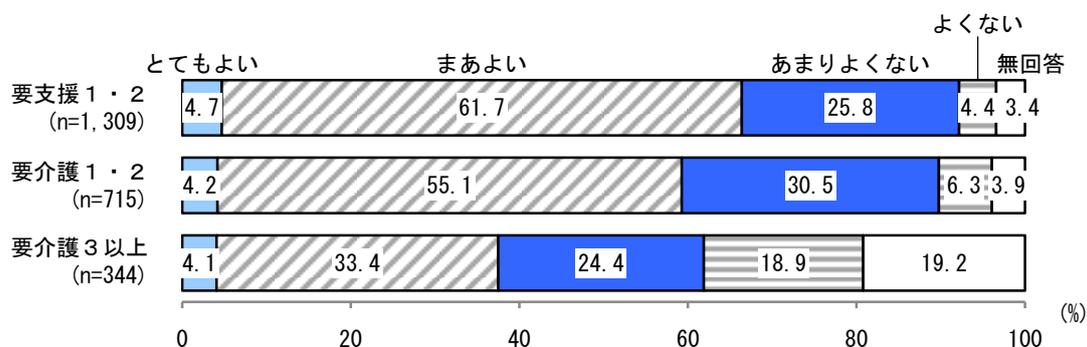
現在の健康状態は、「まあよい」の割合が55.4%で最も高く、次いで「あまりよくない」が26.5%、「よくない」が6.7%となっている。「とてもよい」(5.1%)と「まあよい」をあわせた『よい』割合は60.5%となっている。(問25)

【問25 健康状態】



要介護度別では、『よい』の割合は要介護1・2が66.4%で最も高く、要介護度が重度になるほどその割合が低くなっている。(問25-a)

【問25-a 健康状態 (要介護度別)】



(8) かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師

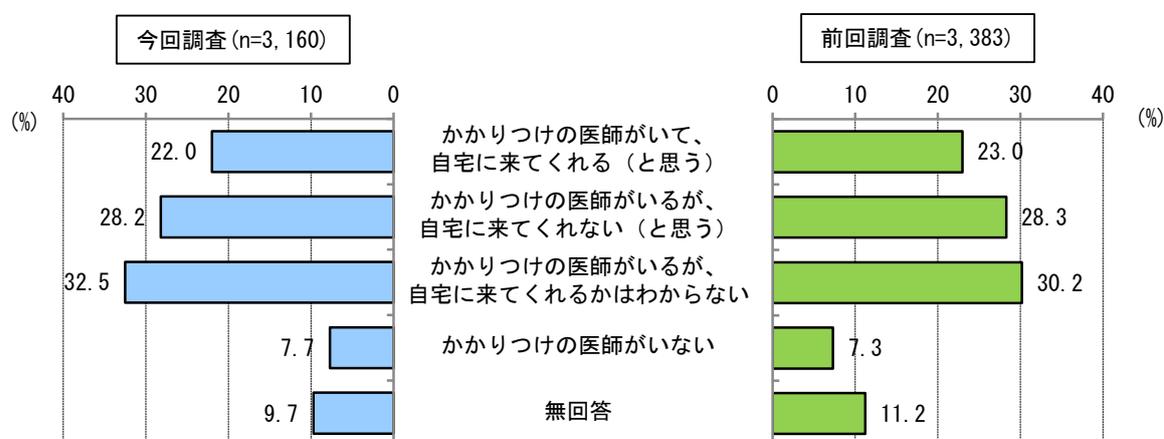
問26 かかりつけの医師の訪問診療の有無

かかりつけの医師はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。(○はひとつ)

通院できなくなった時のかかりつけの医師の訪問診療について、「かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」の割合が32.5%で最も高く、次いで「かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」が28.2%、「かかりつけの医師がいて、自宅に来てくれる(と思う)」が22.0%となっている。

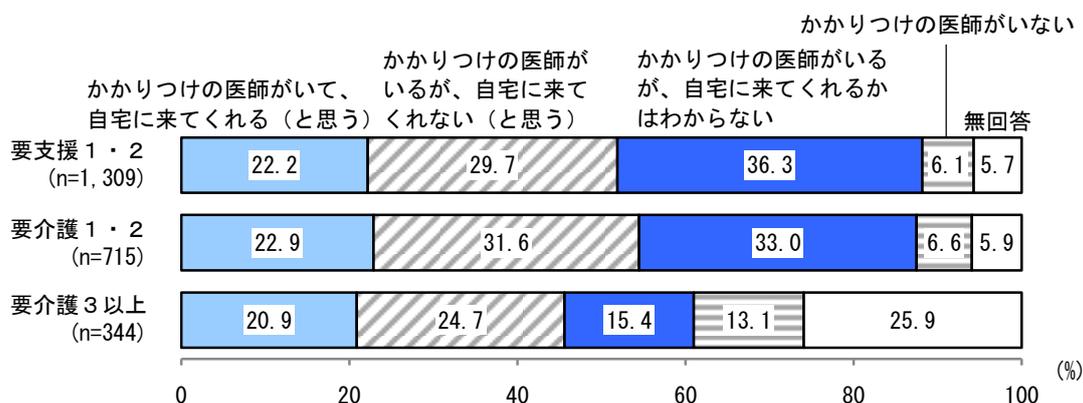
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問26)

【問26 かかりつけの医師の訪問診療の有無(経年比較)】



要介護度別では、要支援1・2、要介護1・2は「かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」の割合が最も高い。要介護3以上は「かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」の割合が最も高くなっている。(問26-a)

【問26-a かかりつけの医師の訪問診療の有無(要介護度別)】



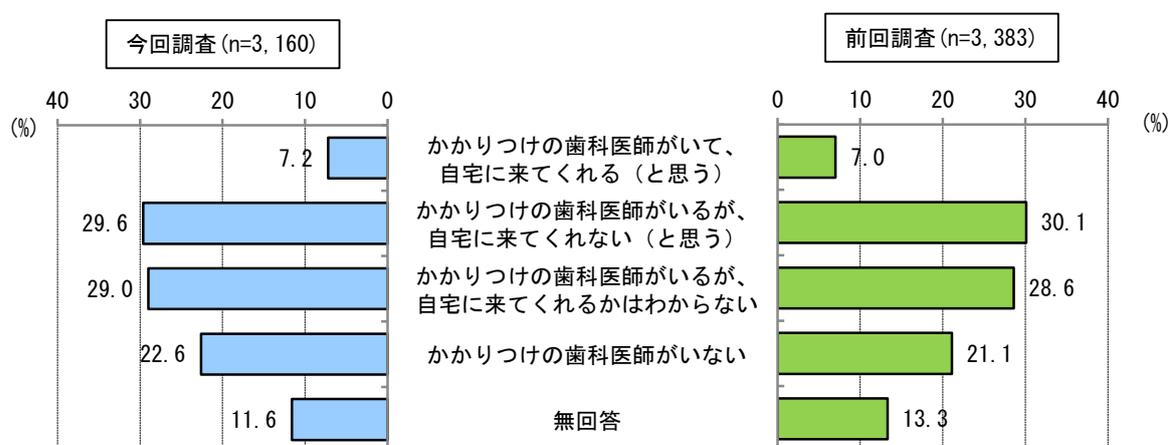
## 問27 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無

かかりつけの歯科医師はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。  
(○はひとつ)

通院できなくなった時のかかりつけの歯科医師の訪問診療について、「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」の割合が29.6%で最も高く、次いで「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」が29.0%、「かかりつけの歯科医師がいない」が22.6%となっている。

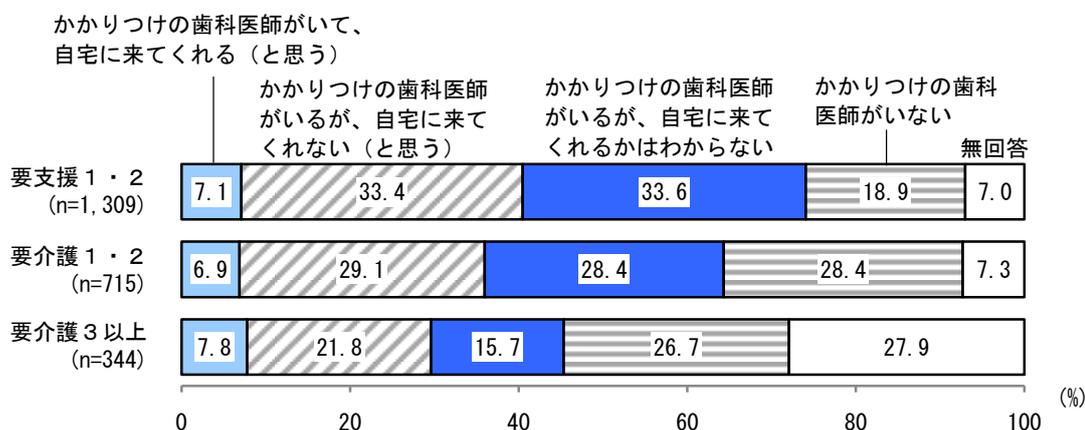
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問27)

【問27 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無 (経年比較)】



要介護度別では、「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」と「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」の各割合は要支援1・2で最も高く、重度になるほど低くなっている。(問27-a)

【問27-a かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無 (要介護度別)】



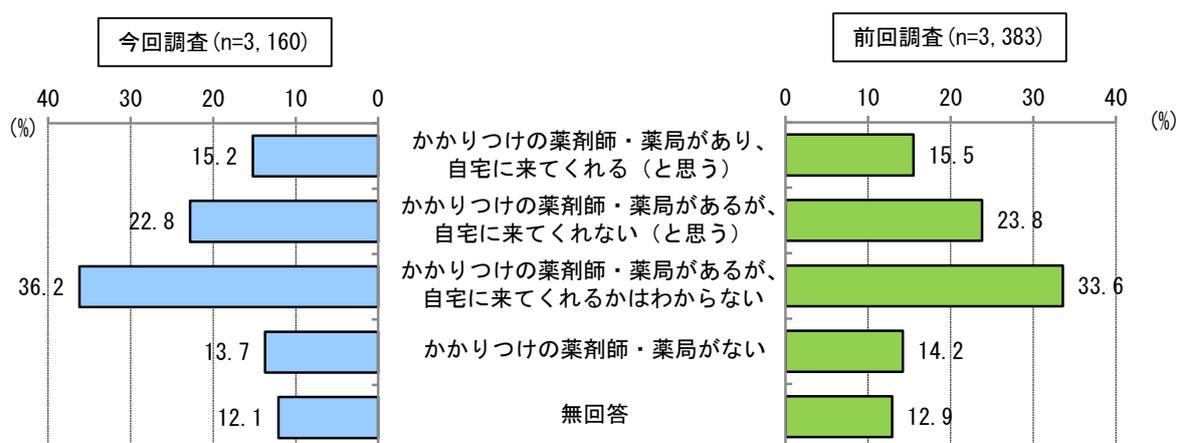
## 問28 かかりつけの薬剤師・薬局の訪問の有無

かかりつけの薬剤師・薬局はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。  
(○はひとつ)

通院できなくなった時のかかりつけの薬剤師・薬局の訪問について、「かかりつけの薬剤師・薬局があるが、自宅に来てくれるかはわからない」の割合が36.2%で最も高く、次いで「かかりつけの薬剤師・薬局があるが、自宅に来てくれない（と思う）」が22.8%、「かかりつけの薬剤師・薬局があり、自宅に来てくれる（と思う）」が15.2%となっている。

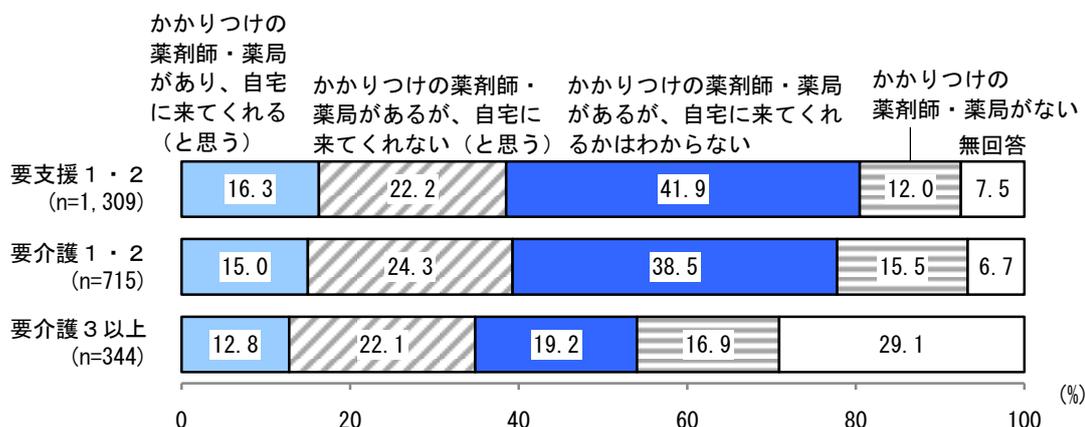
前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問28）

【問28 かかりつけの薬剤師・薬局の訪問の有無（経年比較）】



要介護度別では、要支援1・2と要介護1・2は「かかりつけの薬剤師・薬局があるが、自宅に来てくれるかはわからない」の割合が最も高い。要介護3以上では「かかりつけの薬剤師・薬局があるが、自宅に来てくれない（と思う）」の割合が最も高くなっている。（問28-a）

【問28-a かかりつけの薬剤師・薬局の訪問の有無（要介護度別）】



(9) 地域活動

問29 地域の会・グループ等への参加頻度

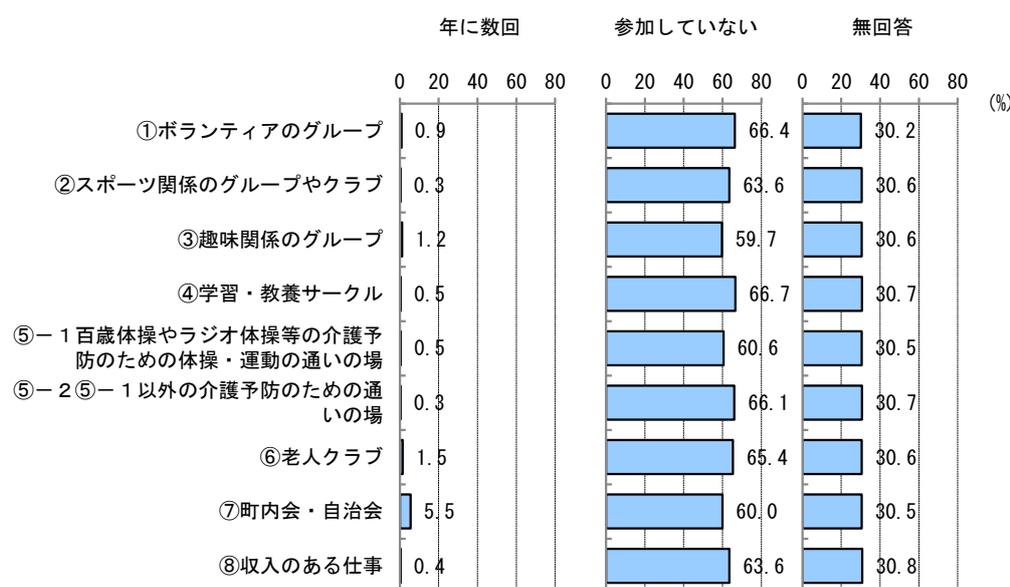
以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(○はひとつ)  
 ①～⑧それぞれに回答してください。(それぞれ○はひとつ)

地域の会・グループ等への参加頻度についてたずねた。

いずれの会・グループ等も「参加していない」が過半数を占めている。

参加している会・グループ等では、「週1回」の割合は、“⑤-1 百歳体操やラジオ体操等の介護予防のための体操・運動の通いの場”が3.4%で最も高く、「月1～3回」の割合は、“③趣味関係のグループ”が4.3%で最も高くなっている。(問29)

【問29 地域の会・グループ等への参加頻度】

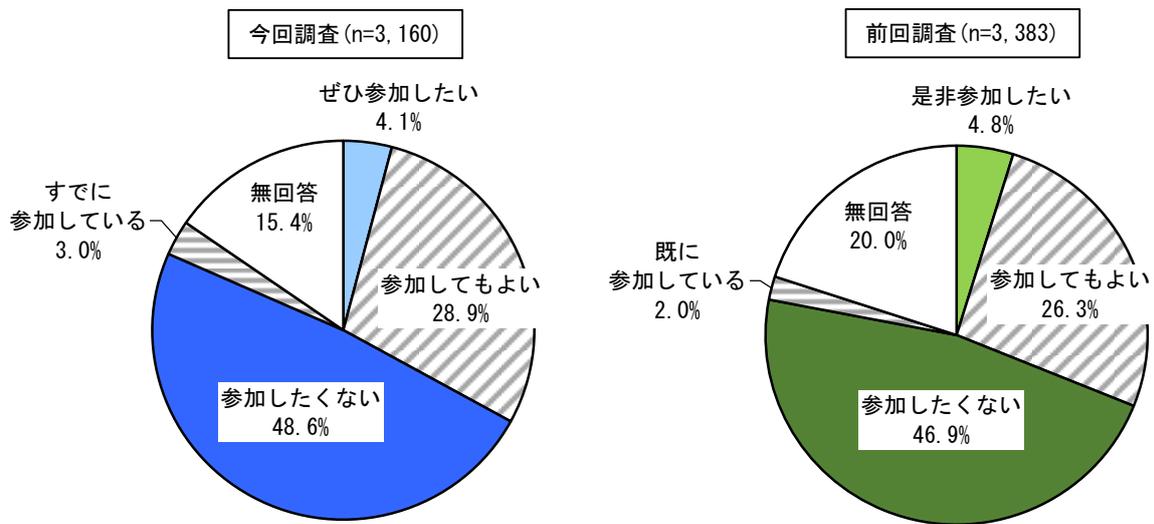


問29-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

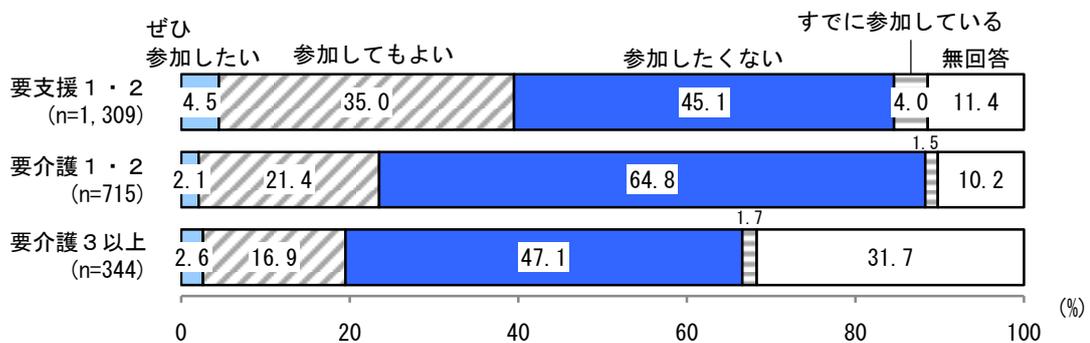
地域づくり活動に参加者としての参加意向について、「参加したくない」の割合が48.6%で最も高く、次いで「参加してもよい」が28.9%、「ぜひ参加したい」が4.1%となっている。前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問29-1)

【問29-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向 (経年比較)】



要介護度別では、要介護度にかかわらず「参加したくない」の割合が最も高く、その中でも要介護1・2が64.8%で最も高くなっている。(問29-1-a)

【問29-1-a 地域づくり活動に参加者としての参加意向 (要介護度別)】



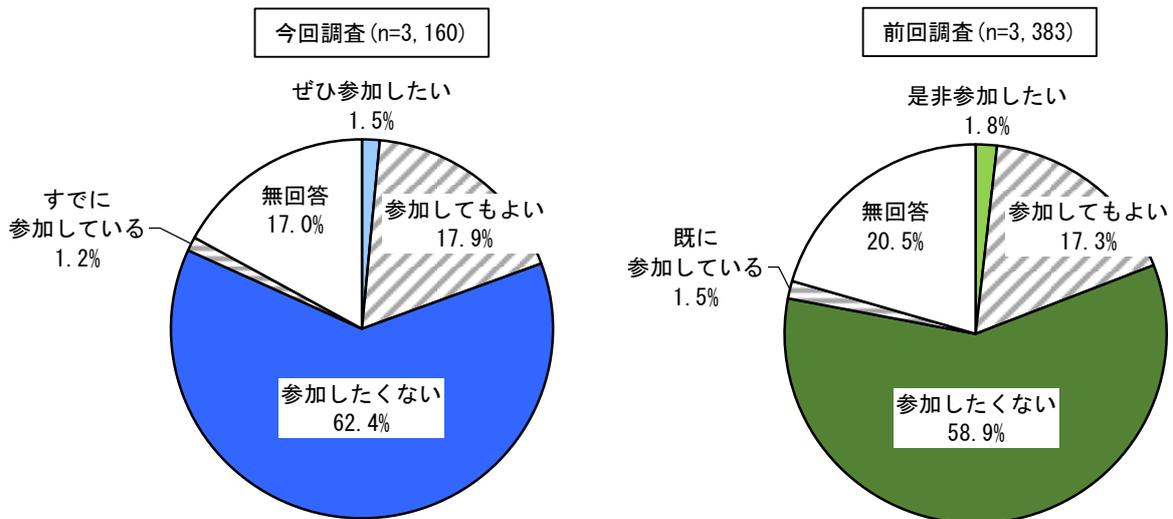
問29-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（〇はひとつ）

地域づくり活動に企画・運営（お世話役）としての参加意向について、「参加したくない」の割合が62.4%で最も高く、次いで「参加してもよい」が17.9%となっている。

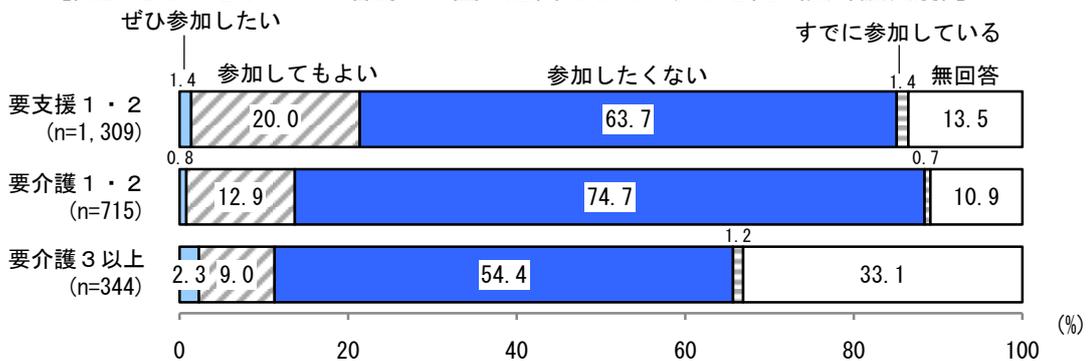
前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問29-2）

【問29-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向（経年比較）】



要介護度別では、要介護度にかかわらず「参加したくない」の割合が5割以上を占めている。これに対し、「参加してもよい」の割合は要支援1・2で最も高くなっている。（問29-2-a）

【問29-2-a 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向（要介護度別）】



## (10) 認知症

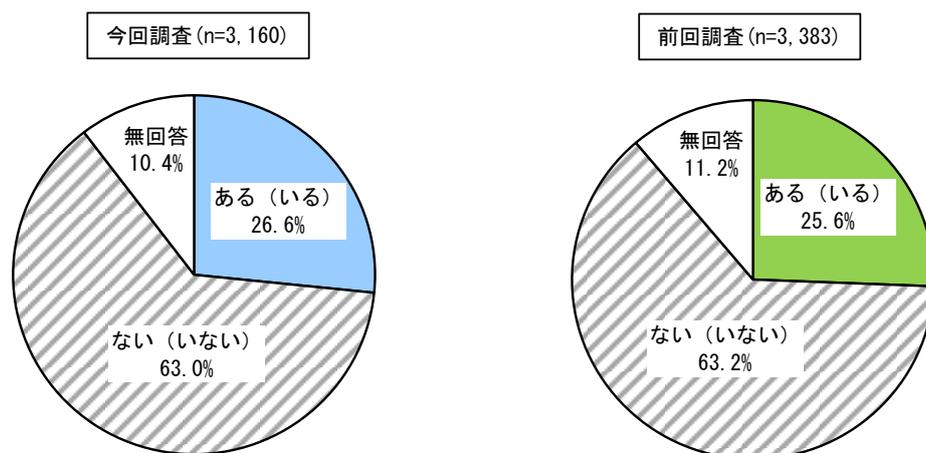
### 問30 認知症状の有無

認知症の症状（もの忘れの悪化など認知症の疑いも含む）がある、又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（○はひとつ）

認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人について、「ある（いる）」が26.6%に対し、「ない（いない）」は63.0%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問30）

【問30 認知症状の有無（経年比較）】

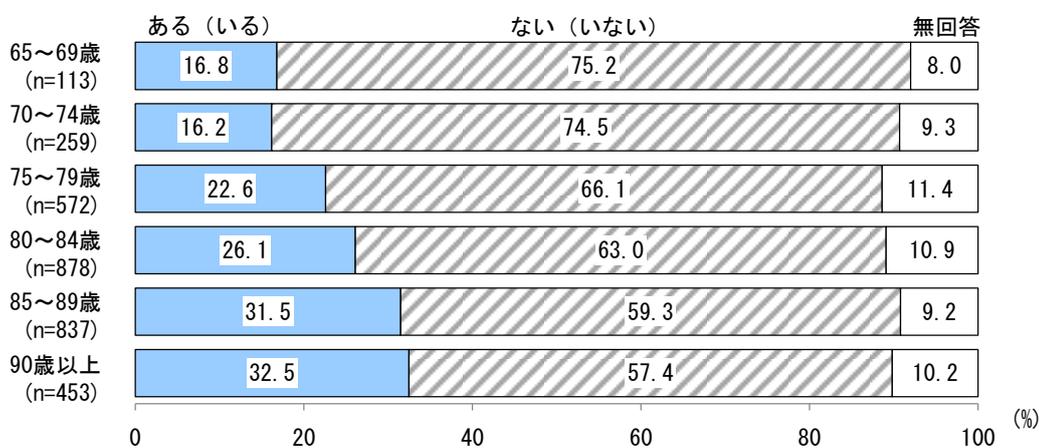


※ 「はい」 → 「ある（いる）」、「いいえ」 → 「ない（いない）」に変更

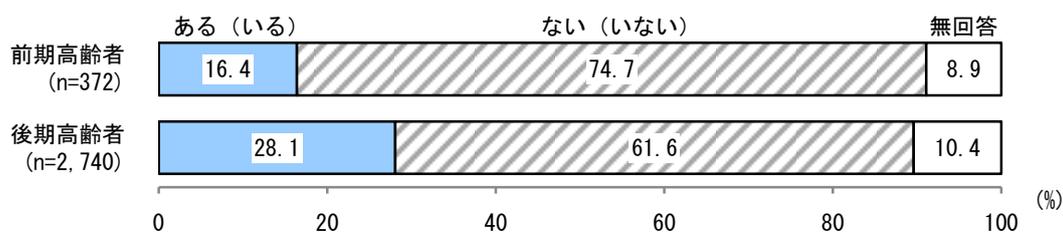
【介護保険サービス未利用者調査】

本人の年齢別では、「ある（いる）」の割合は90歳以上が32.5%で最も高く、次いで85～89歳の31.5%となっている。（問30-a）

【問30-a 認知症状の有無（本人の年齢別）】



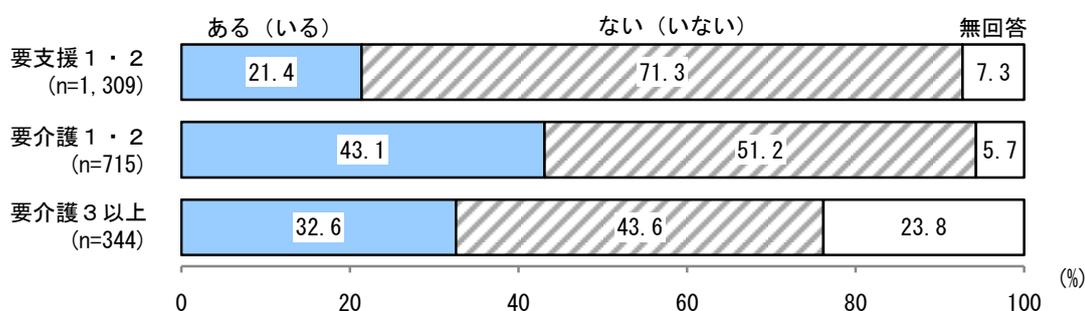
\*前期・後期別



【介護保険サービス未利用者調査】

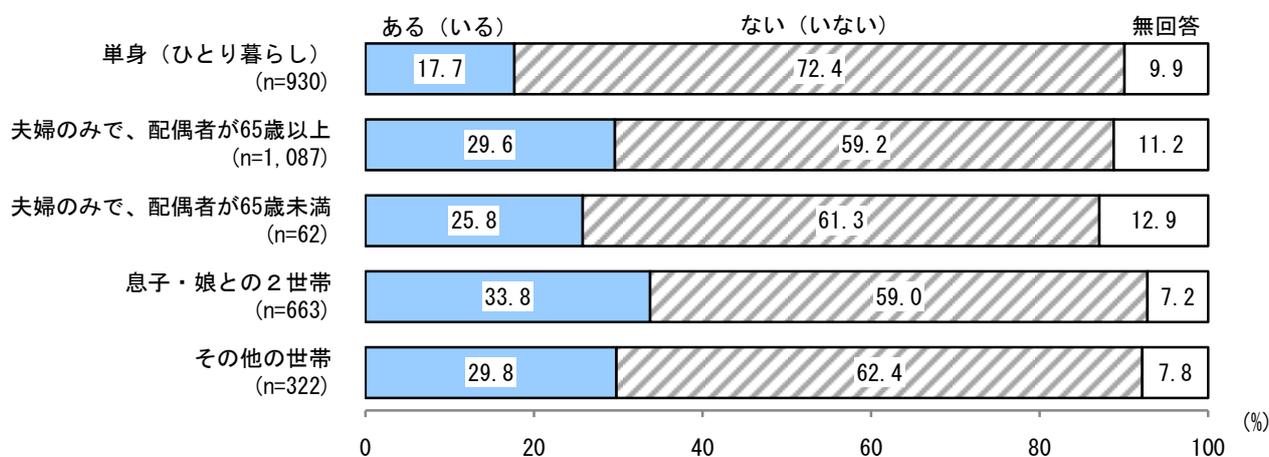
要介護度別では、「ある（いる）」の割合は要介護1・2が43.1%で最も高く、次いで要介護3以上が32.6%となっている。（問30-b）

【問30-b 認知症状の有無（要介護度別）】



世帯状況別では、「ある（いる）」の割合は息子・娘との2世帯の世帯が33.8%で最も高く、次いでその他の世帯が29.8%となっている。（問30-c）

【問30-c 認知症状の有無（世帯状況別）】



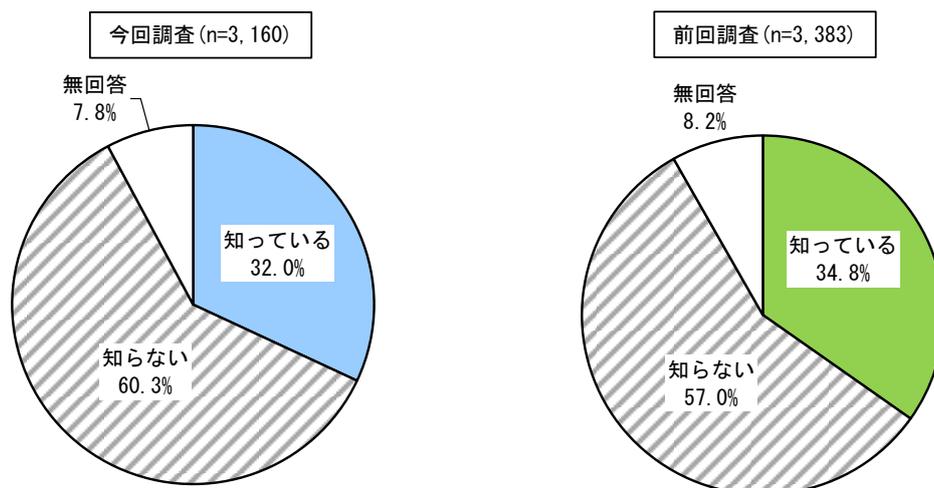
### 問30-1 認知症に関する相談窓口の認知度

認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○はひとつ)

認知症に関する相談窓口を「知っている」が32.0%に対し、「知らない」は60.3%となっている。

前回調査の結果に比べ、「知っている」の割合が2.8ポイント減少し、「知らない」の割合が3.3ポイント増加している。(問30-1)

【問30-1 認知症に関する相談窓口の認知度（経年比較）】

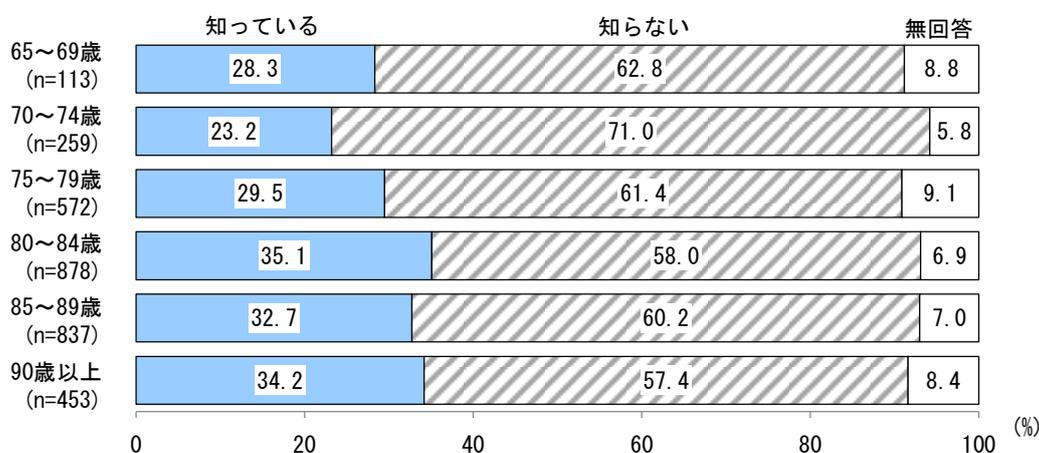


※ 「はい」 → 「知っている」、「いいえ」 → 「知らない」に変更

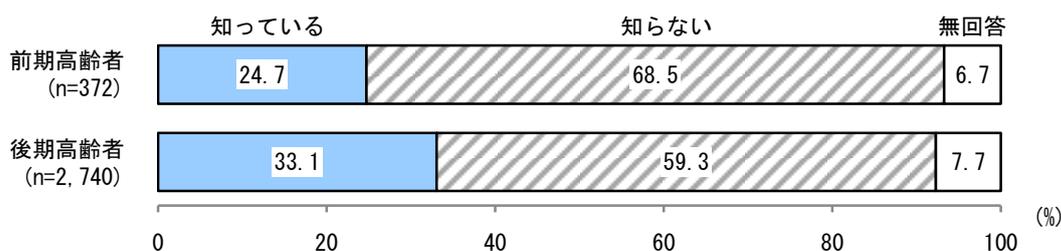
【介護保険サービス未利用者調査】

本人の年齢別では、「知っている」の割合は80～84歳が35.1%で最も高く、次いで90歳以上が34.2%、85～89歳が32.7%となっている。（問30-1-a）

【問30-1-a 認知症に関する相談窓口の認知度（本人の年齢別）】

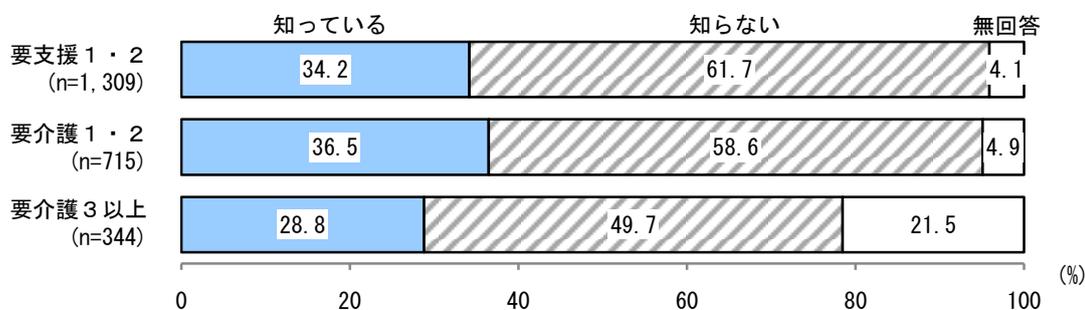


\* 前期・後期別



要介護度別では、「知っている」の割合は要介護1・2が36.5%で最も高く、次いで要支援1・2が34.2%となっている。（問30-1-b）

【問30-1-b 認知症に関する相談窓口の認知度（要介護度別）】



## 問30-2 知っている認知症に関する相談窓口

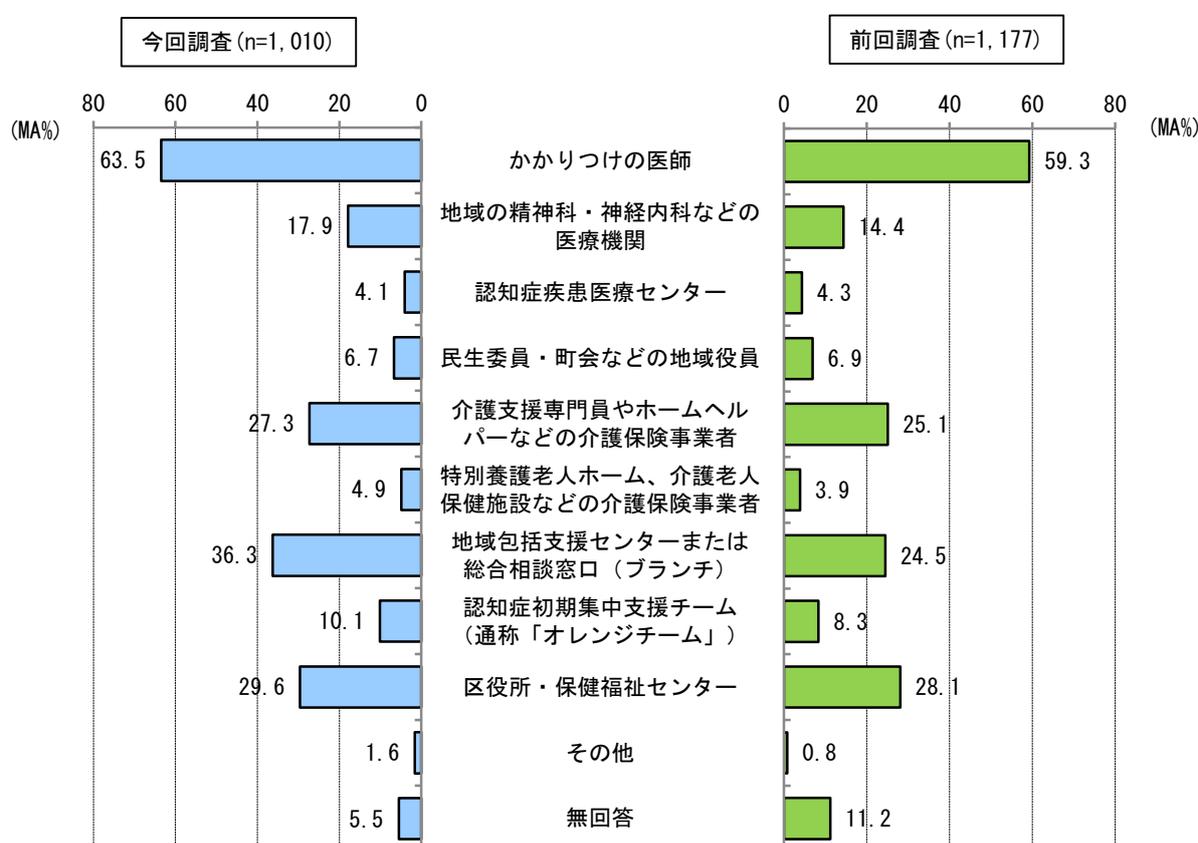
問30-2と問30-3は、問30-1で「1 はい」（認知症に関する相談窓口を知っている）と回答された方におうかがいします。

あなたが認知症に関する相談窓口として知っているところはどこですか。（〇はいくつでも）

認知症に関する相談窓口を知っていると回答した人に、知っている相談窓口についてたずねると、「かかりつけの医師」の割合が63.5%で最も高く、次いで「地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ）」が36.3%、「区役所・保健福祉センター」が29.6%となっている。

前回調査の結果に比べ、上位5項目の各割合は増加し、特に「地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ）」は11.8ポイントと他に比べ大きく増加している。（問30-2）

【問30-2 知っている認知症に関する相談窓口（経年比較）】



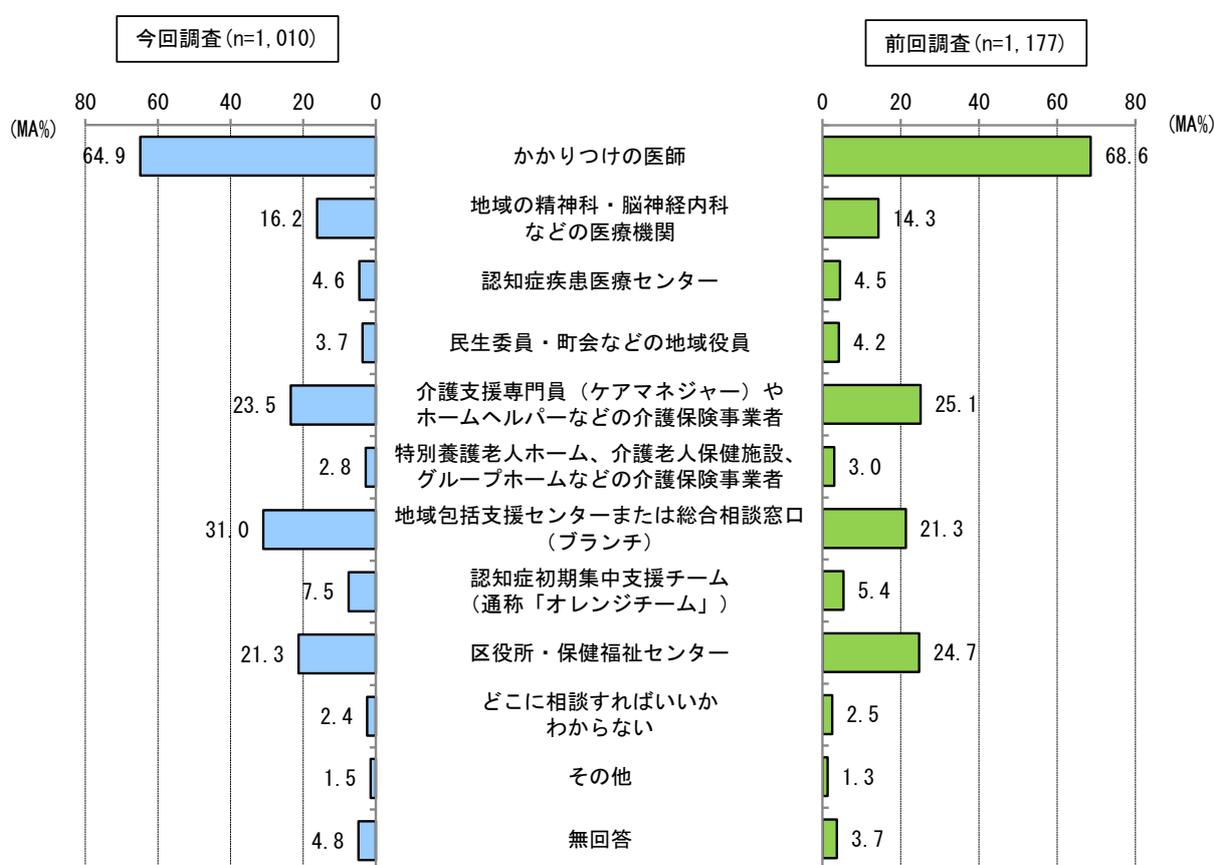
### 問30-3 認知症についての相談先

あなたは、あなた又はあなたのご家族が認知症について不安を感じる時は、どちらに相談されますか。(〇はいくつでも)

認知症についての相談先は、「かかりつけの医師」の割合が64.9%で最も高く、次いで「地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ）」が31.0%、「介護支援専門員（ケアマネジャー）やホームヘルパーなどの介護保険事業者」が23.5%となっている。

前回調査の結果に比べ、「地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ）」の割合が9.7ポイント増加している。(問30-3)

【問30-3 認知症についての相談先（経年比較）】



(11) 高齢者向けサービス情報、生活の満足度

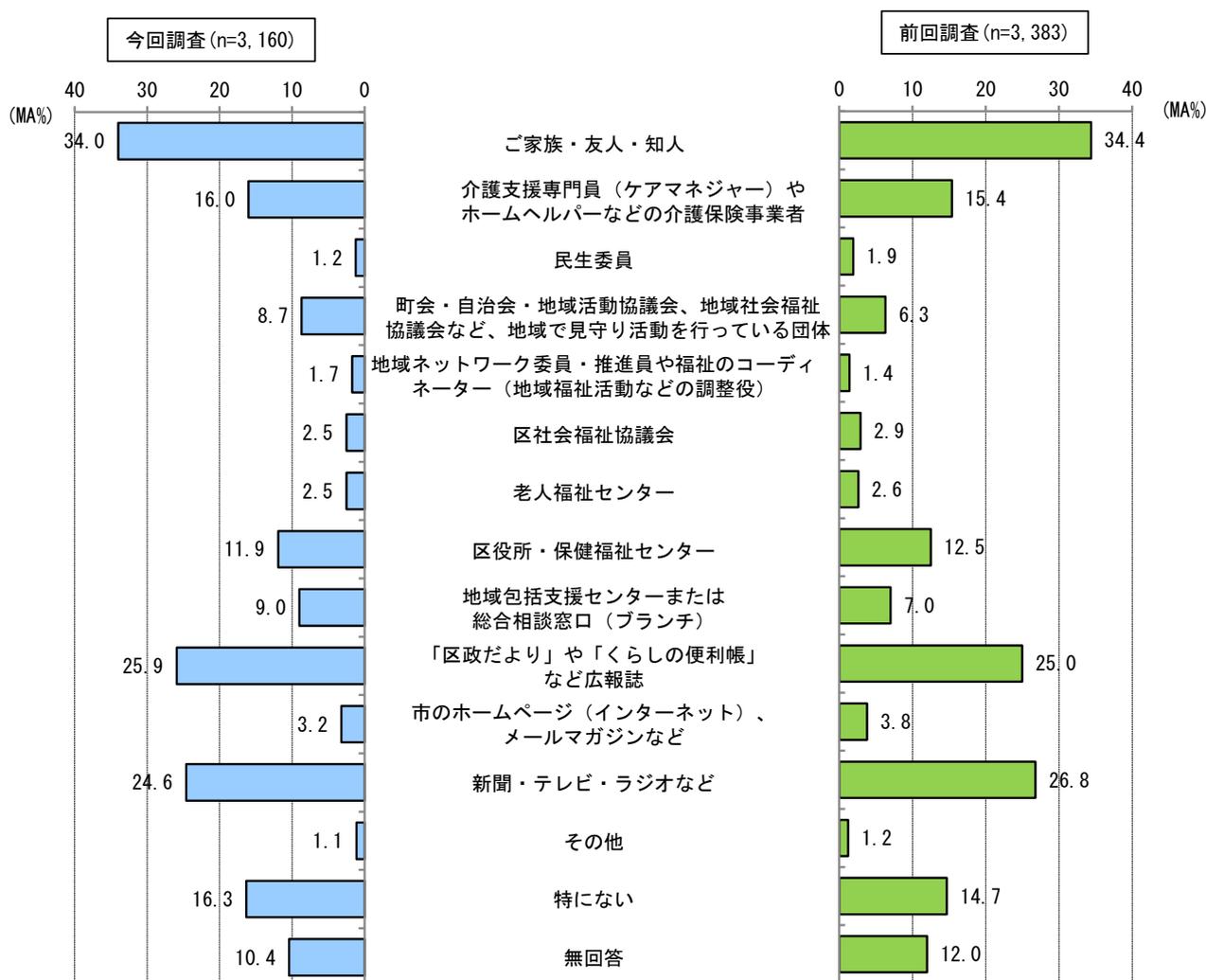
問31 高齢者向けサービスの情報源

あなたは、高齢者向けのお知らせや健康・介護予防に関する情報をどこから得ていますか。  
(○はいくつでも)

高齢者向けサービスの情報源は、「ご家族・友人・知人」の割合が34.0%で最も高く、次いで「区政だより」や「くらしの便利帳」など広報誌が25.9%、「新聞・テレビ・ラジオなど」が24.6%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問31)

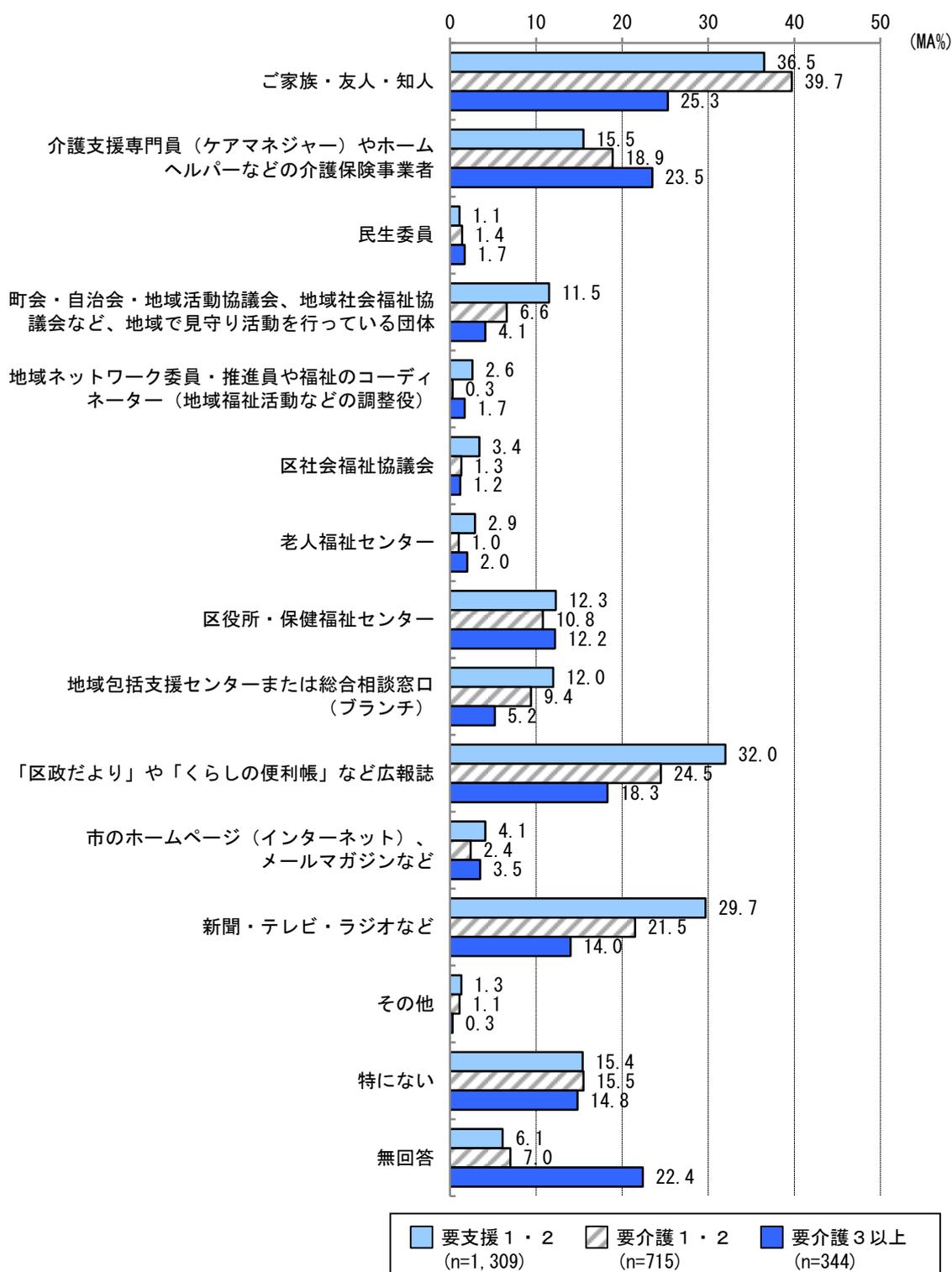
【問31 高齢者向けサービスの情報源（経年比較）】



【介護保険サービス未利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず「ご家族・友人・知人」の割合が最も高く、特に要介護1・2が39.7%で最も高くなっている。また、「介護支援専門員（ケアマネジャー）やホームヘルパーなどの介護保険事業者」と「民生委員」の各割合は重度になるほど高くなっている。（問31-a）

【問31-a 高齢者向けサービスの情報源（要介護度別）】



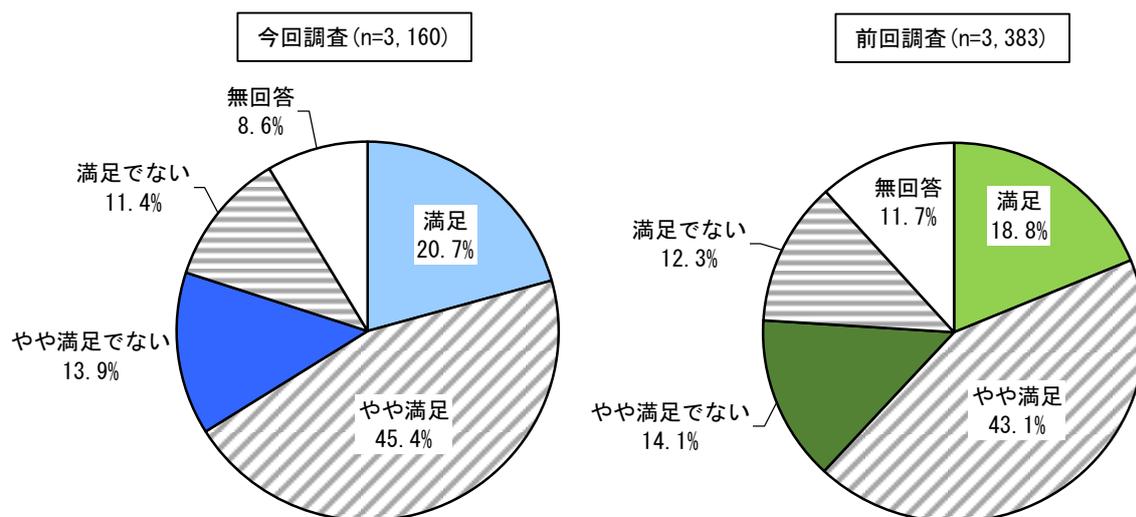
### 問32 現在の生活の満足度

あなたの現在の生活の満足度は次のどれにあてはまりますか。(〇はひとつ)

現在の生活について、「やや満足」の割合が45.4%で最も高く、次いで「満足」が20.7%、「やや満足でない」が13.9%となっており、『満足』の割合（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）は66.1%となっている。

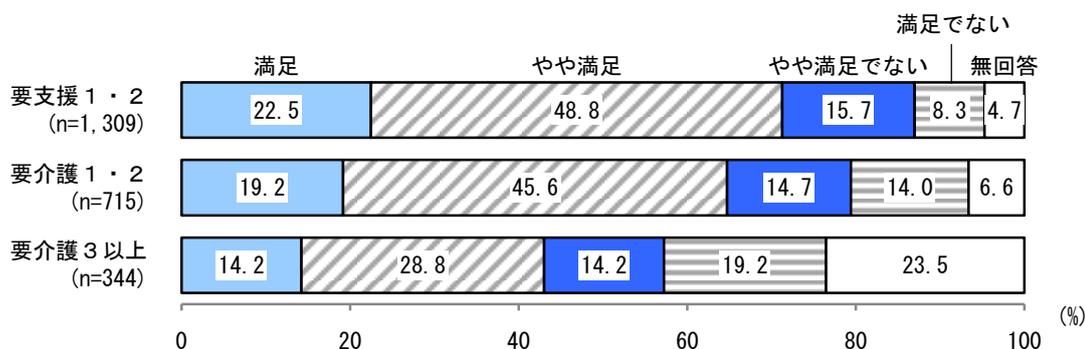
前回調査の結果に比べ、『満足』の割合は4.2ポイント増加している。(問32)

【問32 現在の生活の満足度（経年比較）】



要介護度別では、『満足』の割合は要支援1・2、要介護1・2で6～7割を占めており、要介護度が重度になるほど低くなっている。(問32-a)

【問32-a 現在の生活の満足度（要介護度別）】



## (12) 介護保険制度についての意見・要望等

### 問33 介護保険制度についての意見・要望等(自由記述)

介護保険制度について、ご意見・ご要望等がありましたら、次の欄に記入してください。

331人から意見があり、延べ358件の回答が挙がっている。主な意見は次のとおり。

#### 【主な意見】

##### 《自身の現状についての意見》(86件)

- ・自分・家族の現状や将来に不安がある、心配がある。
- ・老々介護をしている。
- ・現状必要ない・利用していないのでわからない、知識がない。
- ・今後介護保険制度を利用すると思う。

##### 《介護保険制度に関する意見》(75件)

- ・制度の仕組みや利用方法を理解できていない。
- ・もっと説明・情報提供してほしい。
- ・制度は有難い。感謝している。今のままで良い。
- ・適正な利用を促してほしい。
- ・家族介護の支援を充実させてほしい。

##### 《介護保険料、介護保険サービス利用料に関する意見》(74件)

- ・介護保険料や利用料が高い。収入(年金)が少なく、希望するサービスが利用できない。
- ・利用料金について納得がいかない。よくわからない。
- ・介護保険料に見合ったサービスが受けられるようにしてほしい。

##### 《施設サービス、介護サービスの充実に関する意見》(52件)

- ・利用時間やサービス内容など提供されているサービスが不十分、不満である。
- ・要支援でも利用できるサービスを充実させてほしい。
- ・入院中・退院後に状況に応じた介護保険サービスを利用したい。
- ・希望する施設にすぐ入所できるようにしてほしい。安価で入所できる施設を増やしてほしい。
- ・施設・包括支援センターが遠い。施設までの交通が不便である。施設の場所がわからない。

##### 《訪問介護(ヘルパー)、ケアマネ、介護スタッフについての要望・不満》(30件)

- ・個々の能力・資質に差がある。資質の向上を図ってほしい。
- ・待遇改善、人材確保してほしい。
- ・きちんと話を聞いてほしい。コミュニケーションを充実させてほしい。
- ・度々様子を見に来てほしい。

##### 《要介護認定に関する意見》(23件)

- ・要介護認定は平等に判断してほしい。個々の状況・家族の負担も考慮して判断してほしい。
- ・認定基準に疑問がある。要介護度が低すぎる。

##### 《その他の意見》(18件)